令和８年度

岡山県真庭保健所運営協議会

岡山県真庭保健所

目　次

○　真庭保健所の組織　　P3

○　管内概況　　P4～P6

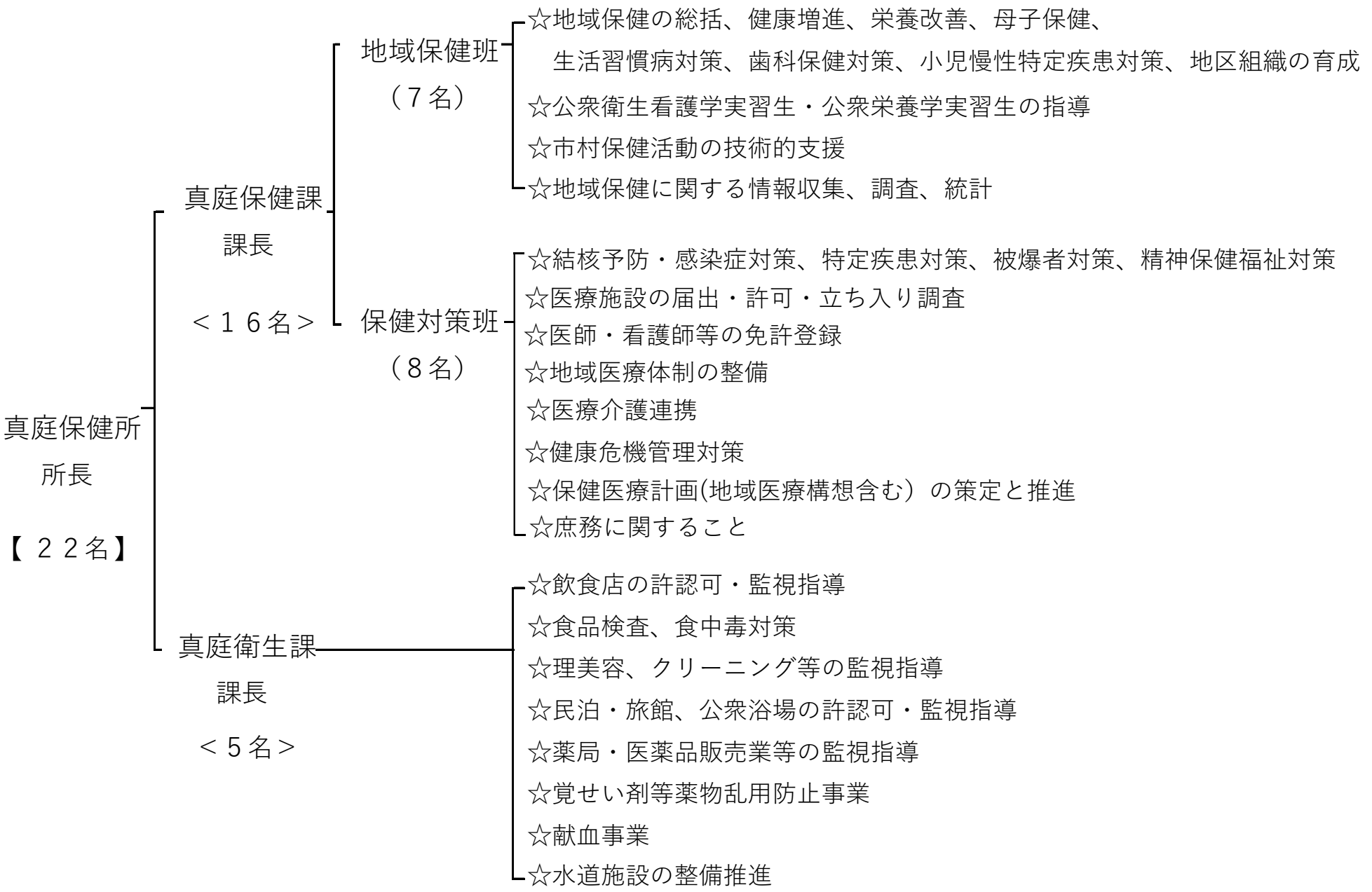
○　主要施策について　　P7～P104

【データ集】

１　地域における医療提供体制の整備　　P　9～P47
２　子育て支援・少子化対策の推進　　P48～P49
３　健康づくりの推進
４　障害のある人の自立と社会参加の促進　P50～P53
５　感染症対策　　P54～P55
６　健康危機管理対策
７　安全・安心な生活衛生の推進　　P56～P58

【主な取り組み】（保健課、衛生課）　　P59～P104

真庭保健所の組織及び所掌事務の概要



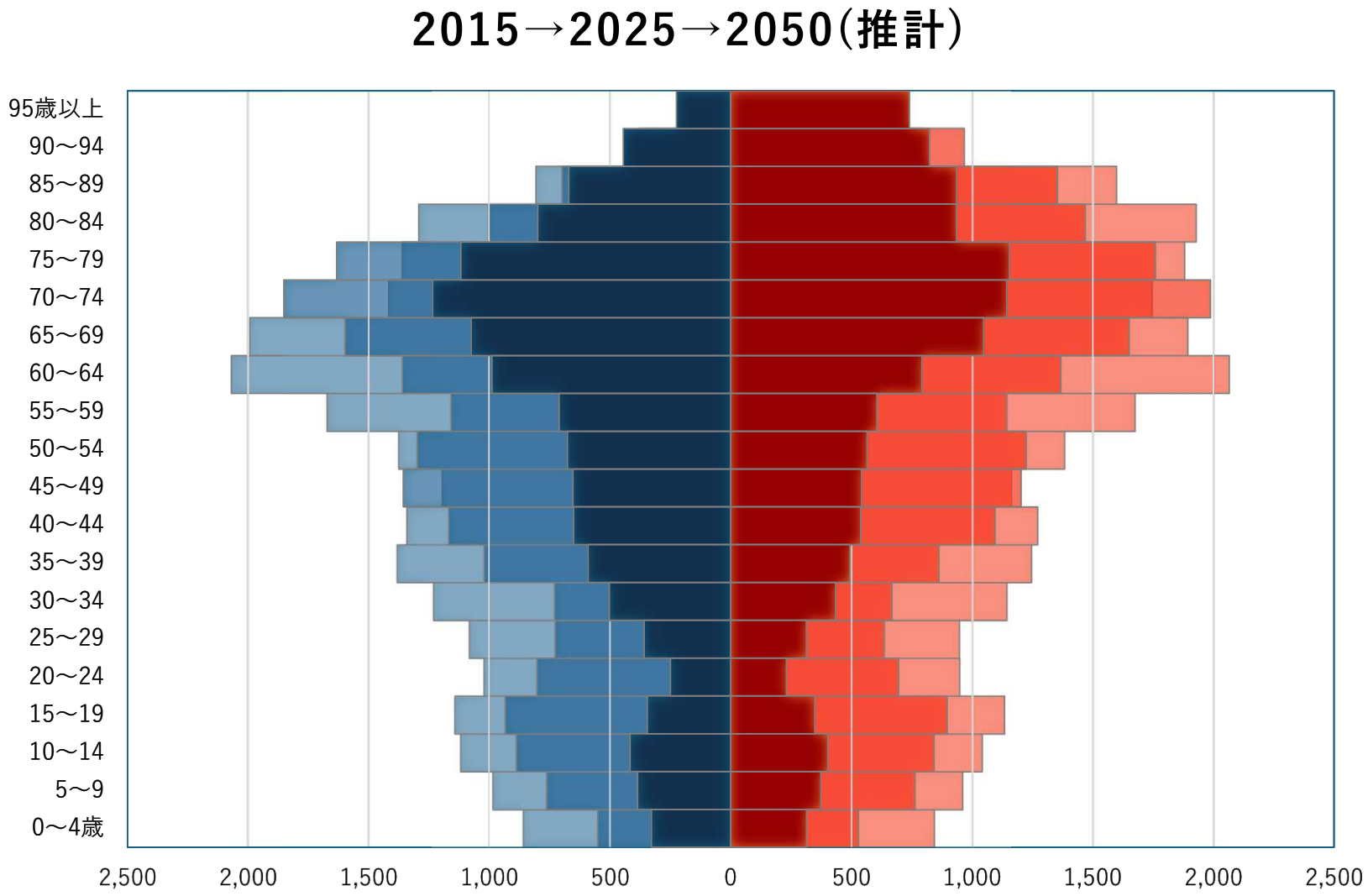
Ｒ８．４現在（再任用職員、育休代替職員を含む）

＜**R8年度** 真庭保健所作成＞



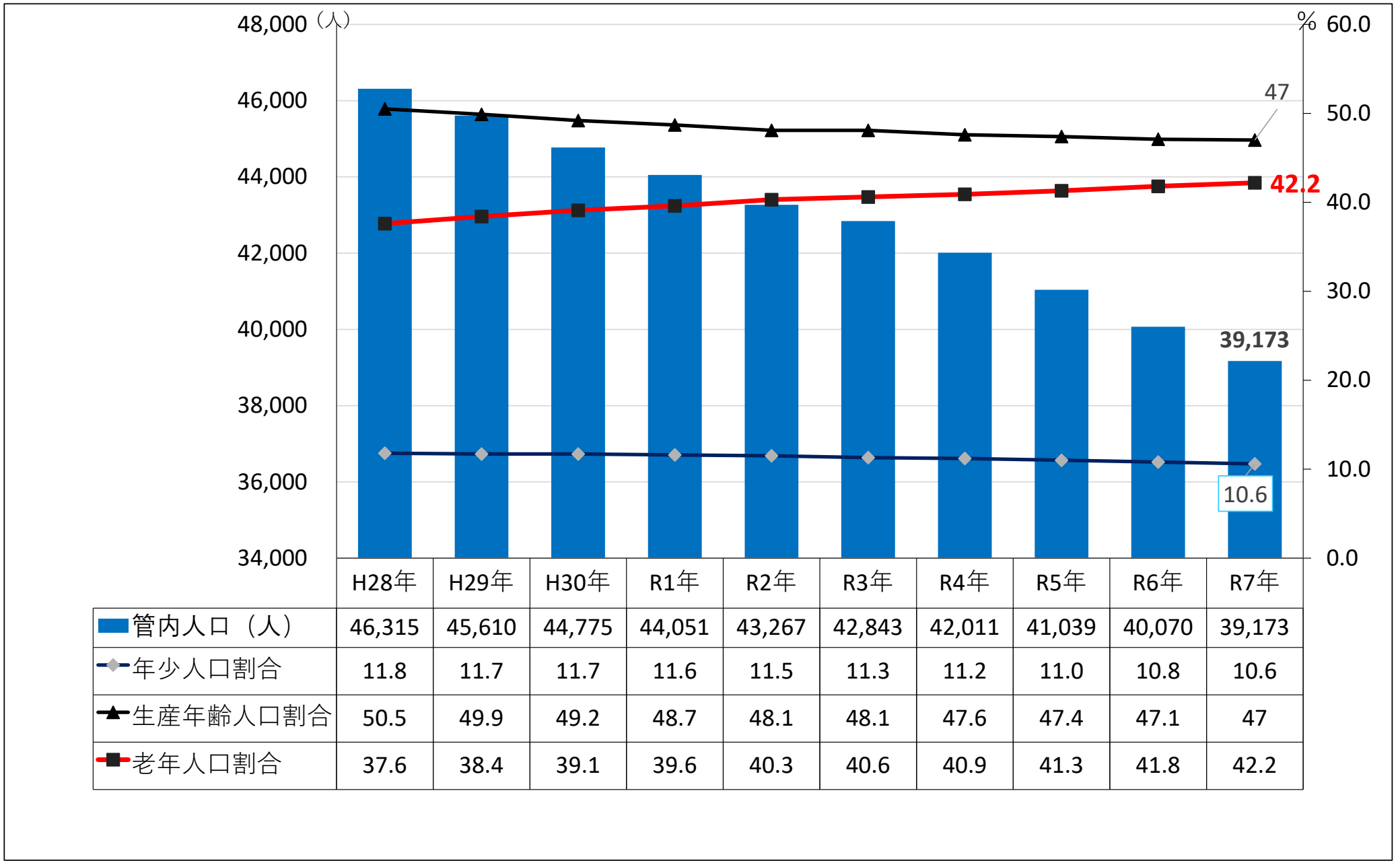
管内の概況
人口、高齢化率、人口動態等

人口ピラミッド（真庭保健所管内）



資料：岡山県毎月流動人口調査（年報・10月1日現在）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」から真庭保健所作成

管内人口及び年少人口・生産年齢人口・ 老年人口割合の推移



	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
管内人口（人）	46,315	45,610	44,775	44,051	43,267	42,843	42,011	41,039	40,070	39,173
年少人口割合	11.8	11.7	11.7	11.6	11.5	11.3	11.2	11.0	10.8	10.6
生産年齢人口割合	50.5	49.9	49.2	48.7	48.1	48.1	47.6	47.4	47.1	47
老年人口割合	37.6	38.4	39.1	39.6	40.3	40.6	40.9	41.3	41.8	42.2

出典：岡山県統計分析課「毎月流動人口調査」年報（各年10月１日現在、翌年１月頃公表）

主要施策について

令和８年度真庭保健所の主要施策

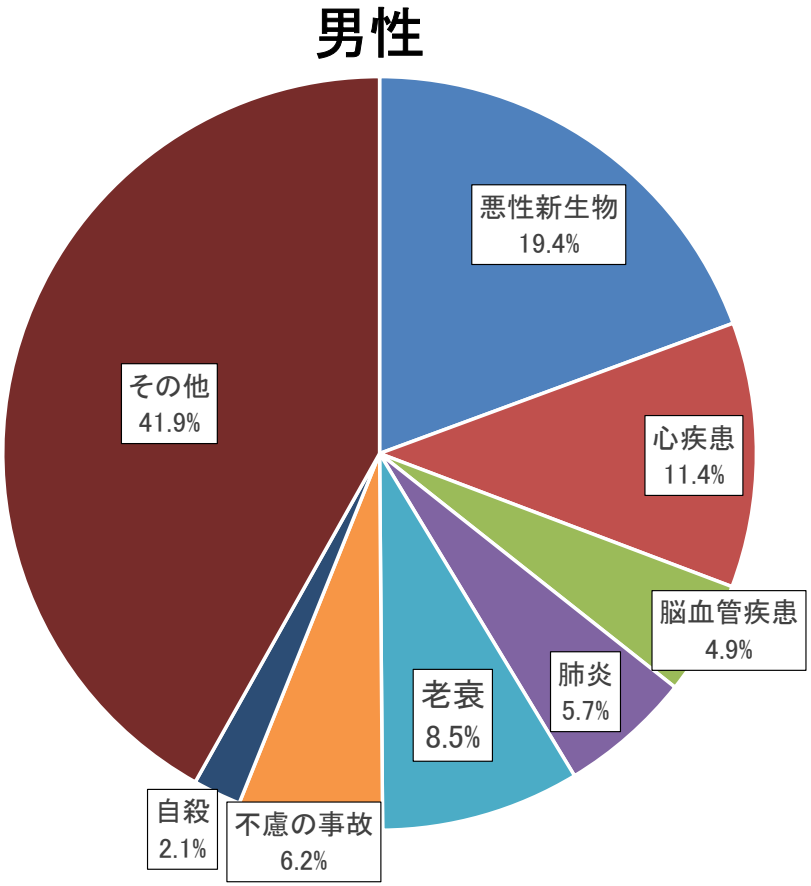
１　地域における医療提供体制の整備
２　子育て支援・少子化対策の推進
３　健康づくりの推進
４　障害のある人の自立と社会参加の促進
５　感染症対策
６　健康危機管理対策
７　安全・安心な生活衛生の推進

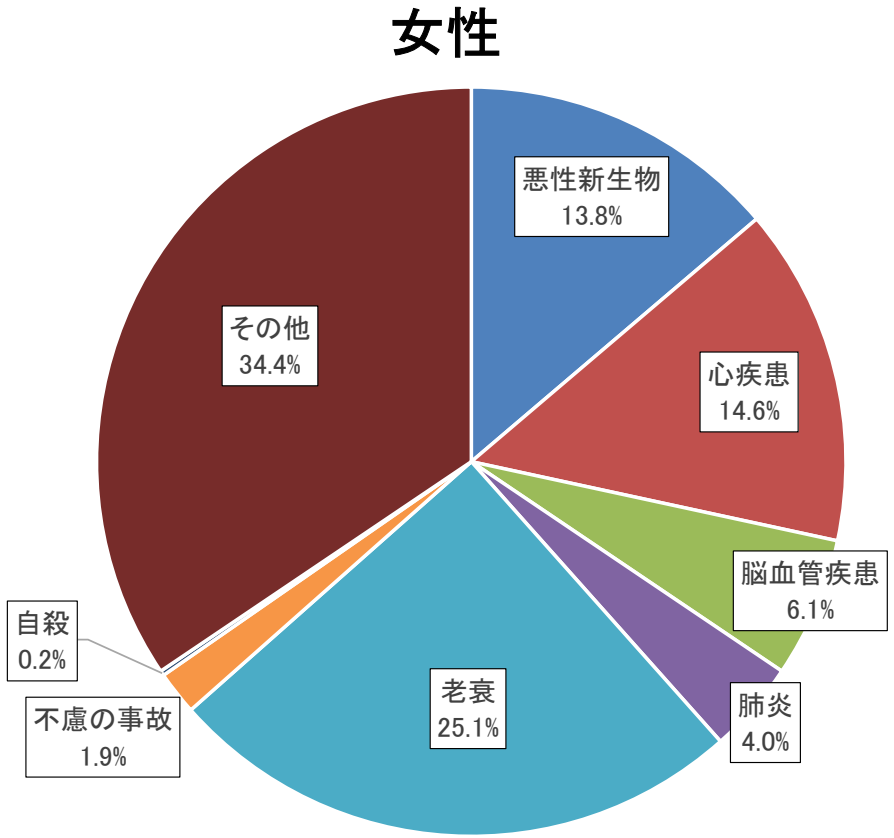
＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策に関するデータ集

１地域における医療提供体制の整備

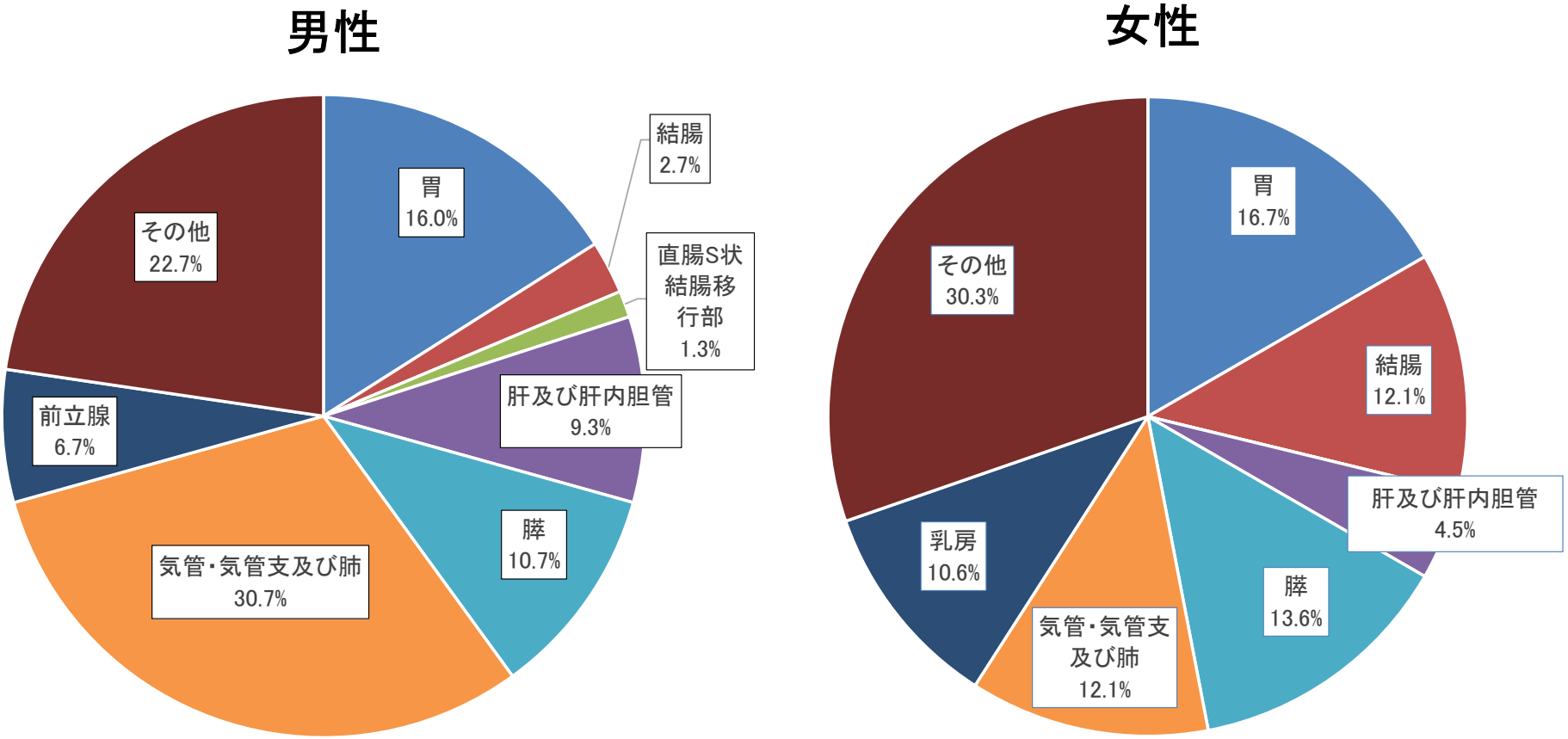
管内の主な死因別の割合（令和６年）





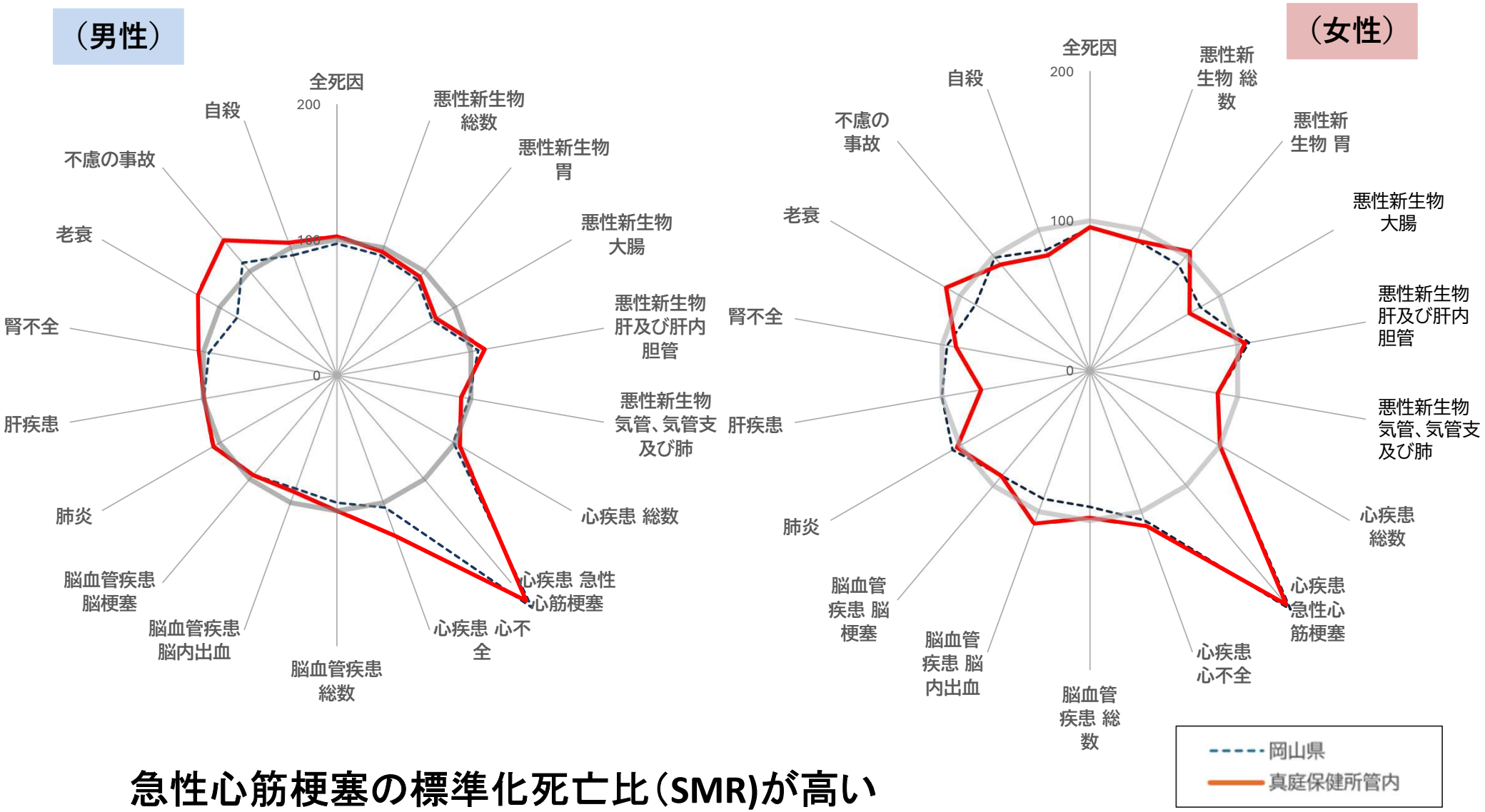
資料：厚生労働省「令和6年人口動態統計（確定数）」

死因（悪性新生物）の疾患別内訳（令和６年）



資料：厚生労働省「令和6年人口動態統計（確定数）」

管内の主要死因別標準化死亡比（SMR）

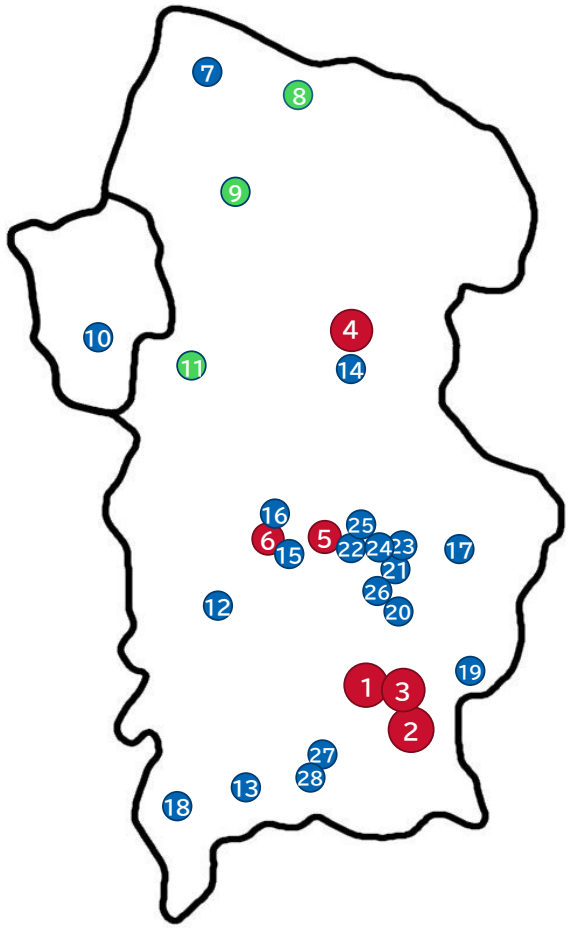


急性心筋梗塞の標準化死亡比(SMR)が高い

資料:厚生労働省「人口動態統計特殊報告平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計」(令和6年4月公表。国勢調査の年を中心に5年のデータを集計し公表)

真庭圏域 医療機関分布図（病院、一般診療所）

真庭市・新庄村（病院6・一般診療所22、計28施設）



施設一覧　病院　へき地診療所　一般診療所

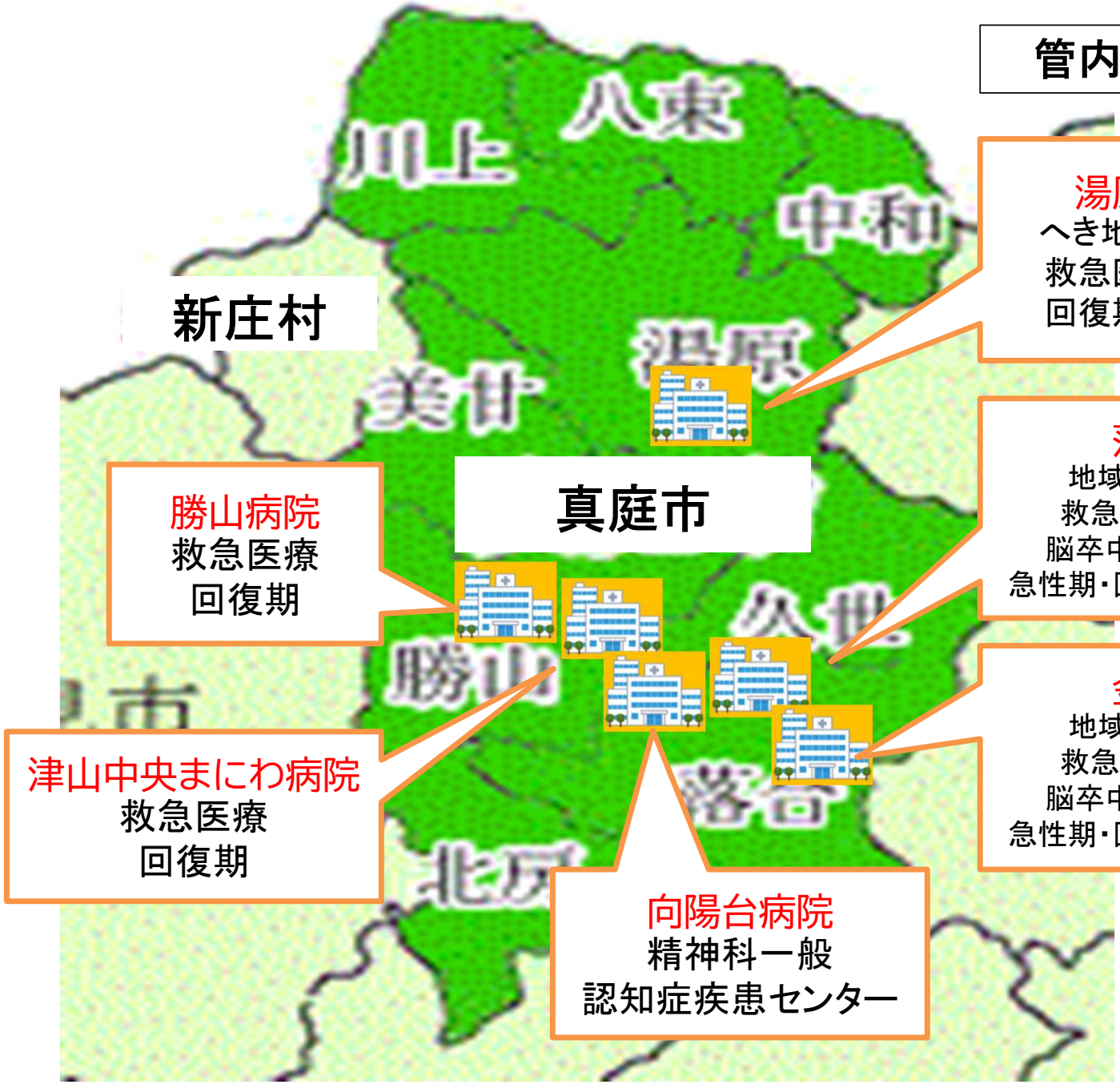
1. 向陽台病院（165床）
2. 総合病院 落合病院（135床）
3. 金田病院（120床）
4. 真庭市国民健康保険湯原温泉病院（93床）
5. 津山中央まにわ病院（55床）
6. 勝山病院（50床）
7. 遠藤クリニック
8. 湯原温泉病院 中和診療所
9. 湯原温泉病院 二川診療所
10. 新庄村国民健康保険診療所
11. 湯原温泉病院 美甘診療所
12. 宮島医院
13. 吉弘クリニック
14. 片岡医院
15. しんまち診療所
16. 米田内科医院
17. まにわ整形外科クリニック（18床）
18. 廣恵医院
19. clinic SHIRO（1床）
20. おかのぶ眼科
21. 前原医院
22. はら内科クリニック
23. イケヤ医院
24. 松坂内科医院
25. まつうら医院
26. みんなのクリニック
27. 内科・小児科 本山医院
28. 杉江医院

真庭圏域の面積　８９５．６４㎢
１医療機関あたり面積　３１．９８㎢

圏域内施設数: 病院 6 施設／一般診療所 22 施設／合計 28 施設

出典: 真庭市・新庄村 医療機関マップ用データ（J-MAPデータ使用）／背景: 真庭圏域白地図
※マーカー位置は町域単位の近似配置です。施設一覧の番号と地図上の番号が対応しています。病院の円の大きさは病床数と比例しています。

真庭保健所管内病院の機能



管内6施設

湯原温泉病院
へき地医療拠点病院
救急医療・在宅医療
回復期・慢性期病床

落合病院
地域災害拠点病院
救急医療・糖尿医療
脳卒中医療・在宅医療
急性期・回復期・慢性期病床

勝山病院
救急医療
回復期

金田病院
地域がん診療病院
救急医療・糖尿医療
脳卒中医療・在宅医療
急性期・回復期・慢性期病床

津山中央まにわ病院
救急医療
回復期

向陽台病院
精神科一般
認知症疾患センター

真庭圏域　医療機関数の推移

（高齢者施設付属診療所を除く）

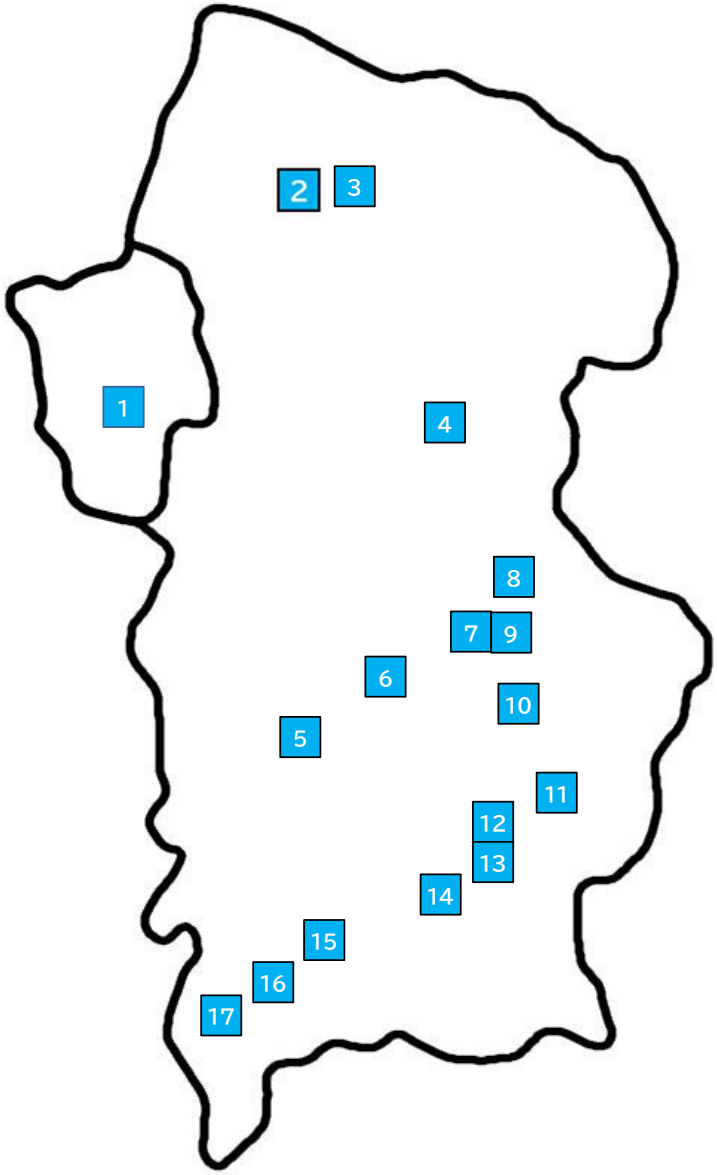
	開院・開所中　医療機関			増減			備考
	病院	診療所	（内へき地）	新設	休診	廃院	
平成30年度末	7	32	5	0	0	0	
令和元年度末	7	33	5	1	0	0	
令和2年度末	7	32	5	0	0	1	
令和3年度末	7	29	5	0	2	1	
令和4年度末	7	28	5	0	1	1	休診から廃院へ：1
令和5年度末	6	25	4	0	2	4	休診から廃院へ：2
令和6年度末	6	22	4	0	1	2	休診から廃院へ：2
令和7年度末	6	22	4	0	0	0	
令和8年8月末	6	22	4	0	0	0	

33．3%減

資料：医療機関からの届出により作成

真庭圏域　歯科診療所分布図

真庭市・新庄村（歯科診療所　17施設）



施設一覧 ■ 歯科診療所

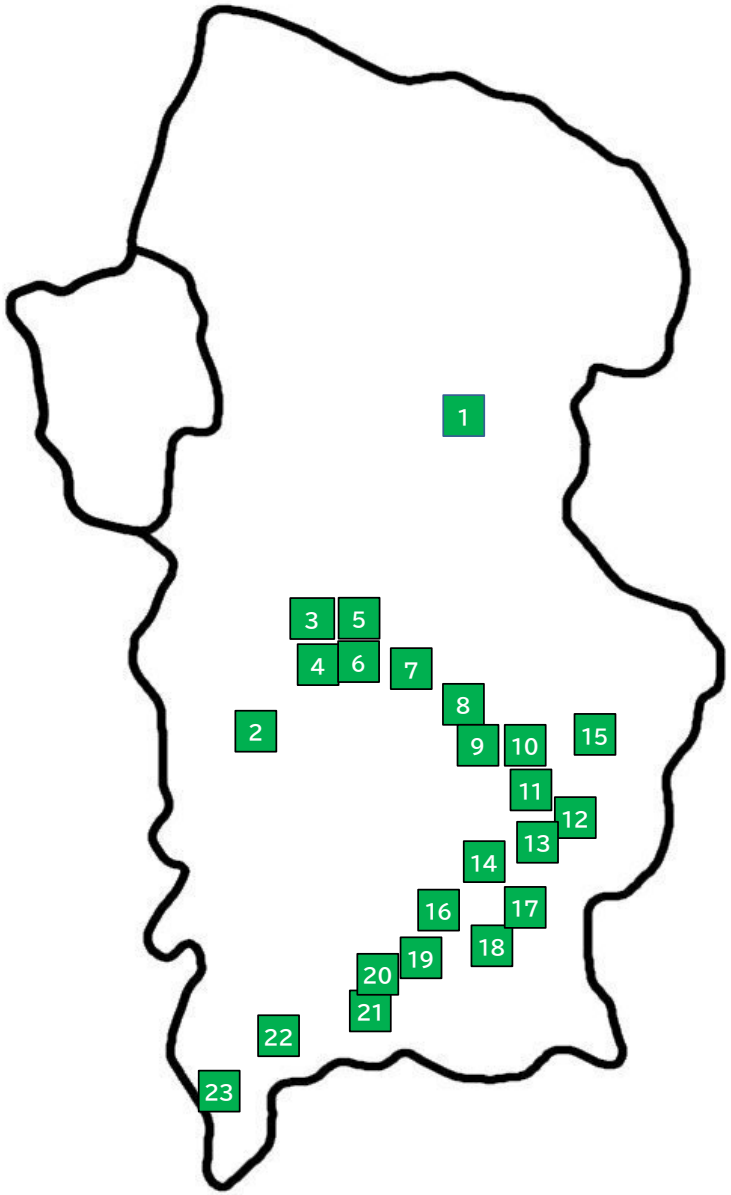
1. 新庄村歯科診療所
2. 大國歯科医院
3. 西尾歯科医院
4. 吉田歯科医院
5. 宮島歯科医院
6. 飯田歯科本院
7. ふくしま歯科医院
8. はら　こども・ファミリー歯科
9. むとう歯科
10. 医療法人池元歯科
11. 藤本歯科医院
12. 薬師寺歯科医院
13. ちはる歯科・矯正歯科
14. 飯田歯科医院
15. 杉山歯科医院
16. 本多歯科医院
17. よこうえ歯科医院

出典: 真庭市・新庄村 医療機関マップ用データ（J-MAPデータ使用）／背景: 真庭圏域白地図

※マーカー位置は町域単位の近似配置です。施設一覧の番号と地図上の番号が対応しています。

真庭圏域　薬局分布図

真庭市・新庄村（薬局23施設）



施設一覧　■ 薬局

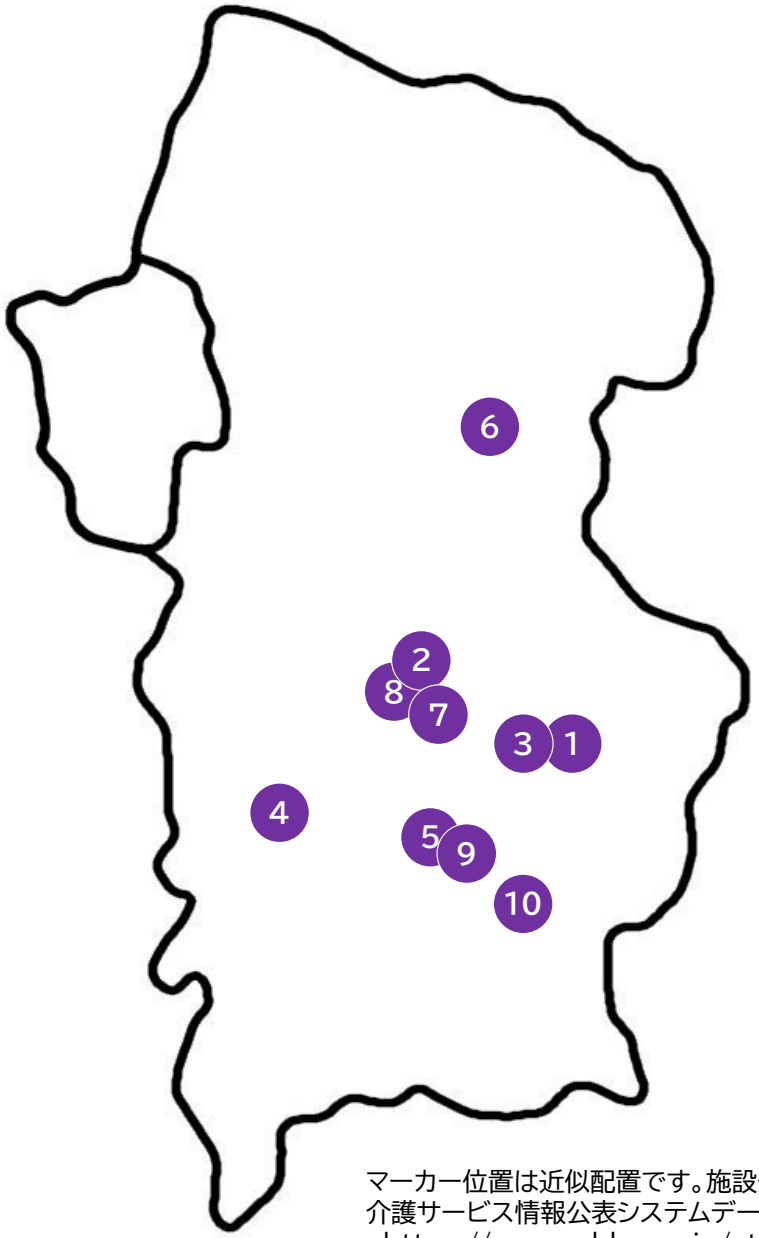
1. ファーマシイ薬局湯原温泉
2. 吉松屋薬局月田店
3. サカエ薬局勝山店
4. スーパードラッグたんぽぽ勝山薬局
5. てしま薬局勝山店
6. そうごう薬局真庭勝山店
7. エンジェル薬局
8. てしま薬局　久世駅前店
9. 久世大橋薬局
10. 早川町薬局
11. 吉松屋薬局
12. てしま薬局旭町店
13. ユアサ泉橋薬局
14. エス・ジー・エッチてしま薬局
15. 安部薬局
16. なでしこ薬局
17. こうち薬局
18. ユアサ薬局
19. 真庭中央薬局
20. あさがお薬局
21. みどり薬局
22. コスモス薬局
23. ほくぼう薬局

出典: 真庭市・新庄村 医療機関マップ用データ（J-MAPデータ使用）／背景: 真庭圏域白地図

※マーカー位置は町域単位の近似配置です。施設一覧の番号と地図上の番号が対応しています。

真庭圏域 訪問看護事業所分布図

真庭市・新庄村（訪問看護事業所　10事業所）



施設一覧

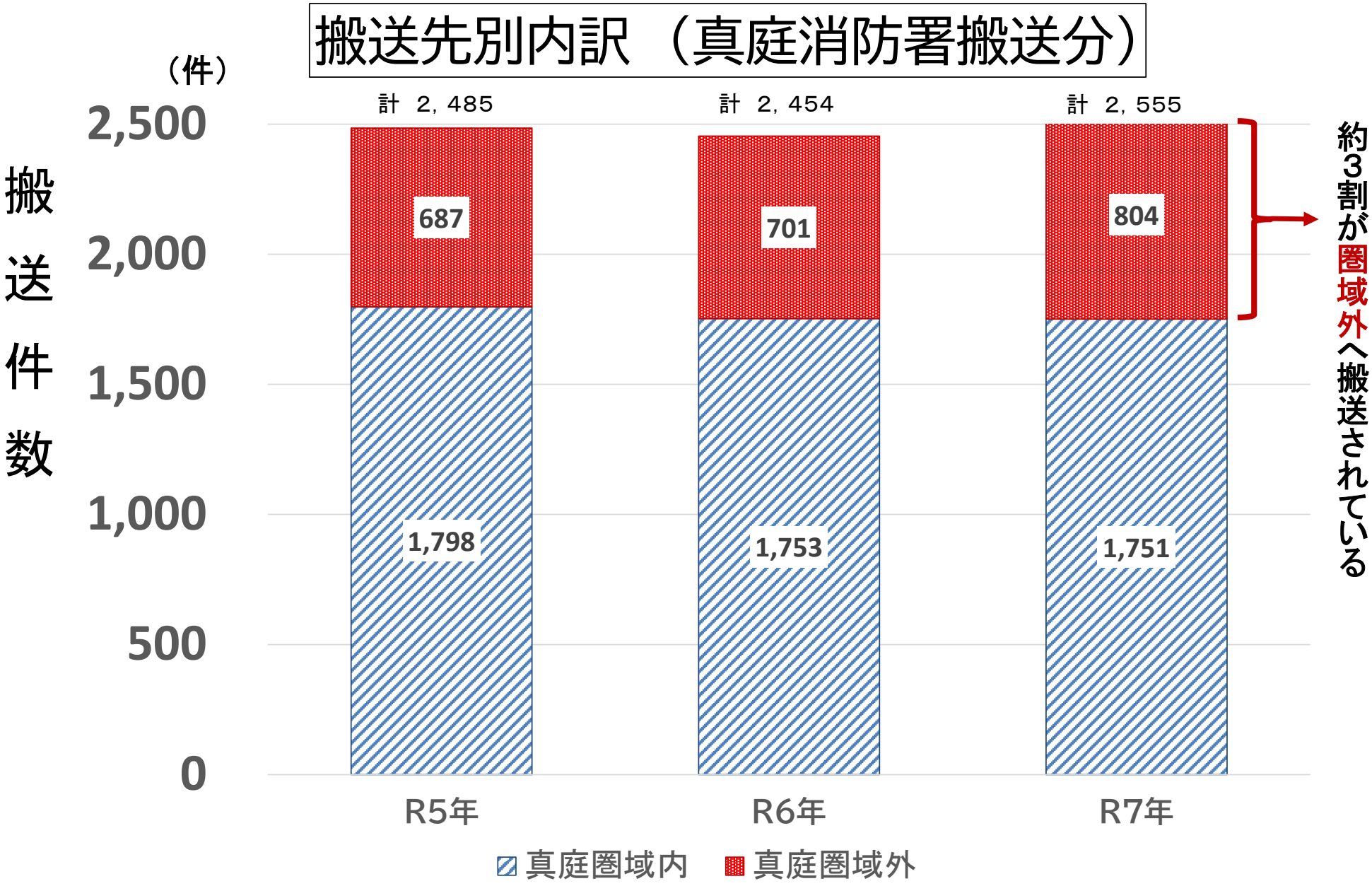
1. 松坂内科医院
2. 米田内科医院
3. イケヤ医院
4. 宮島医院
5. 訪問看護ひのき
6. 真庭市訪問看護ステーション
7. 訪問看護ステーションゆうあい
8. 訪問看護ステーションわたぼうし
9. おちあい訪問看護ステーション
10. みどり訪問看護ステーション

医療機関訪問看護	４事業所
訪問看護ステーション	６事業所

マーカー位置は近似配置です。施設一覧の番号と地図上の番号が対応しています。
介護サービス情報公表システムデータのオープンデータ　2026年6月末時点
https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-kouhyou opendata.html
介護事業所・生活関連情報検索（介護サービス情報公表システム）　https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/

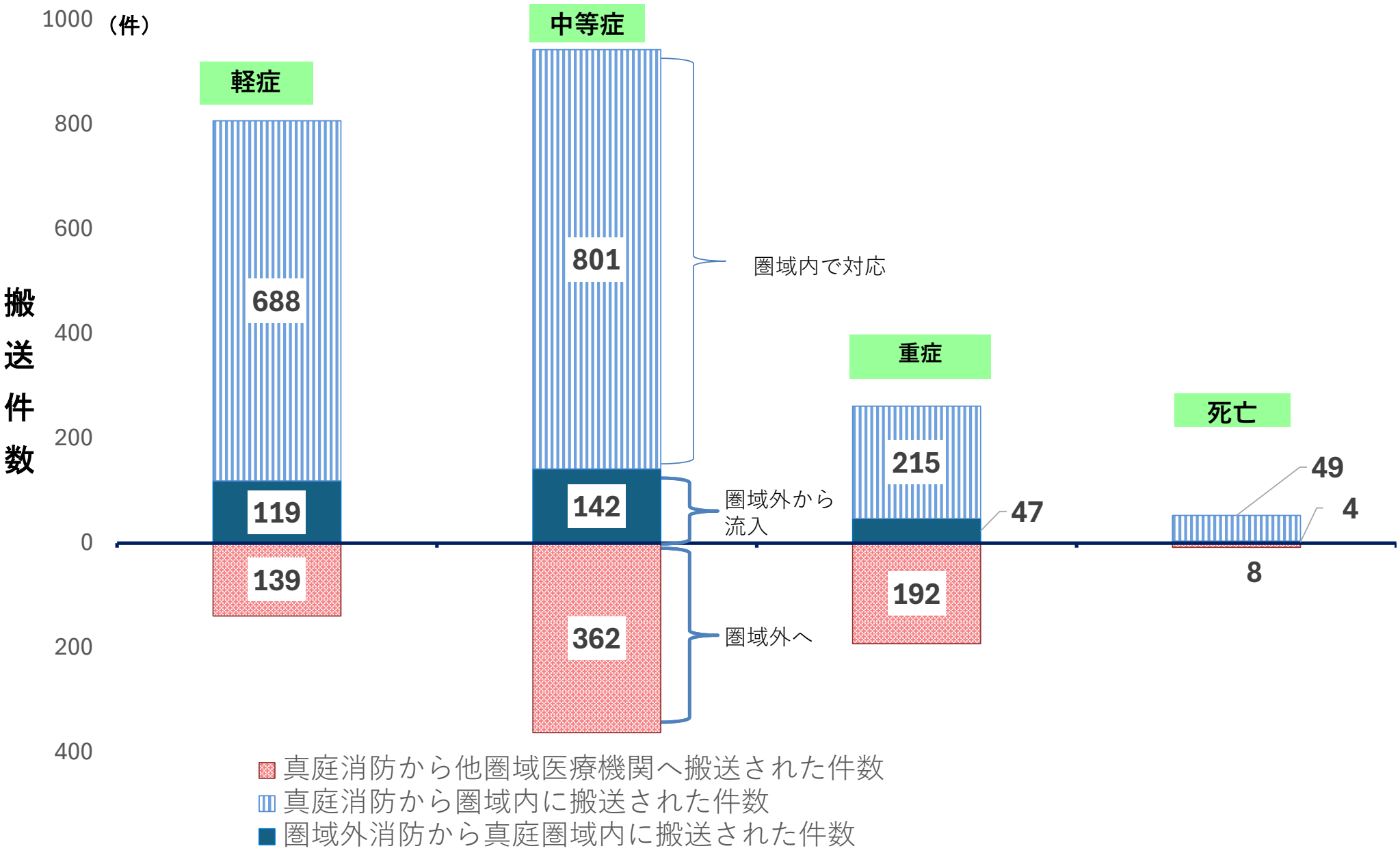
救急医療体制の状況

真庭圏域の救急搬送の応需状況



資料：R7 真庭市消防本部提供データから真庭保健所作成

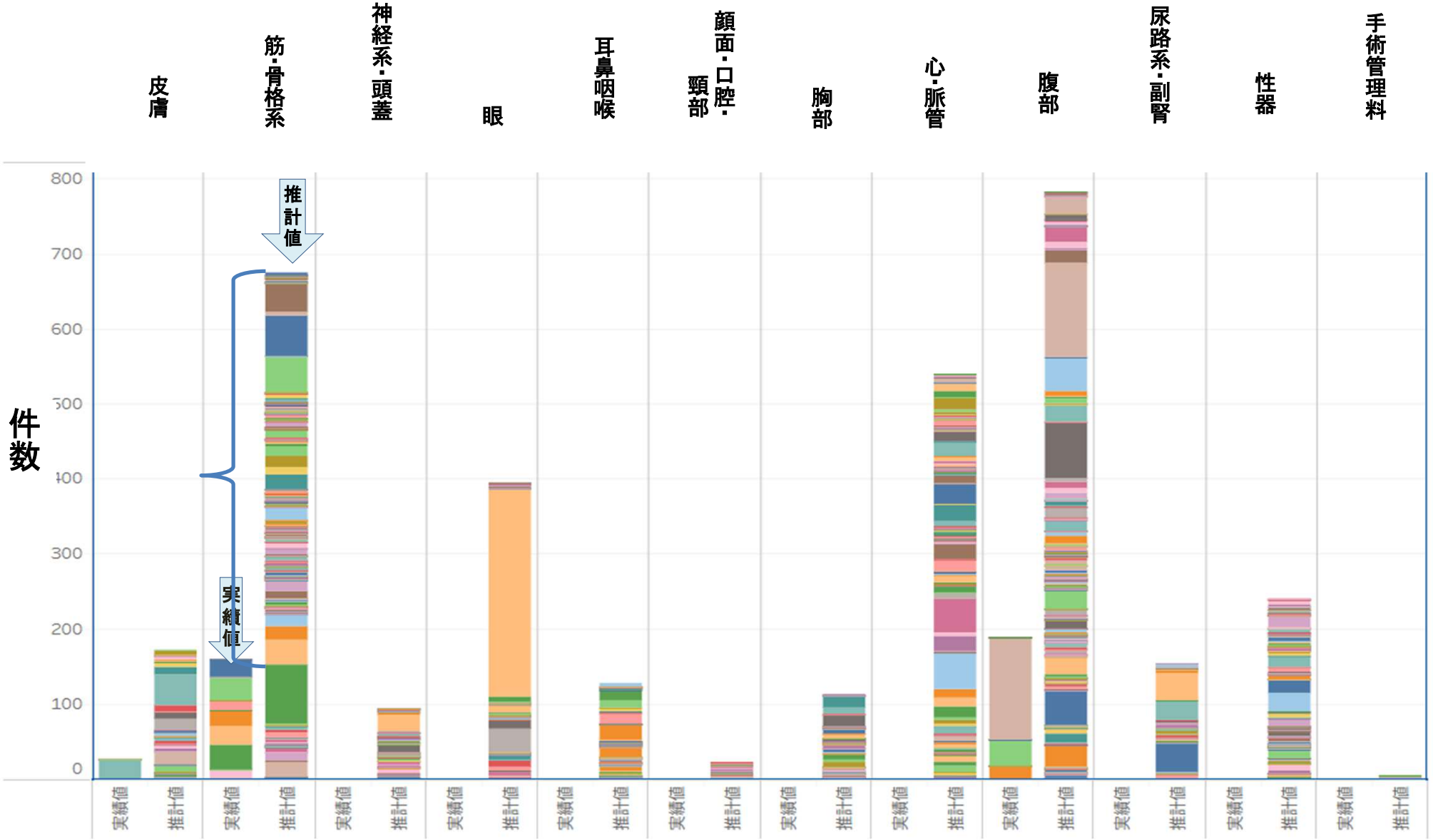
流入を含めた真庭圏域の傷病程度別応需状況（R6年）



資料：消防庁「統計調査系システム」における「救急・ウツタイン調査業務」データ（県消防保安課提供）から真庭保健所作成

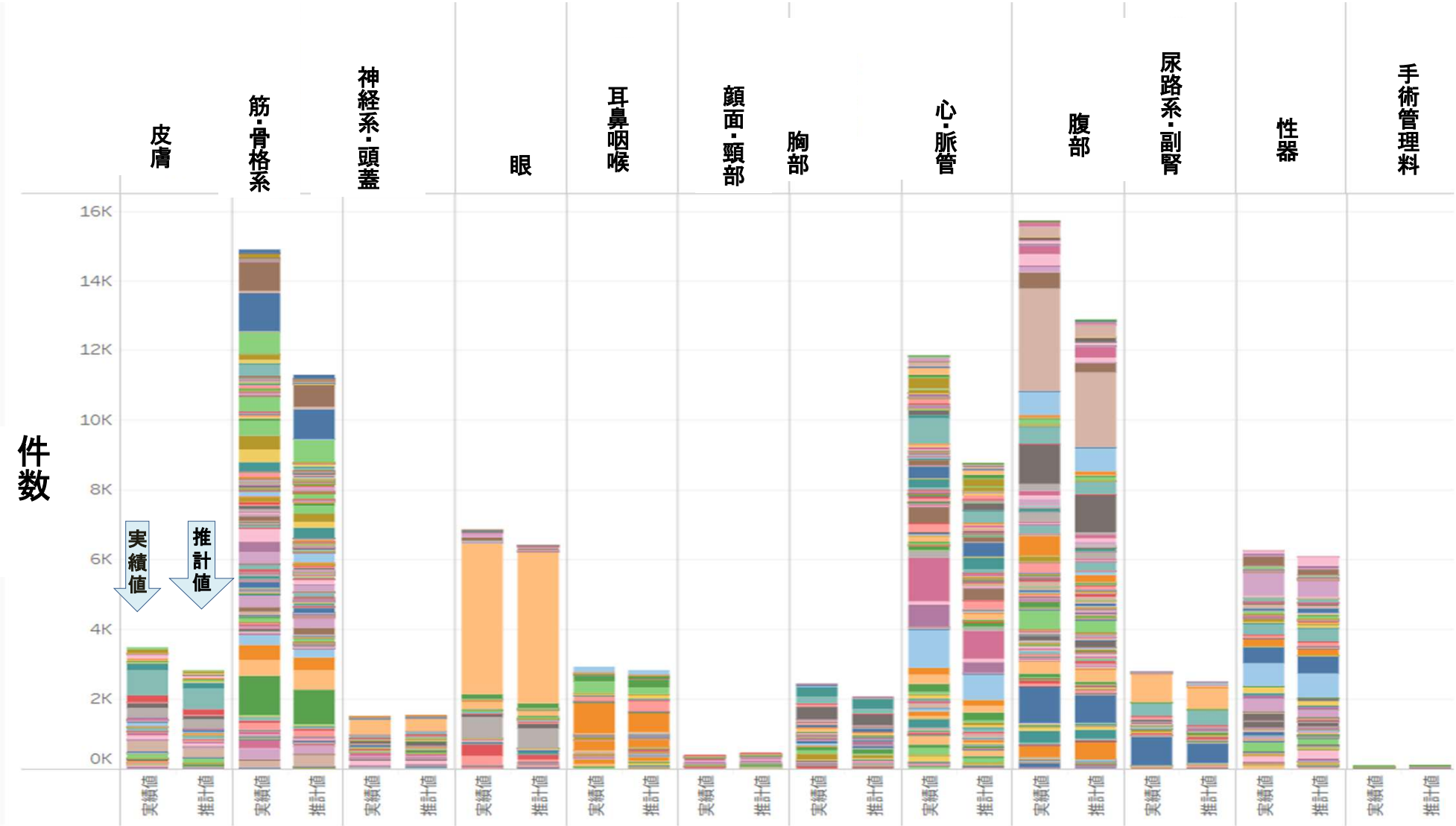
真庭圏域の医療提供実績と医療需要の将来推計について

【入院医療】＜急性期＞
NDB(R6)手術(入院)真庭の推計値と実績値



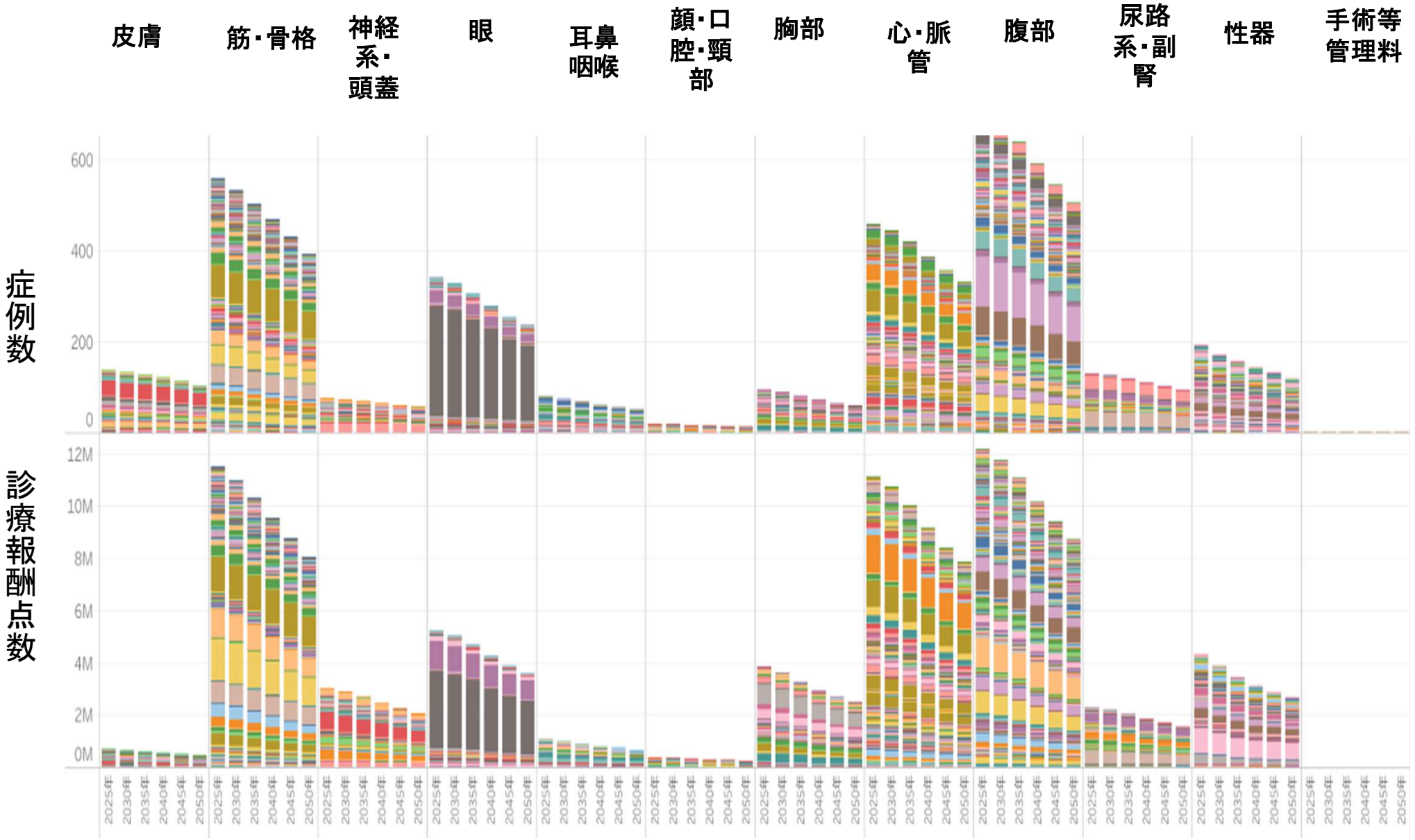
https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R6NDB_K_17833481291550/1_1

【入院医療】＜急性期＞
岡山県南東部 NDB（R6）手術（入院）の推計値と実績値



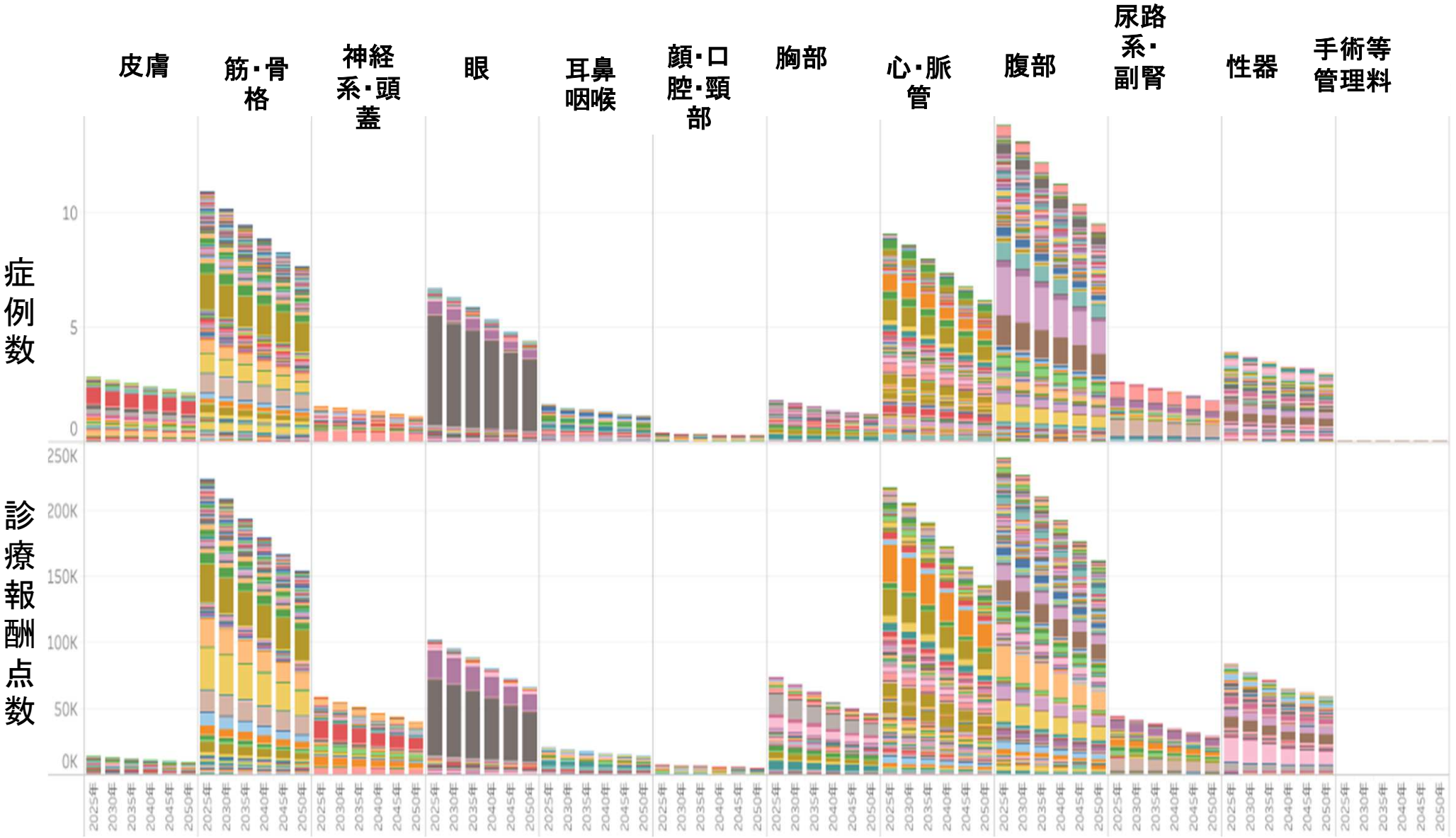
https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R6NDB_K___17833491960220/1_1

【入院医療】＜急性期＞
真庭市 2025～2050年の手術(入院)の診療行為回数の推計



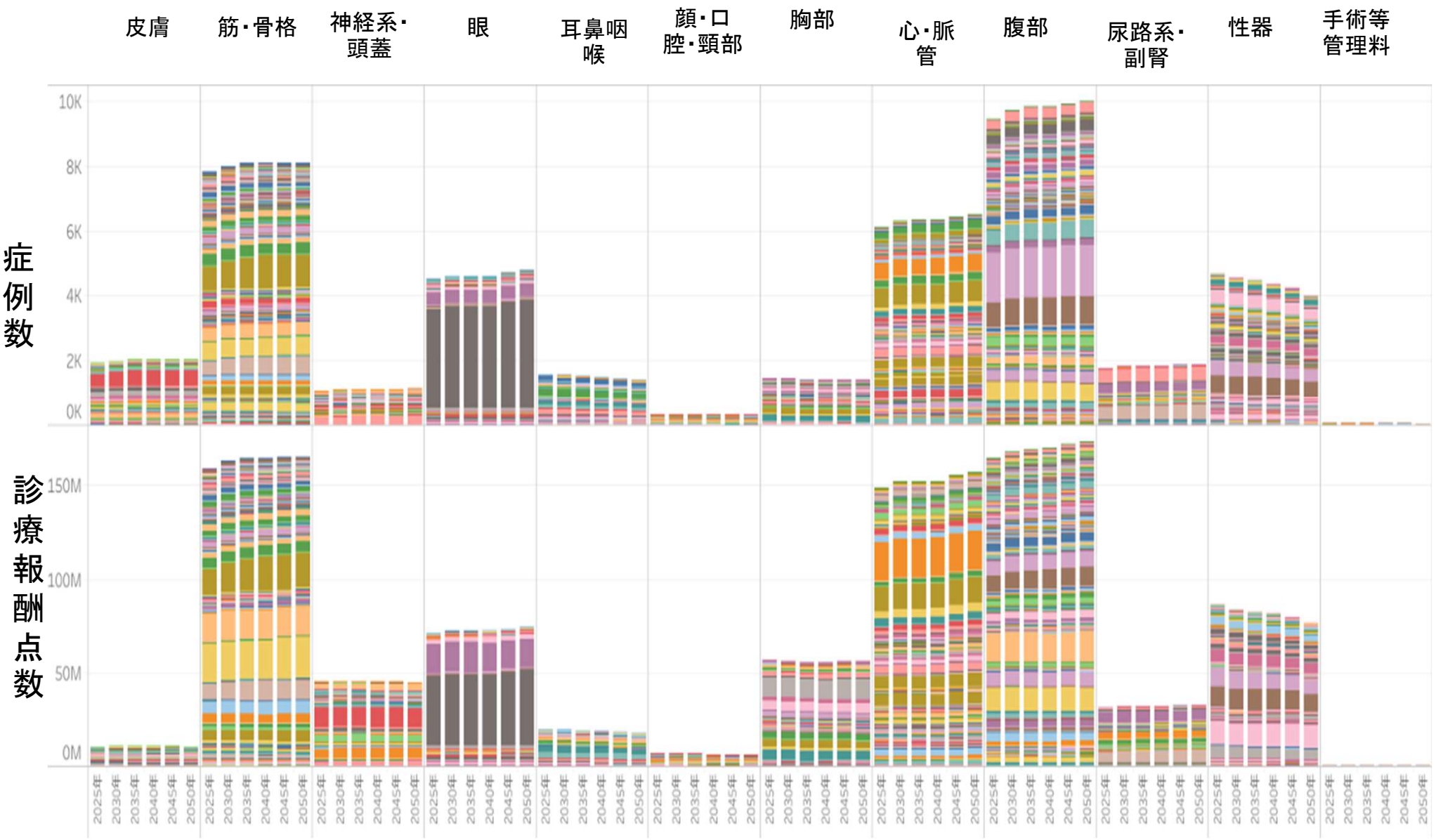
https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050K__17387340430310/1

【入院医療】＜急性期＞
新庄村 2025～2050年の手術（入院）診療行為回数の推計



https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050K__17387389923090/1

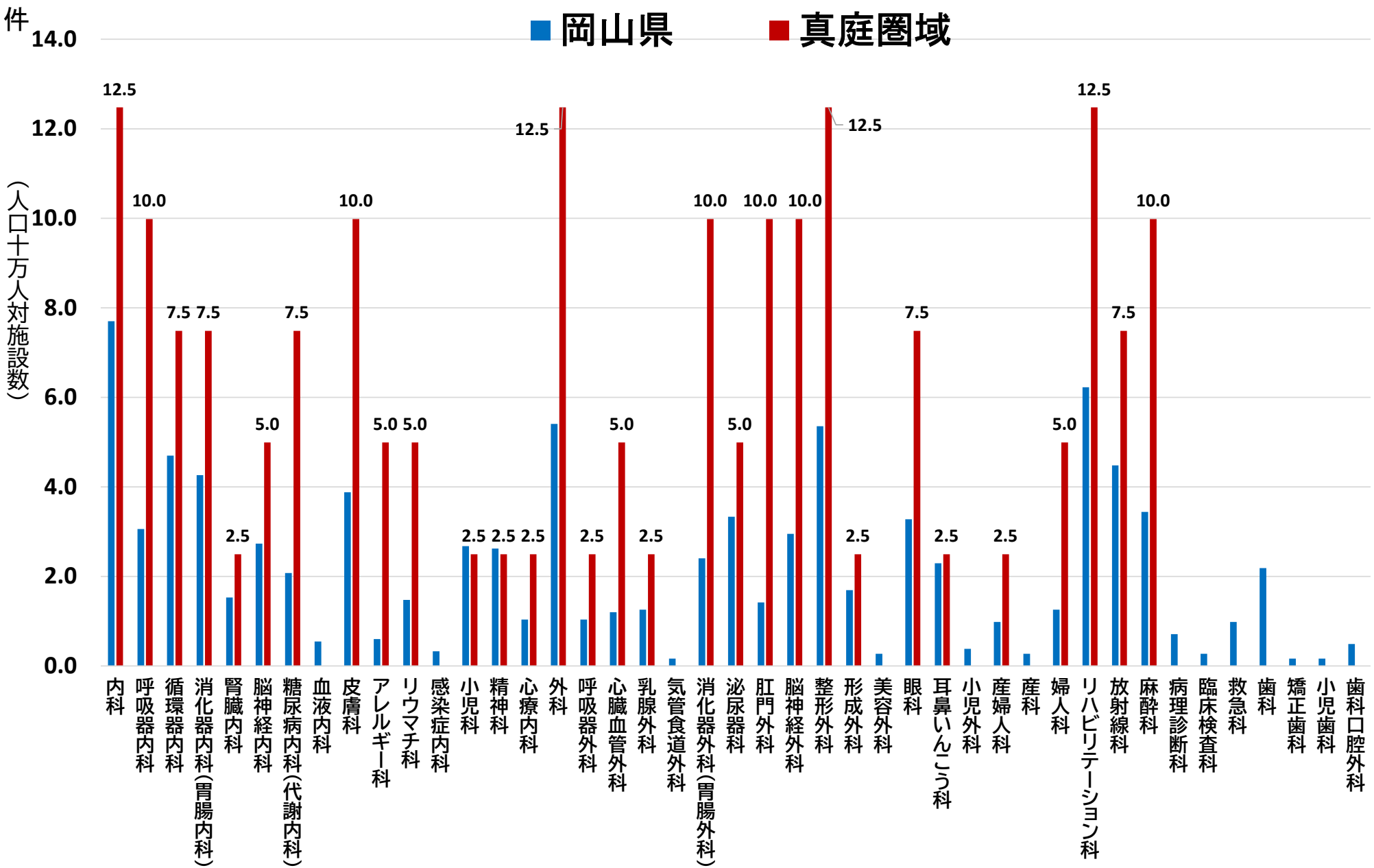
参考【急性期】
岡山市2025～2050年の手術（入院）の診療行為回数の推計



https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050K__17385684877040/1

【外来医療】

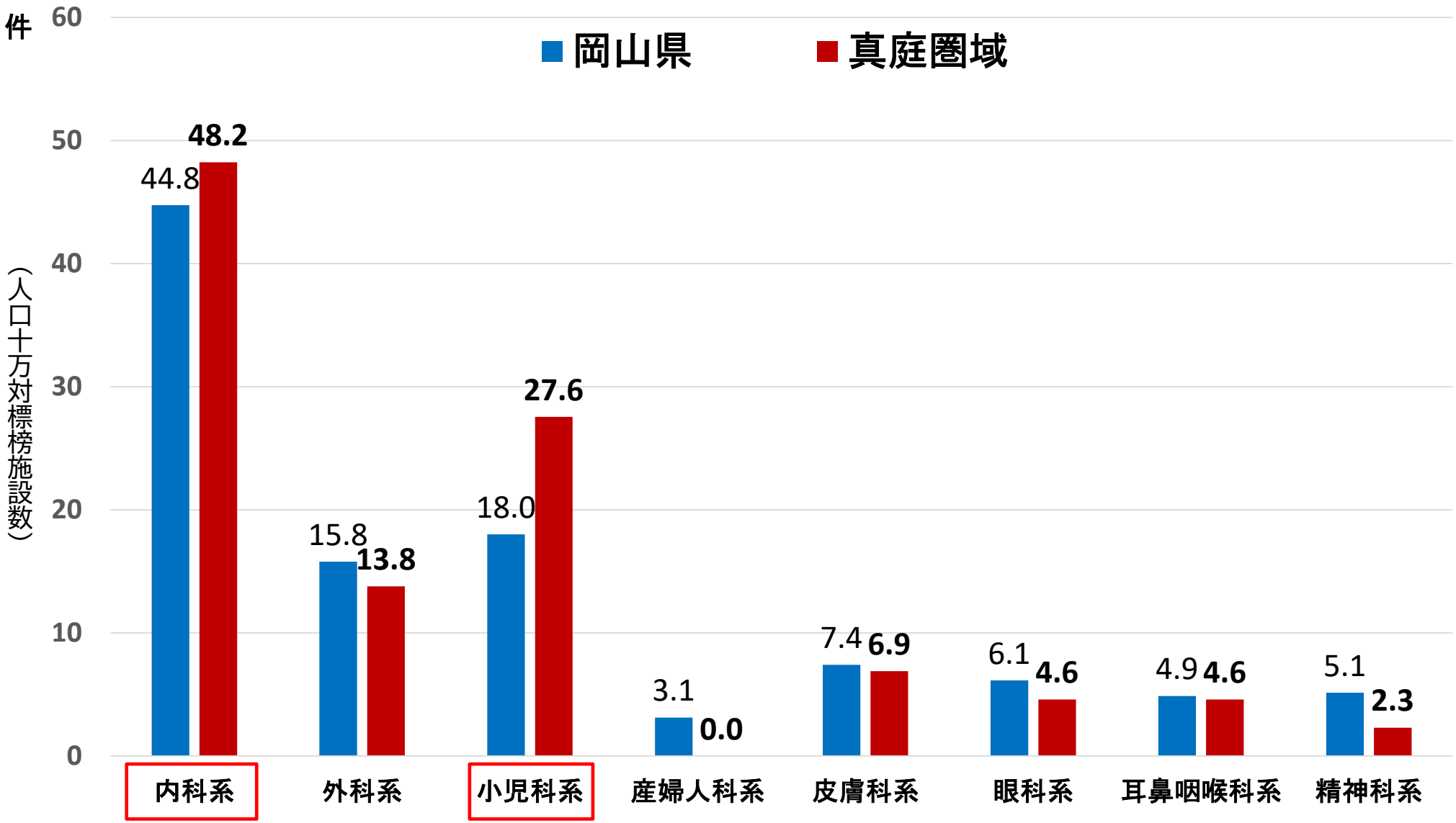
病院の診療科別施設数(外来)（人口10万対）



参考： 令和5年医療施設（静態・動態）調査（人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）から真庭保健所で作成

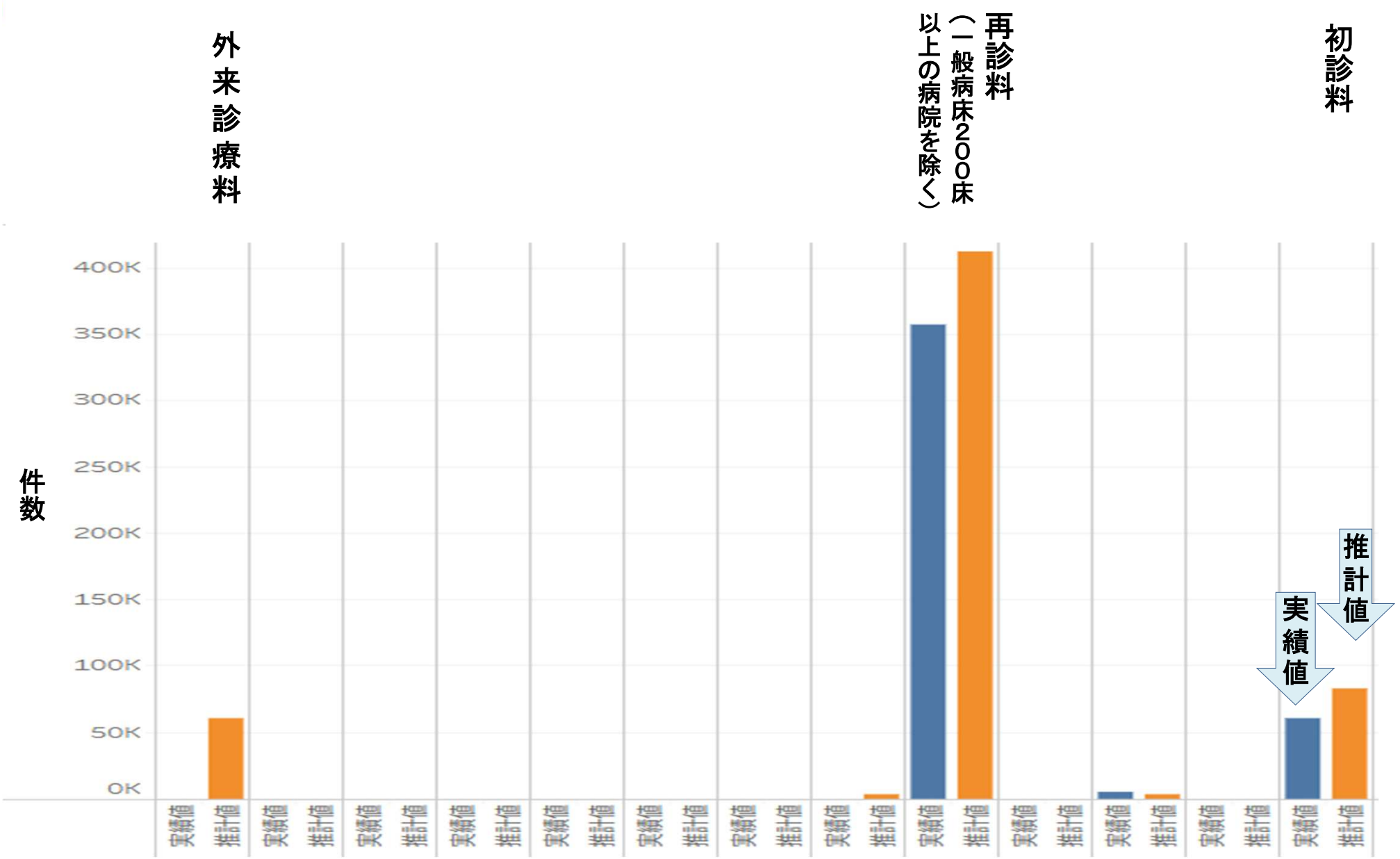
【外来医療】

診療所の診療科別施設数（人口10万対）



参考：　日本医師会地域医療情報システム（https://jmap.jp/cities/detail/medical_area/3304?pref_id=）の「地域内医療機関情報の集計値（人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）」から真庭保健所で作成

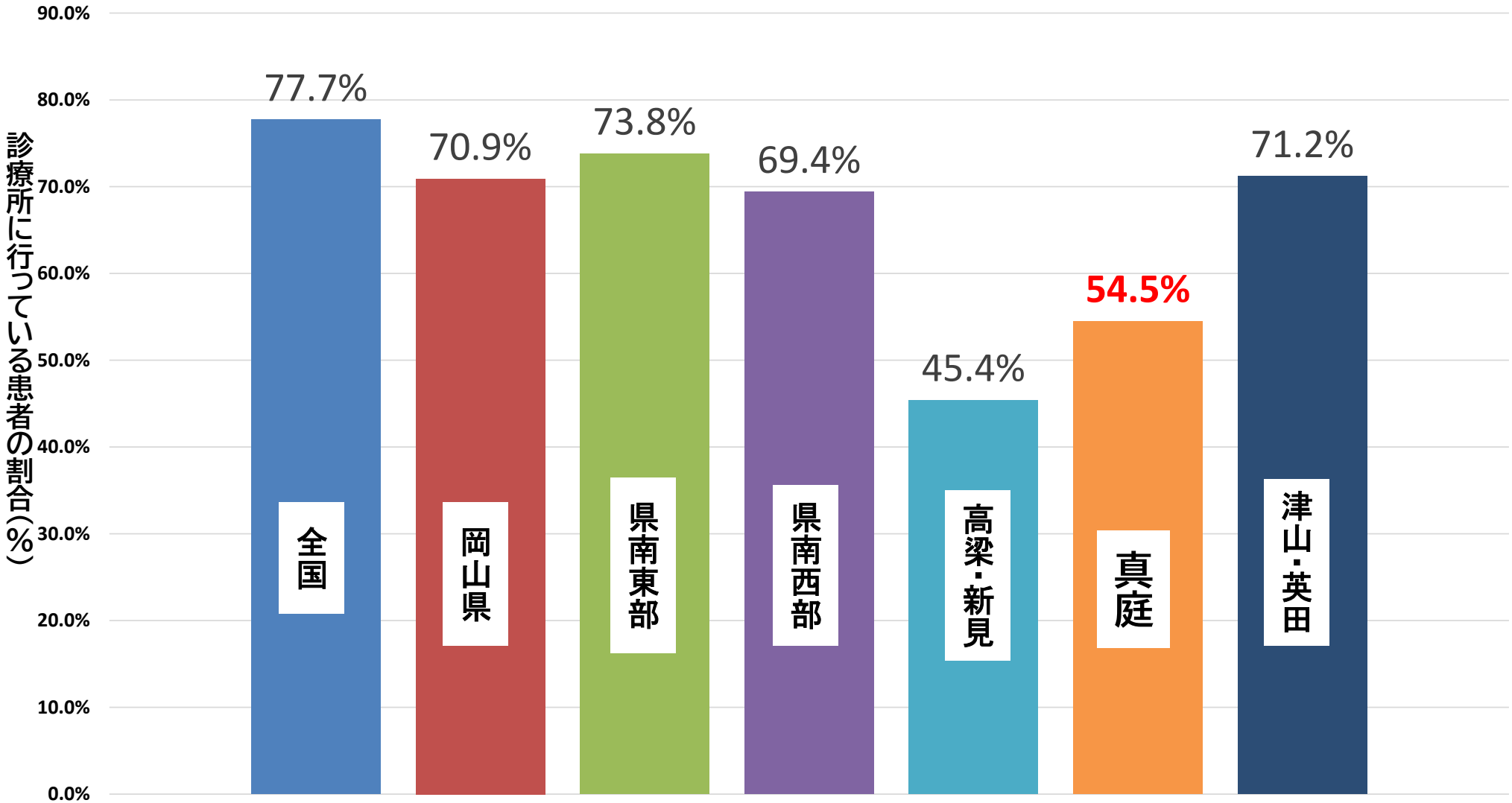
【外来医療】
NDB（R6） A 基本診療料・初再診料（真庭）の推計値と実績値



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R6NDB_A___17834967361830/1

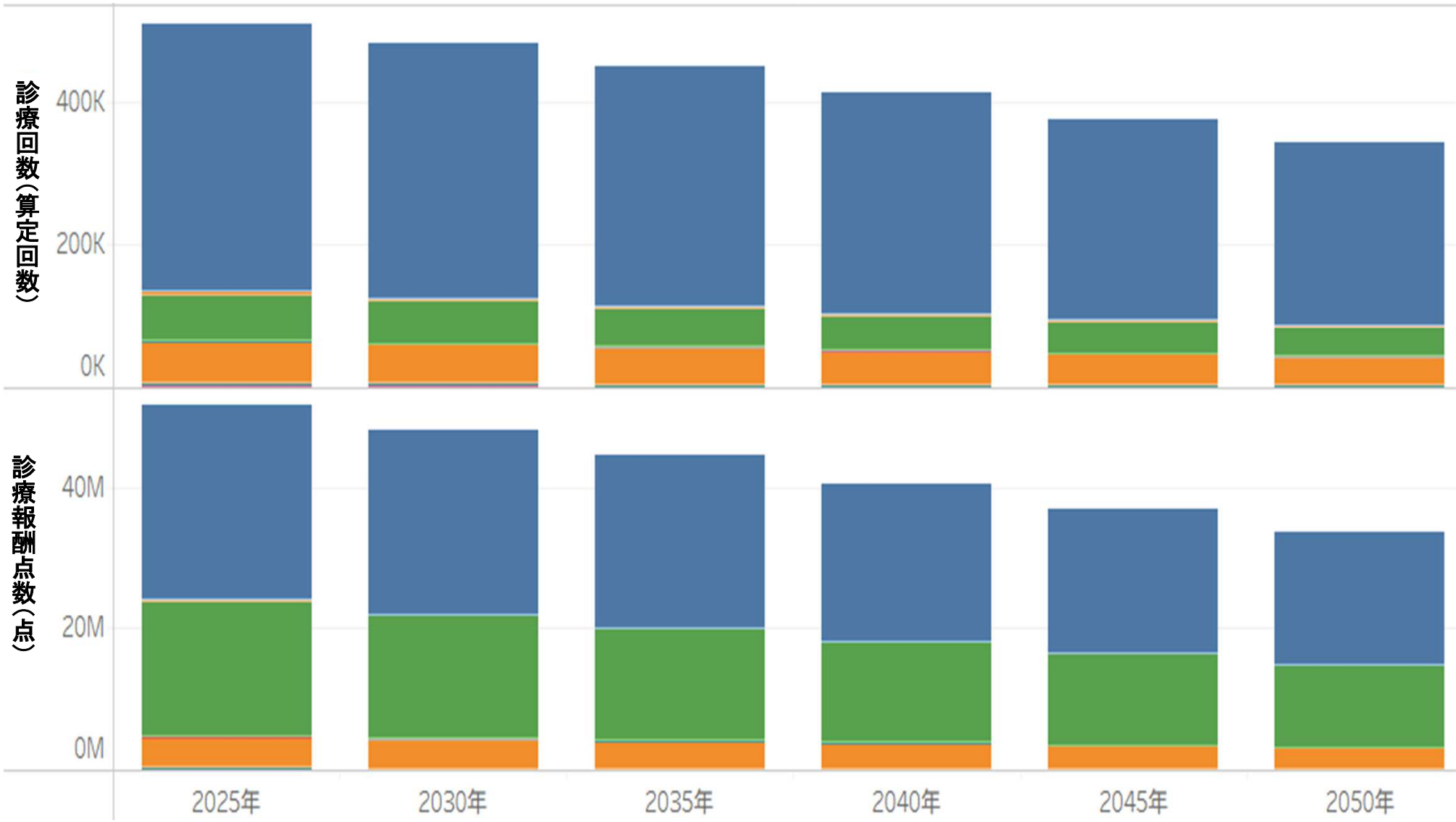
【外来医療】

全外来患者のうち診療所に行っている患者の割合
（診療所の外来患者延べ数／全外来患者延べ数）



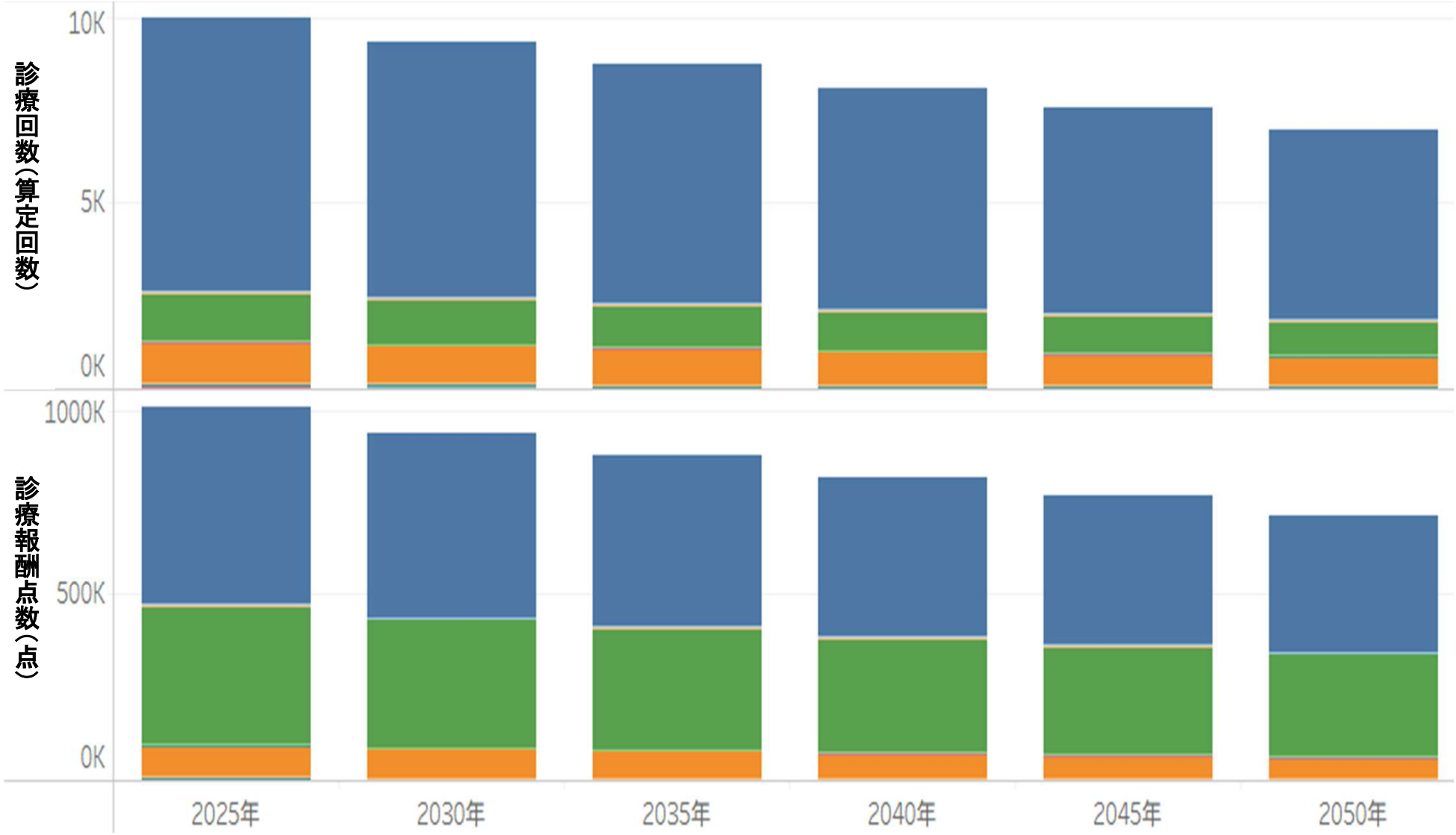
出典：厚生労働省公表「外来医師偏在指標関連データ（令和8年4月版）」のうち、「診療所の外来患者対応割合」から真庭保健所でグラフを作成。
※NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)の令和6年4月から7年3月までの診療分データ（12か月）に基づき抽出・集計したもの。
※診療所外来患者対応割合 ＝（当該地域内の診療所の外来患者延数）÷（当該地域内の診療所の外来患者延数＋当該地域内の病院の外来患者延数）
※ここでの外来患者延数は、NDBデータにおける医科レセプト（入院外）の初診・再診及び往診・在宅訪問診療の診療行為の算定回数を合算したもの。

【外来医療】
真庭市2025-2050年A.基本診療料初再診料(外来)の診療回数の推計



NDB（R4年度）のデータ基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口（性年齢別階級）で調整
https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050A__17400380326180/1

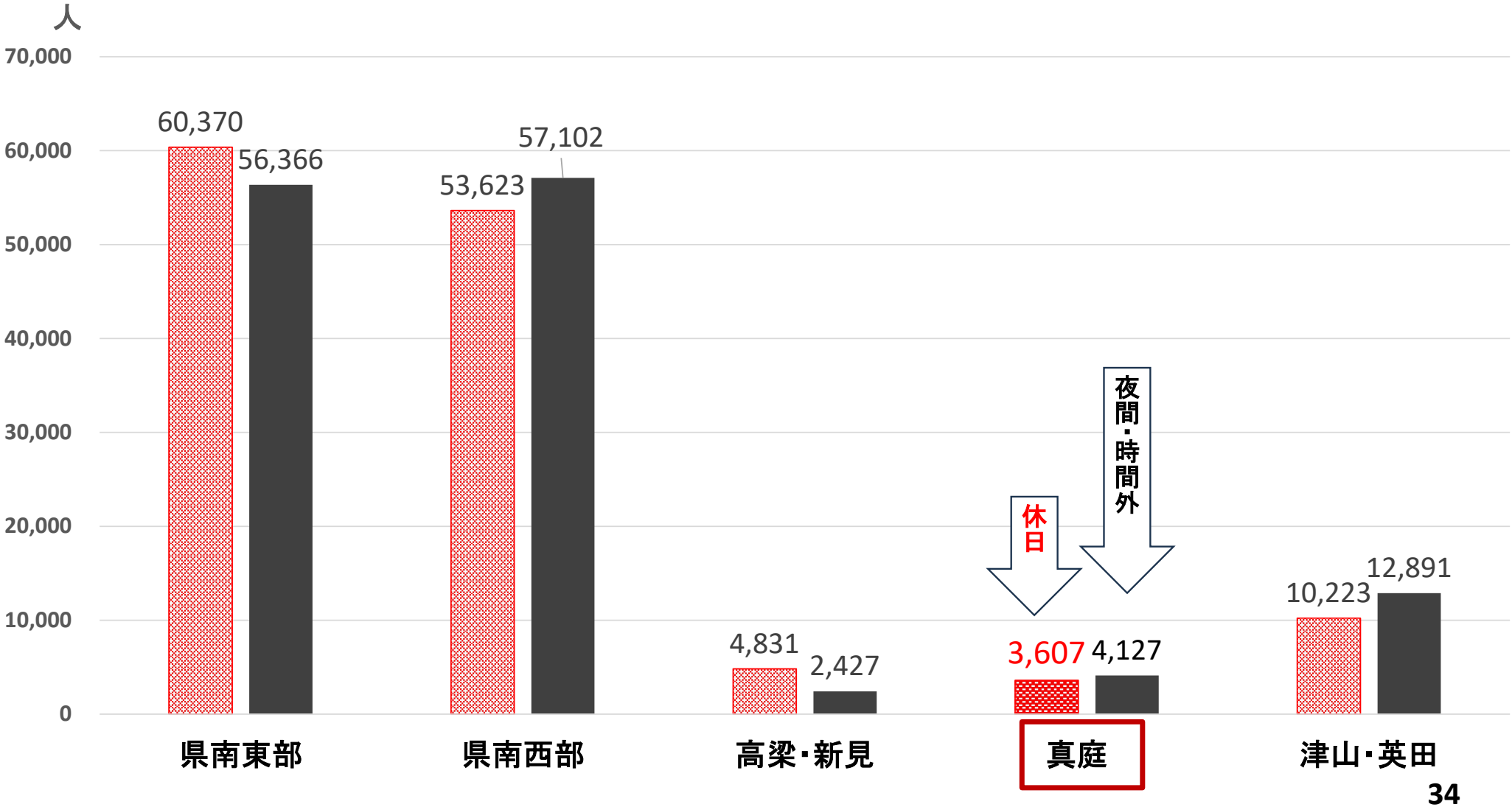
【外来医療】
新庄村2025-2050年A.基本診療料初再診料(外来)の診療回数の推計



NDB（R4年度）のデータ基に国立社会保障・人口問題研究所の2023年将来推計人口（性年齢別階級）で調整
https://public.tableau.com/app/profile/.16903558/viz/2025-2050A__17400953961960/1

【外来医療】

病院・有床診療所における休日及び夜間・時間外の受診患者延べ数（年間）

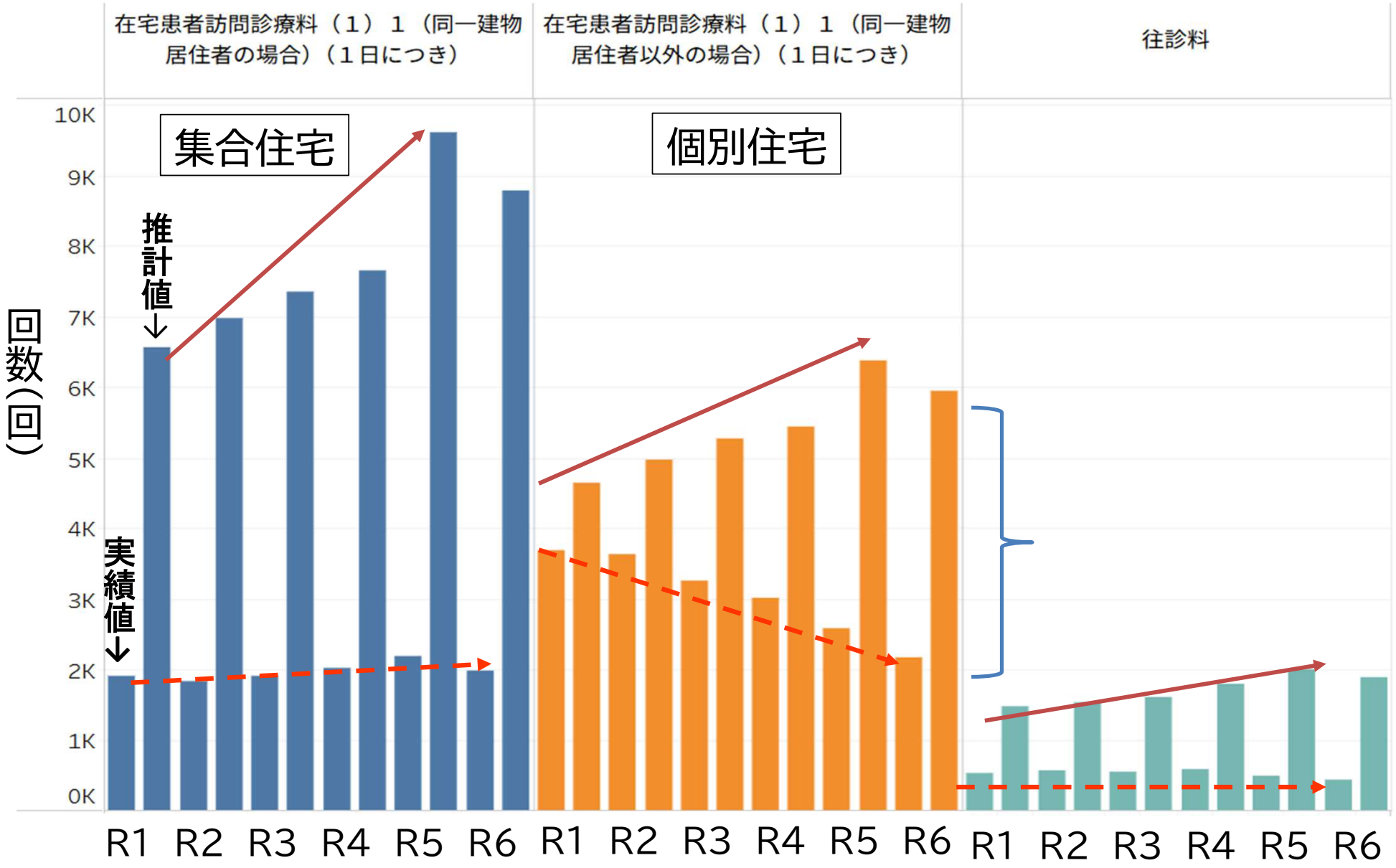


34

＜注＞〇休日に受診した患者
「休日」：日曜日・祝日
（休日の夜間に受診した場合は「休日夜間受診患者」に含む）
〇夜間・時間外に受診した患者
「夜間・時間外」：診療時間以外の時間（休日を除く）

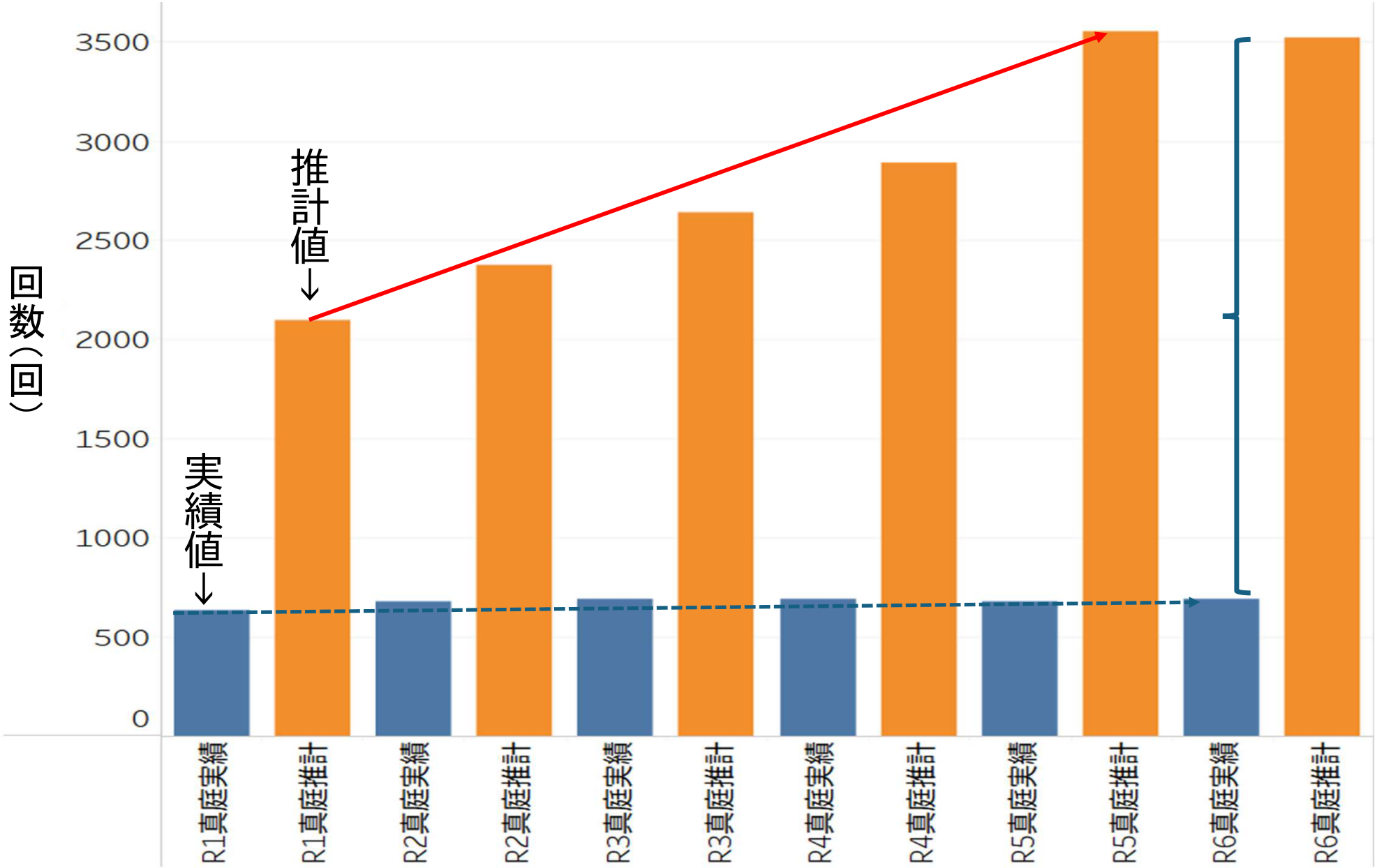
外来機能報告R7より真庭保健所作成

【在宅医療】R1～R6 NDB　真庭圏域の訪問診療・往診回数
過去6年間の実績値と推計値の推移



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R1R6NDB C　17868642541680/1 1#1

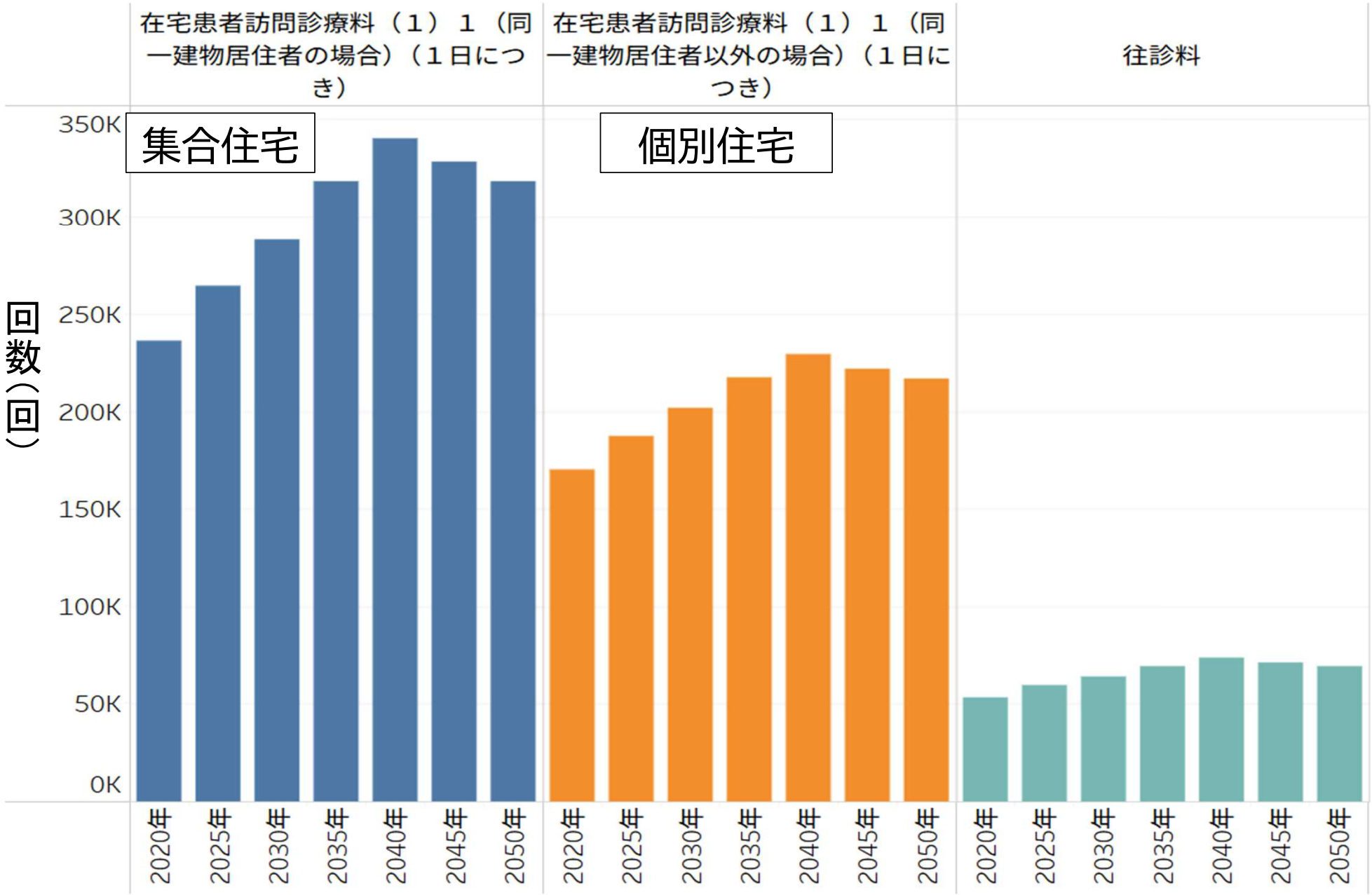
【在宅医療】R1～R6 NDB　真庭圏域の訪問看護指示実施回数
過去6年間の実績値と推計値の推移



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/R1R6NDB_C_17861910205340/1_1

【在宅医療】

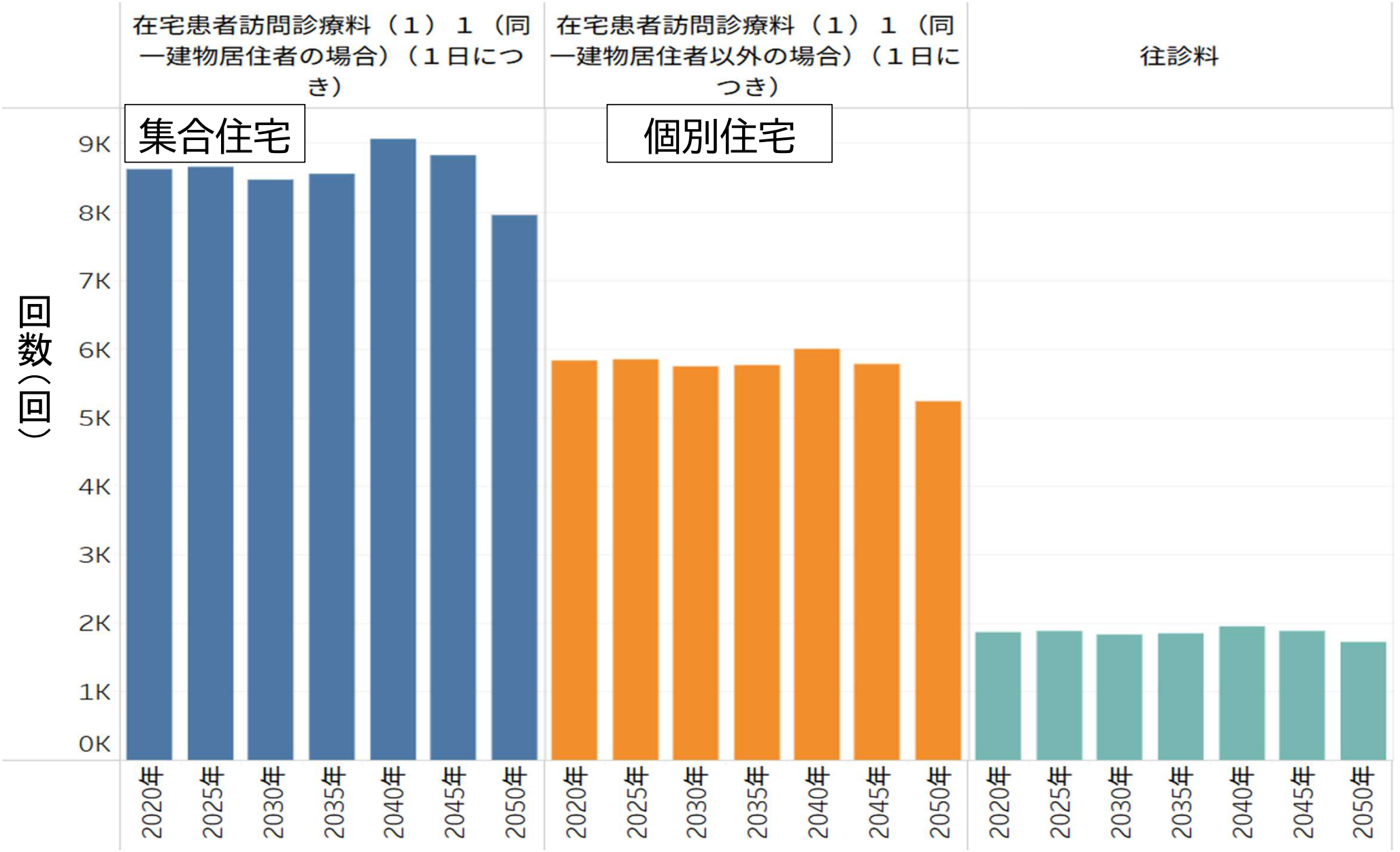
岡山県　訪問診療・往診実施回数の推計（2020年→2050年）



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/2020-2050_C/11

【在宅医療】

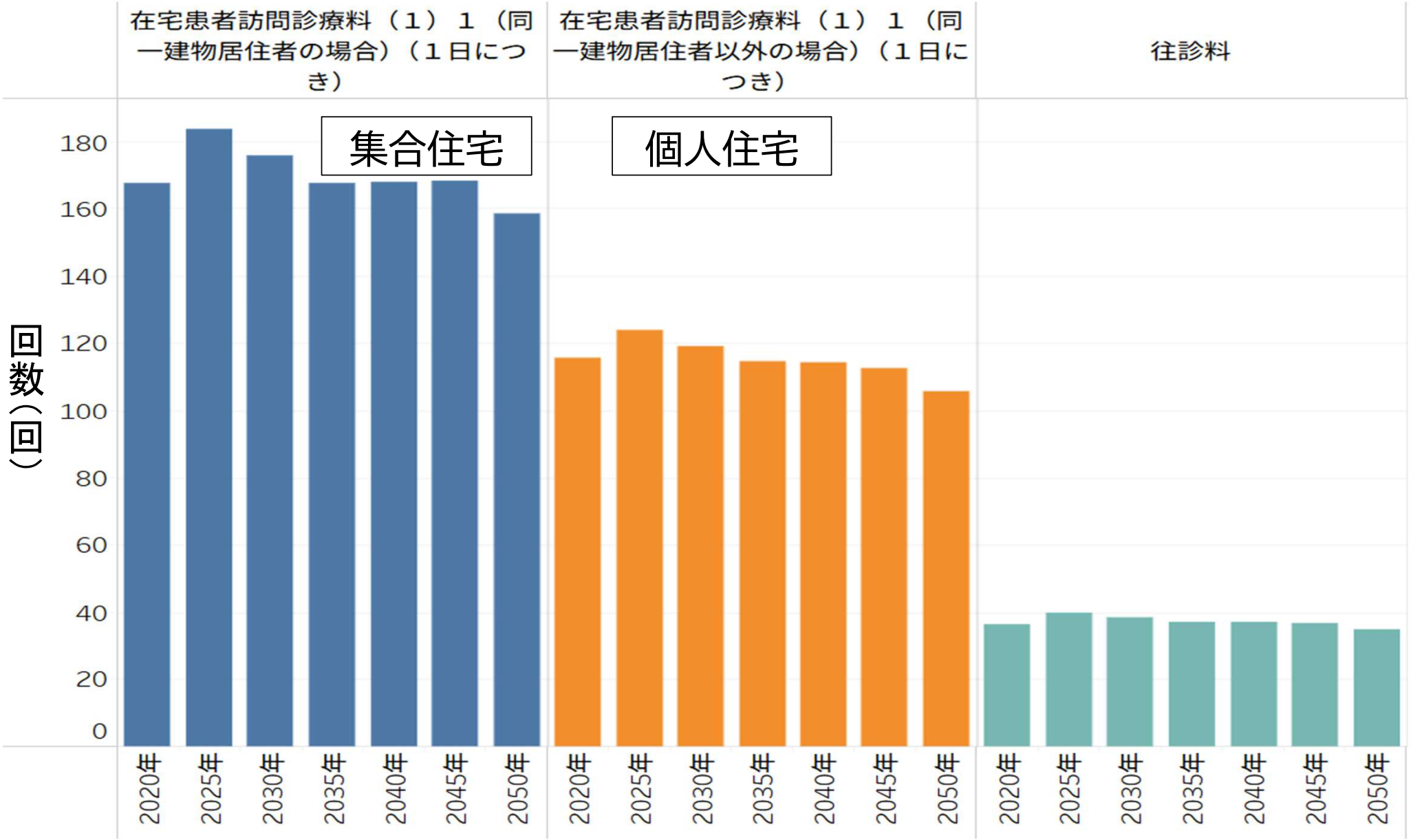
真庭市　訪問診療・往診実施回数の推計（2020年→2050年）



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/2020-2050_C_17883464696810/1_1

【在宅医療】

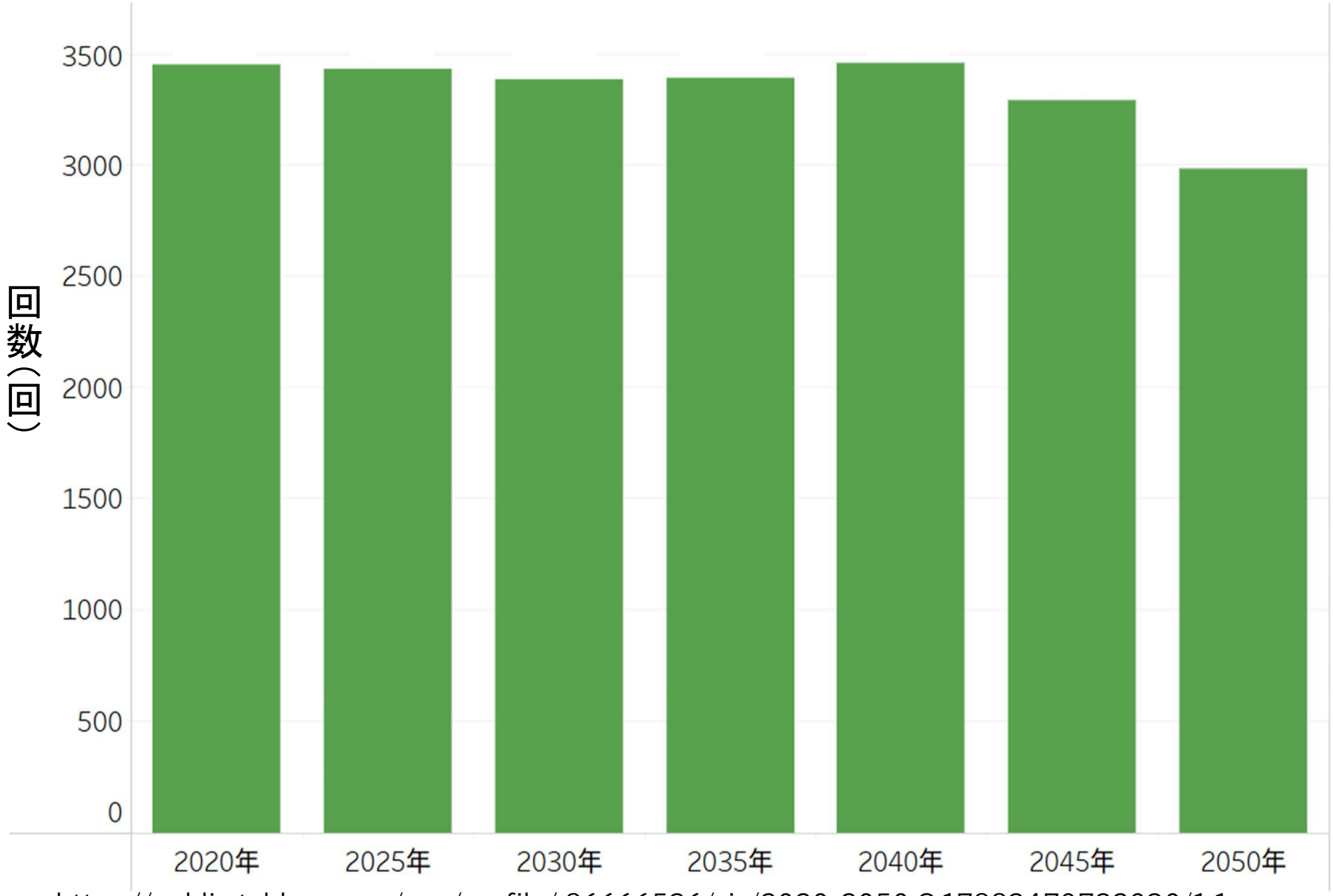
新庄村　訪問診療・往診実施回数の推計（2020年→2050年）



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/2020-2050 C 17883459340930/1 1

【在宅医療】

真庭市　訪問看護指示実施回数の推計（2020年→2050年）



https://public.tableau.com/app/profile/.86666536/viz/2020-2050 C 17883479722930/1 1

医療従事者の状況

医療従事者数

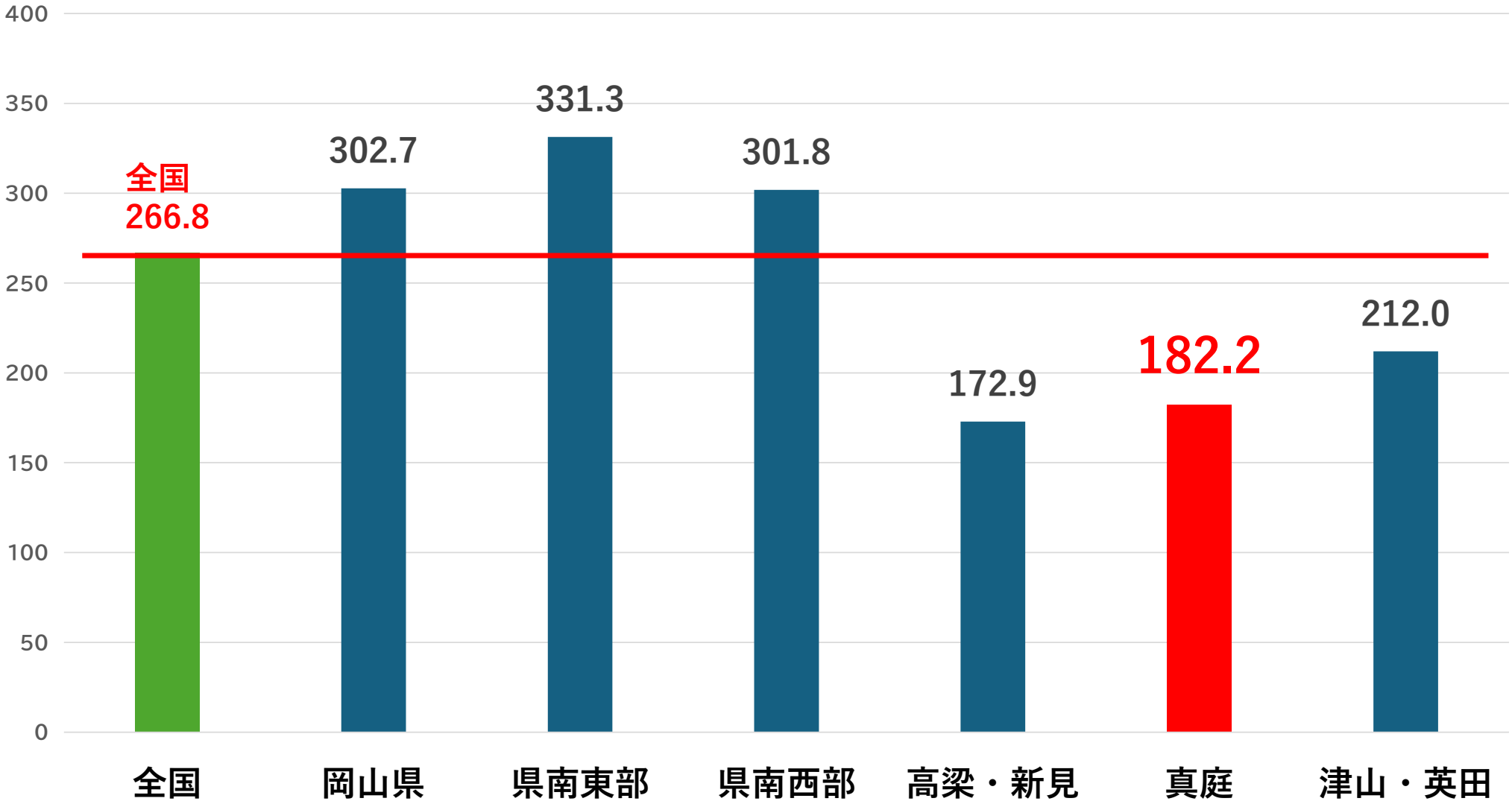
（R6.12末現在）

区分		医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
真庭圏域	実数：人	69	25	62	54	11	520	74
	人口10万対	172.2	62.4	154.7	134.8	27.5	1297.7	184.7
津山・英田圏域	実数：人	362	98	311	137	20	2,090	335
	人口10万対	221.4	59.9	190.2	83.8	12.2	1278.0	204.8
岡山県	実数：人	6,140	1,763	4,296	1,230	561	25,271	3,343
	人口10万対	335.3	96.3	234.6	67.2	30.6	1380.2	182.6
全　国	実数：人	347,772	103,652	329,045	63,536	38,721	1,363,142	233,022
	人口10万対	280.9	83.7	265.8	51.3	31.3	1101.1	188.2

出典：　厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」（R6調査）
「衛生行政報告例」（R6調査）
岡山県医療推進課「岡山県就業市町村別看護師職員数（R6.12.31現在）」（看護師等業務従事者届結果）

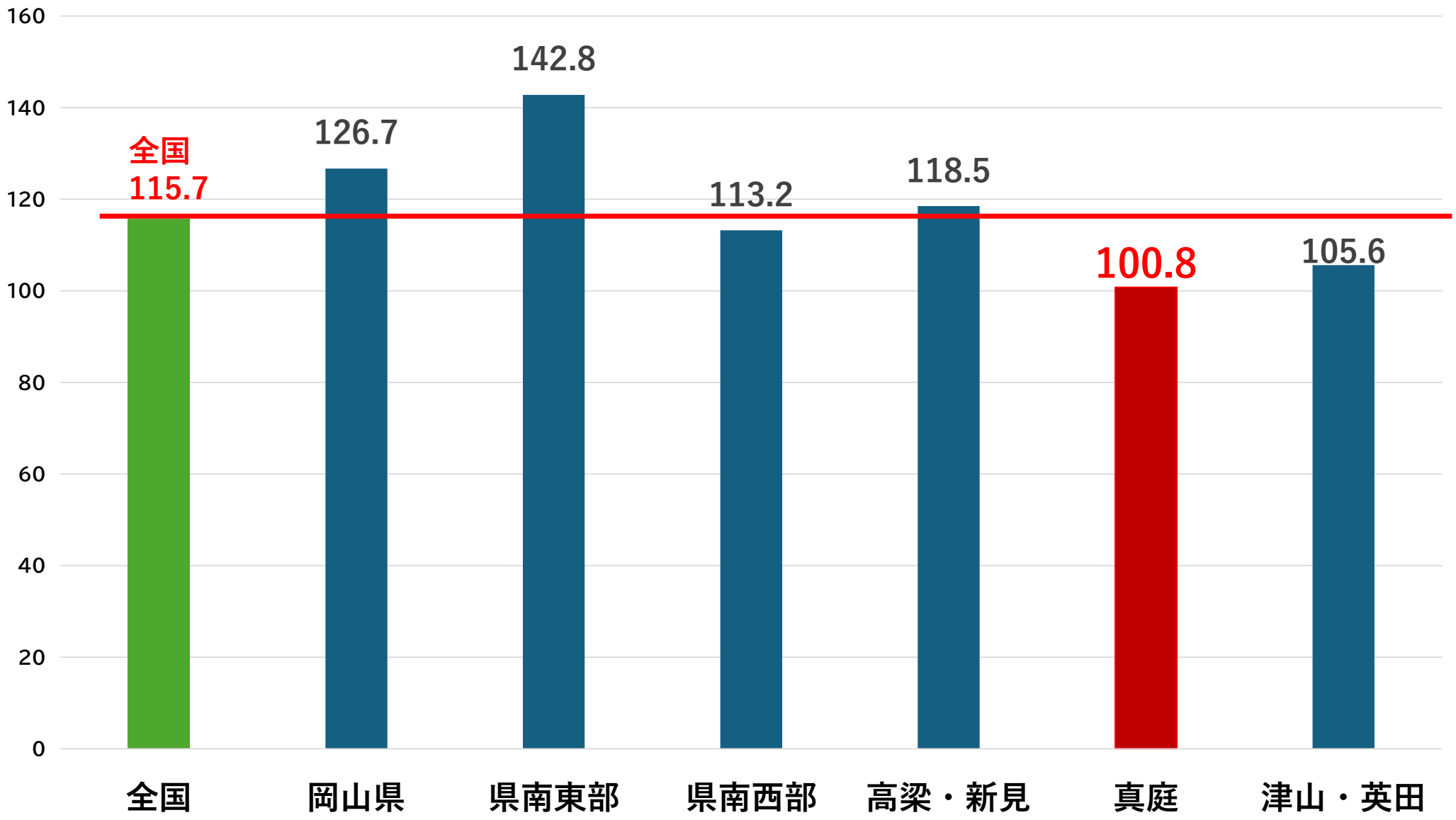
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/24/index.html
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/24/index.html
https://www.pref.okayama.jp/page/584866.html

病院・診療所の医師偏在指標（R8.4月）



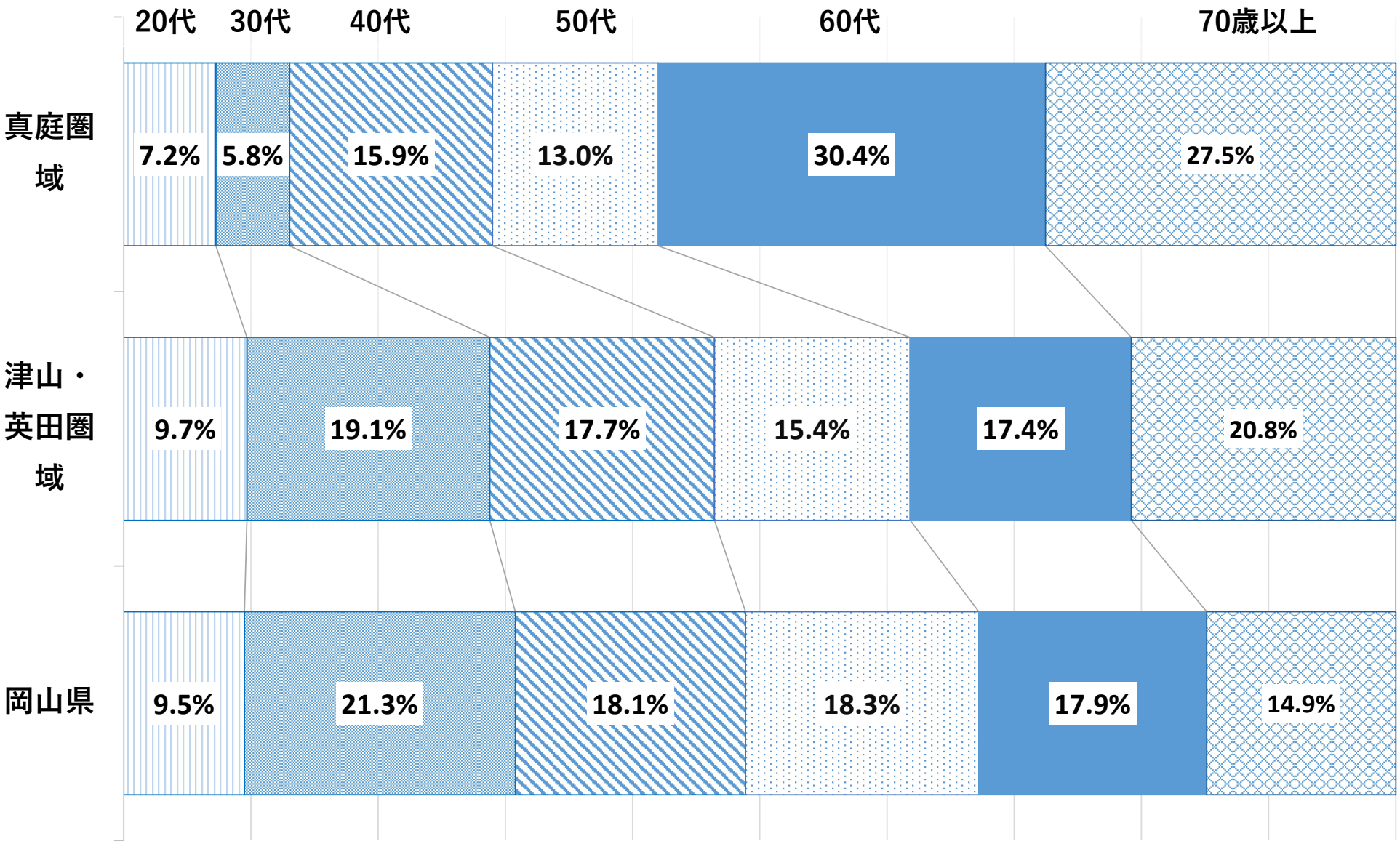
厚生労働省HP　（医師偏在指標　令和8年4月）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/kinkyu/index.html　より真庭保健所作成

診療所の外来医師偏在指標 （R8.4月）



厚生労働省HP （外来医師偏在指標　令和８年4月）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123022_00002.html より真庭保健所作成

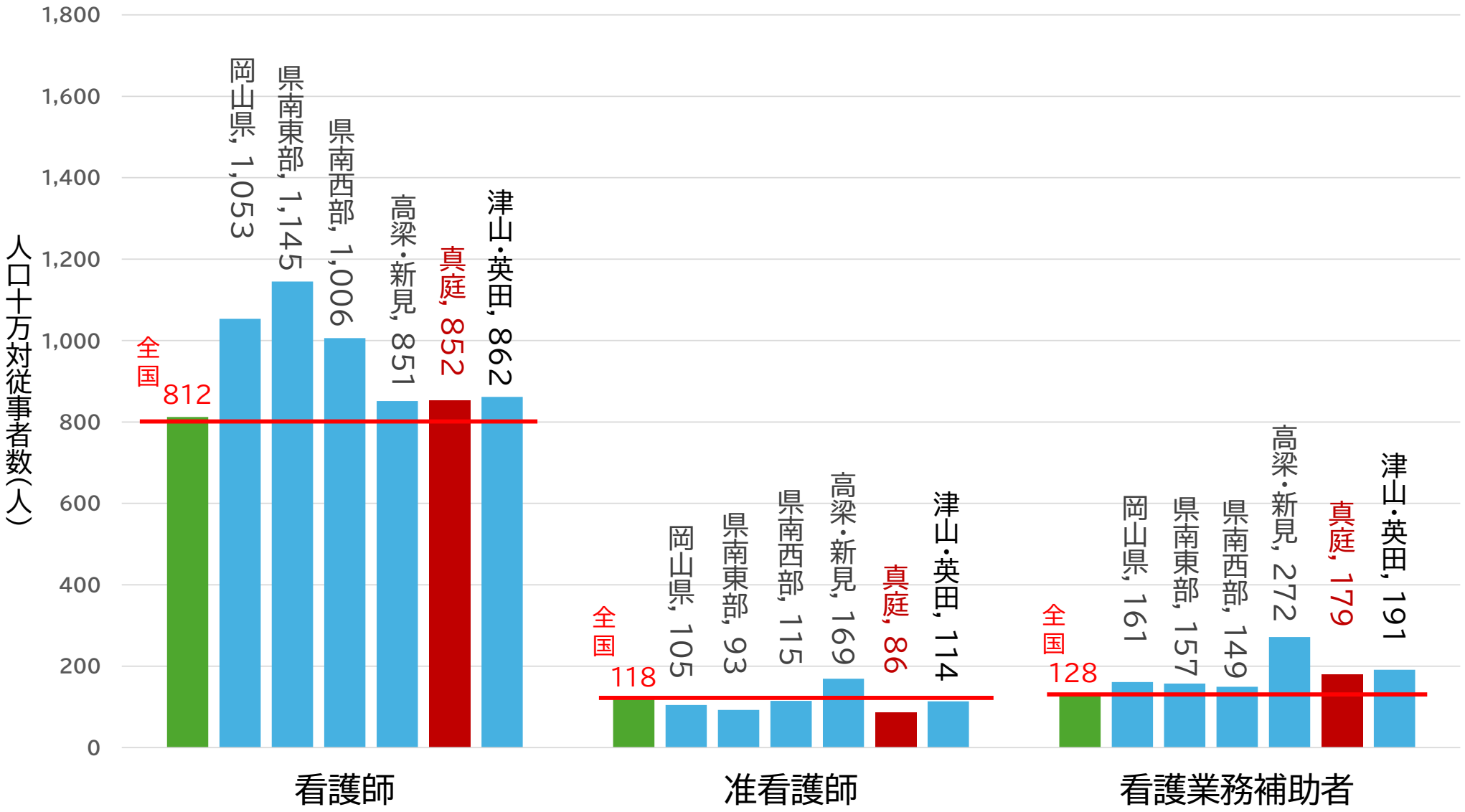
病院・診療所に従事する医師の年齢構成比（R6.12月末現在）



厚生労働省「R6年医師・歯科医師・薬剤師調査」より作成

45

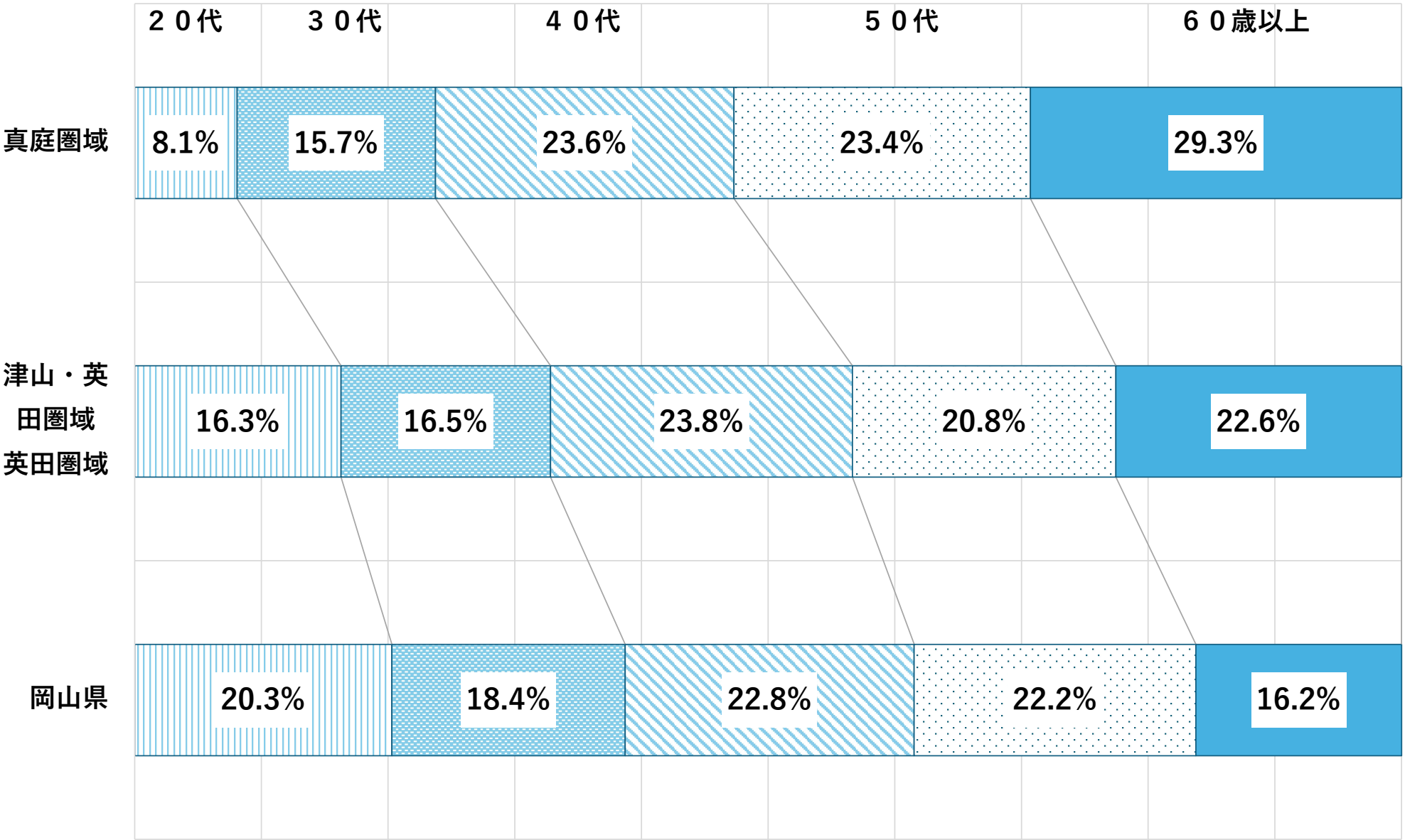
看護師、准看護師、看護業務補助者数（病院＋診療所・常勤換算）（人口10万対）



従事者数：R５_医療施設調査_二次医療圏編　第３６表　一般診療所の従事者数（常勤換算），職種・二次医療圏別
R５_医療施設調査_二次医療圏編　第３５表　病院の従事者数（常勤換算），職種・二次医療圏別
岡山県二次医療圏別人口：岡山県毎月流動人口調査　令和6年10月1日現在、全国の人口： 総務省統計局人口推計（2024年（令和6年）10月1日現在）

＜R8年度 真庭保健所作成＞

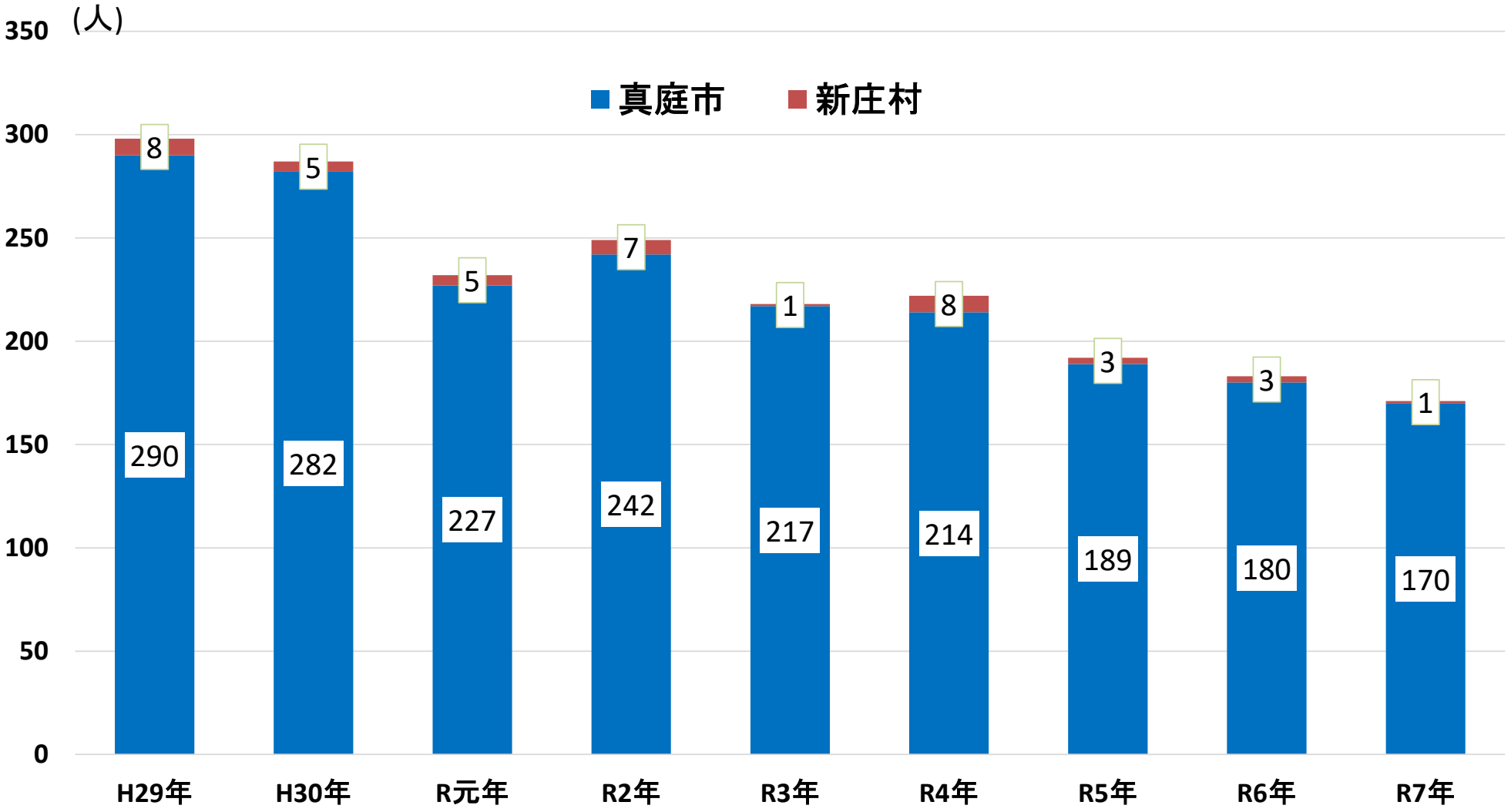
就業看護師・准看護師の年齢構成比（R6.12月末現在）



岡山県「看護師等業務従事者届」より作成

主要施策「2子育て支援・少子化対策の推進」に関するデータ集

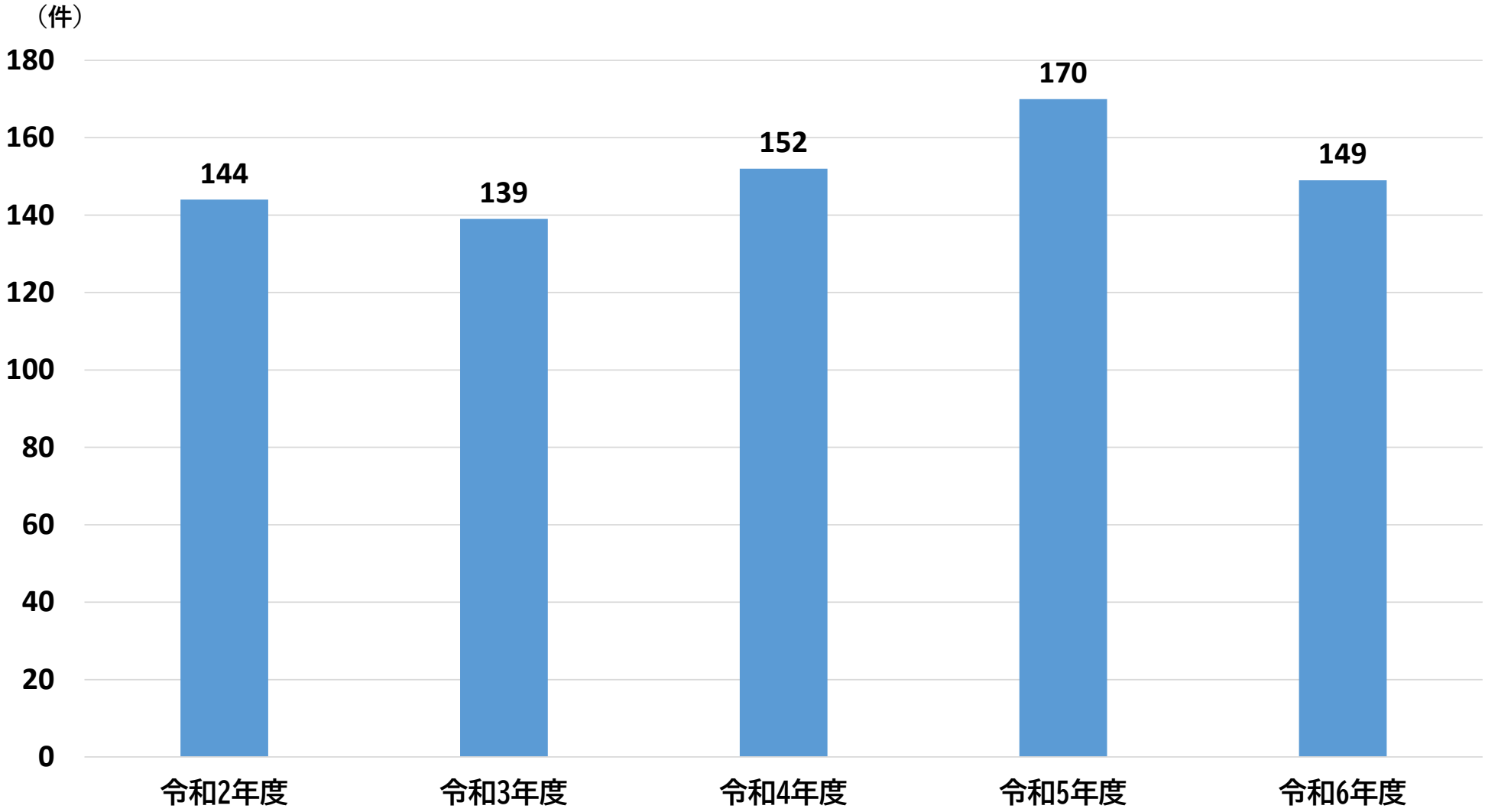
管内の出生数の推移



資料：厚生労働省 「 H29～R6人口動態統計（確定数）」 R7は届出数

＜R8年度 真庭保健所作成＞

管内産科医療機関の分娩件数の推移

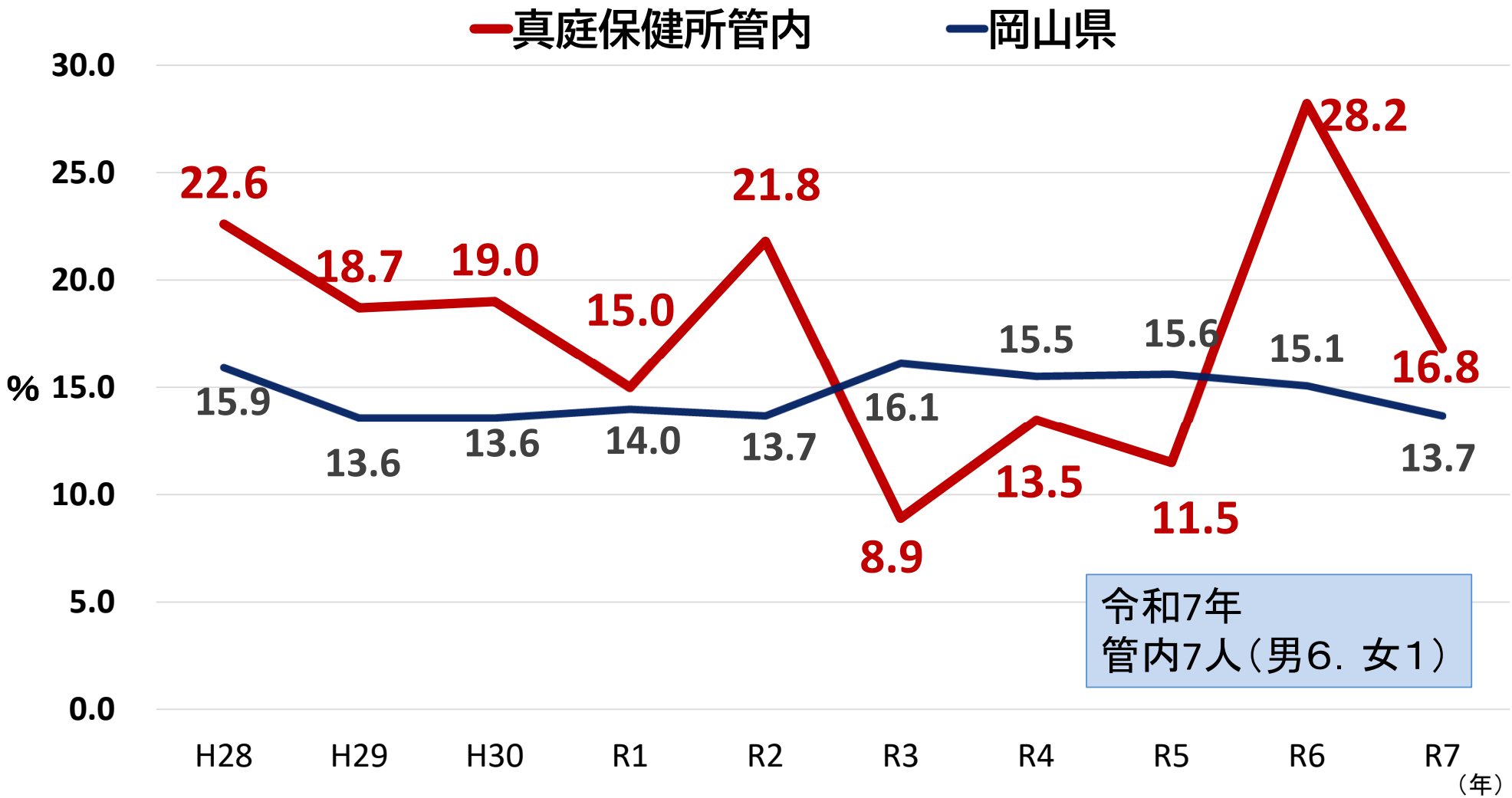


※　資料：厚生労働省：年度別病床機能報告公表データ

※　分娩件数…　分娩を行った患者数（正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html

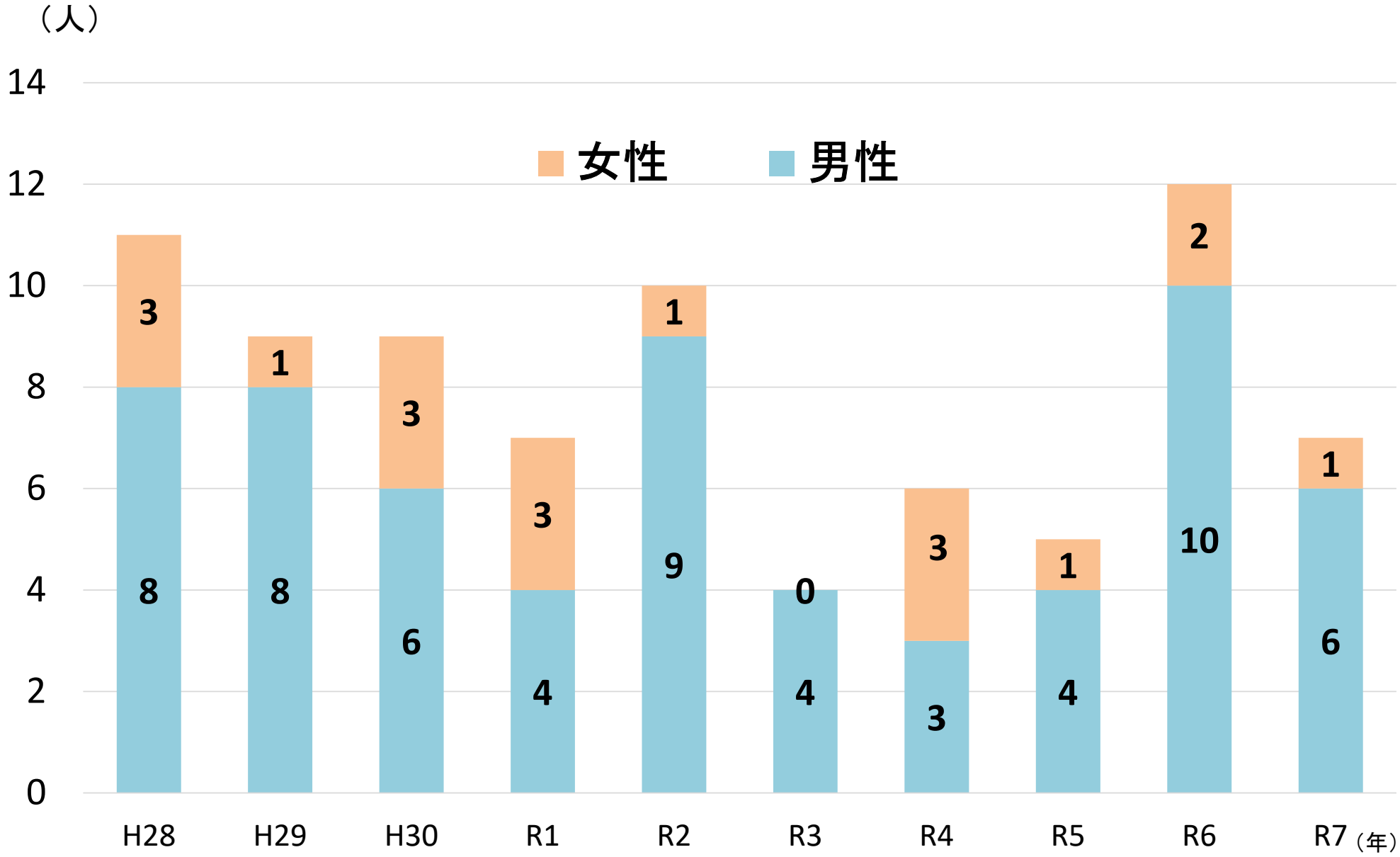
＜R8年度 真庭保健所作成＞

自殺率（人口10万対死亡率）の推移



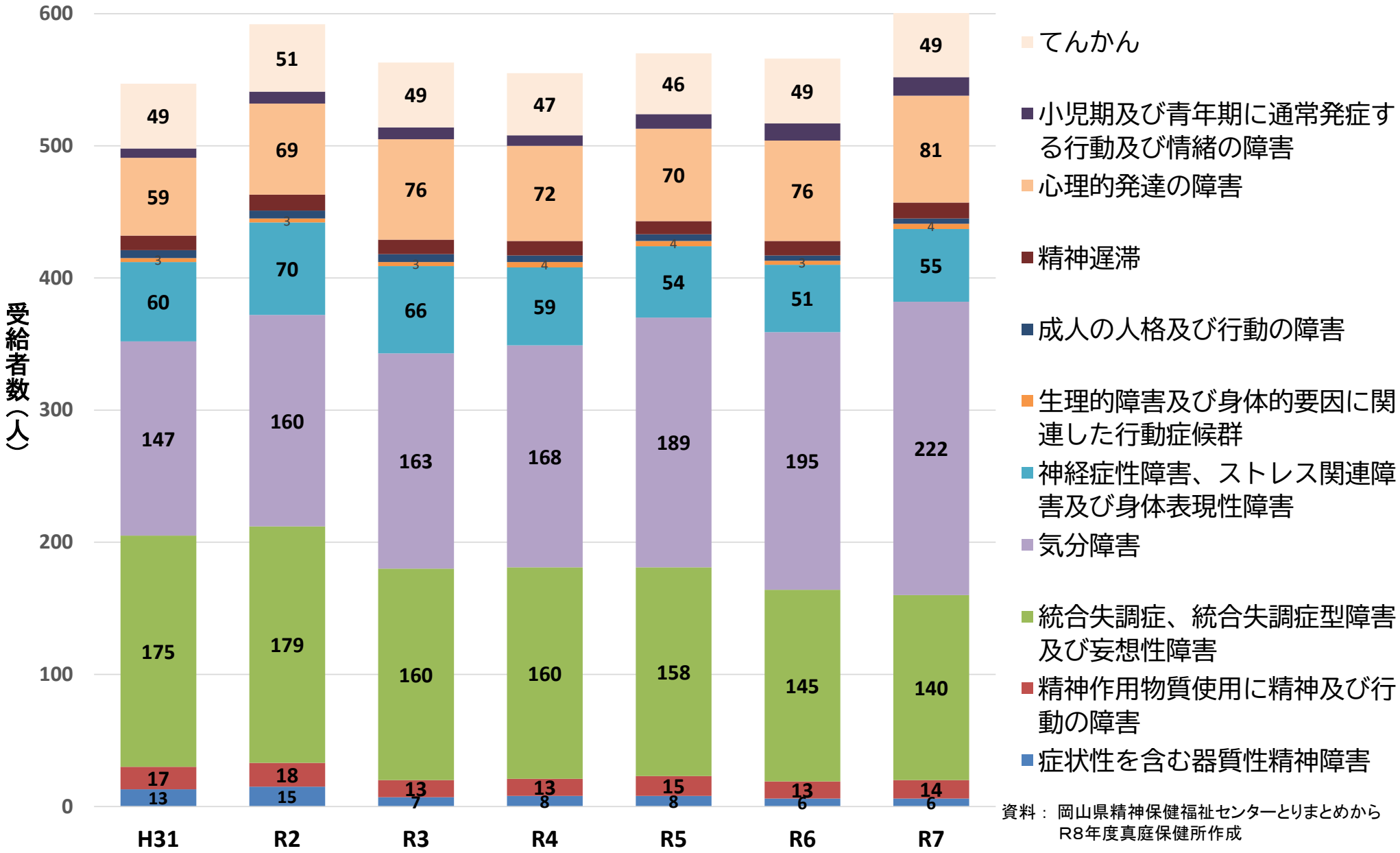
出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）」及び総務省「住民基本台帳」より岡山県地域医療推進課で算出したものからR8年度真庭保健所で作成

管内 自殺者数の推移



出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料（市町村・自殺日・住居地）」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000140901.html
＜R8年度 真庭保健所作成＞

管内 自立支援医療（精神通院医療）受給者数の推移



資料： 岡山県精神保健福祉センターとりまとめから
R8年度真庭保健所作成

※ 自立支援医療（精神通院医療）… 精神疾患の治療のために、通院による精神医療を続ける必要がある方に対し、医療費の自己負担を軽減（自己負担割合を1割に）することを目的とした公費負担医療制度

真庭保健所管内 精神保健福祉法に基づく通報件数

	一般からの通報（22条）	**警察官からの通報（23条）**	検察官からの通報（24条）	保護観察所の長の通報（25条）	矯正設の長の通報（26条）	**23条のうち調査により鑑定不要**	**措置診察率**	**23条のうち措置入院**
R2	0	**3**	0	0	3	**1**	**66.6**	**1**
R3	0	**5**	0	0	1	**3**	**40.0**	**1**
R4	0	**0**	1	0	0	**0**	**0**	**0**
R5	0	**4**	1	0	0	**2**	**50.0**	**1**
R6	0	**4**	0	0	0	**1**	**75.0**	**2**
R7	0	**2**	0	0	1	**1**	**50.0**	**0**
R8（R8.9月末）	0	**0**	0	0	1	**0**	**0**	**0**

※　真庭保健所における各年度の通報処理件数

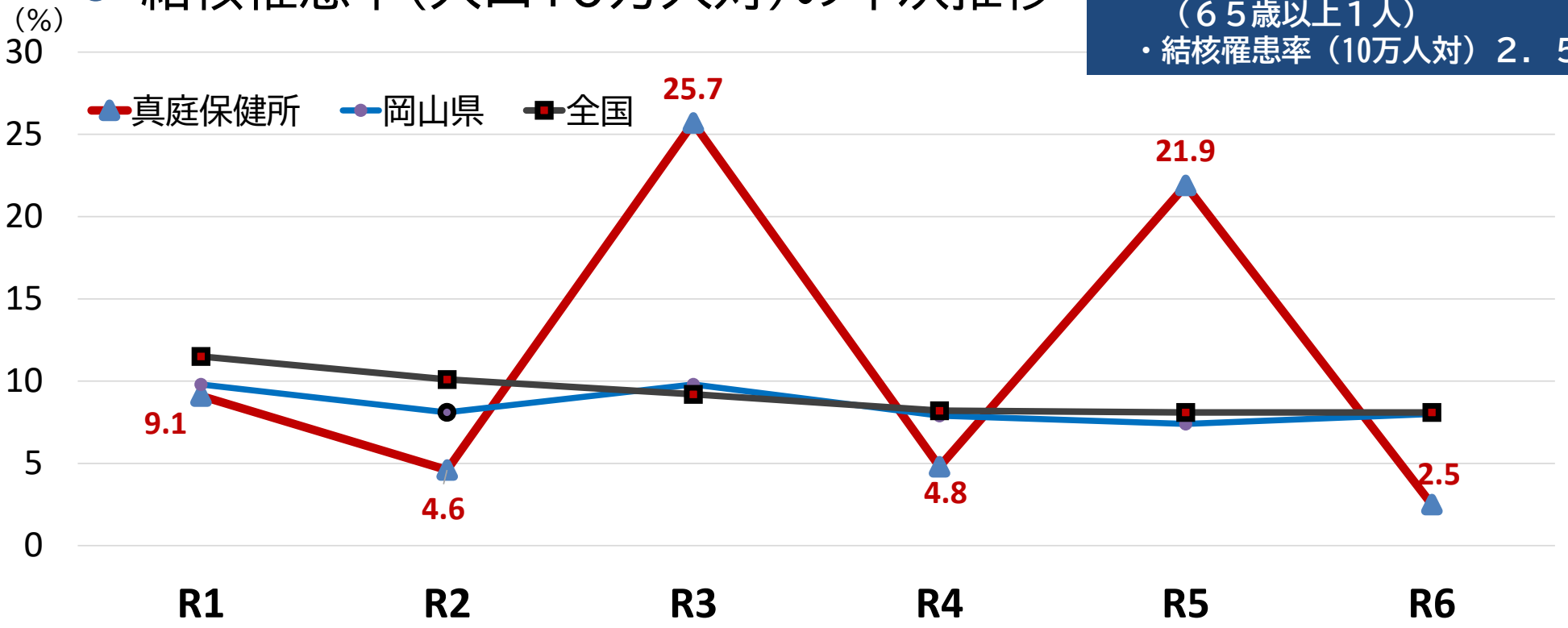
＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策「５感染症対策」に関するデータ集

結核の現状

【令和７年の管内の状況】
・結核登録患者　　１１人
（６５歳以上７人）
・新規患者　　２人
（６５歳以上１人）
・結核罹患率（10万人対）２．５５

● 結核罹患率（人口10万人対）の年次推移



● 真庭保健所管内（真庭市・新庄村）の新登録患者数

（人）

R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年（9月末現在）
4	2	11	2	8	1	2	3

※　真庭保健所における各年度の発生届件数
＜R8年度 真庭保健所作成＞

管内の感染症発生状況

（人）

類型		感染症名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度（9月末現在）
2		結核	11	2	8	1	2	3
3		腸管出血性大腸菌感染症	1	1	4	1	2	4
4		つつが虫病	1					
4		レジオネラ症	2	1	3	1	3	
4		日本紅斑熱			1		1	1
5		侵襲性肺炎球菌感染症				1		
5	施設集団発生報告	季節性インフルエンザ（集団発生）		2	2	1	2	2
5		感染性胃腸炎（集団発生）		1	1	2	2	
5		新型コロナウイルス感染症（5類移行後）				14	3	

※　真庭保健所における各年度の発生届件数

<R8年度 真庭保健所作成>

食品衛生関係業務(令和7年度)

〈監視指導〉

区　分	施設数	対象施設数
監視指導件数	697	1，693
うち重点監視	99	125

〈食品等の試験検査〉

区　分	目標件数	検査件数
収去検査	185	188
試買検査	25	25

〈食の安全に関する理解の促進〉

内　容	回　数	人　数
食品衛生講習会	16	406
食中毒予防啓発ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ	1	―
食の安全相談窓口対応件数	206	―

＜R8年度 真庭保健所作成＞

生活衛生関係業務(令和7年度)

〈監視指導〉

区　　分	施設数	監視件数
理容所	５５	２０
美容所	１１３	４２
クリーニング所	２７	9
公衆浴場	３２	２３
旅館業	１４４	３５
住宅宿泊事業	7	1
遊泳用プール	5	6
温泉利用施設	７５	２３

〈レジオネラ対策〉

採水施設数	検体数	検出数
１１	２７	6

〈水道施設立入調査〉

区　　分	施設数	立入件数
上水道	1	1
簡易水道	１９	3

＜R8年度 真庭保健所作成＞

薬務関係業務(令和７年度)

〈監視指導〉

区　　分	施設数	監視件数
薬局・医薬品販売業等	２８１	３９７
毒物劇物販売業	３５	４１
麻薬関係施設	４５	３０

〈住所別献血者の人数〉

200mL献血	400mL献血	成分献血	計
3	1,101	294	1,398

〈覚醒剤等薬物乱用防止対策事業〉

○令和7年6月20日(金)
　勝山高等学校において、同校生徒も参加して、登校中の生徒に対して薬物乱用防止を呼びかけ、啓発資材を配布

主要施策1

「地域における医療提供体制の整備」

「第9次岡山県保健医療計画」（令和6年度～令和11年度）の下、管内2つの保健医療圏（真庭、津山・英田）ごとに地元医療機関等で構成する地域医療構想調整会議での協議をはじめ、地元医師会や市村等と連携しながら、地域の実情に応じた良質かつ適切な地域医療の提供体制の整備に努める。

「令和8年度美作県民局の概要」

主な取り組み

①　地域医療構想の策定及び実現

人口減少や超高齢化が進んでいく中、今後の医療需要に的確に対応していくため、医療提供体制の確保について協議を進める。

地域医療構想調整会議での協議内容

・現行の地域医療構想（～R7）を踏まえ、各医療機関の病床機能や必要病床数、医療機関ごとの役割分担等

・新たな地域医療構想（R10～）について、入院医療だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制全体の将来構想としての課題整理

②　医療従事者の確保

管内の人口10万対医師数は、全国・岡山県値を下回っており、また看護師数は全国値より上回っているものの、50歳以上の割合が多いため、将来的な人材不足が深刻化。人材確保とともに離職防止し継続して働ける環境づくりが喫緊の課題。

・医師不足は、地域枠卒業医師の配置等、県地域医療支援センターが取り組んでいる。

・幅広い年代層の看護師確保及び定着に向け、看護職と看護学生との交流会等、県看護協会と連携した取組の継続

③　救急医療体制の確保

人口の高齢化や緊急性の低い救急要請・救急外来受診等が増加。救急出動件数及び救急搬送困難事例は高止まりの状況。

・適切な救急医療機関の利用促進に向けた住民への普及啓発に取り組む

・救急医療体制の確保に向けた課題整理・改善への取り組み

・県内全域で実施する救急安心センター事業（＃7119）（R8.7～）の周知

地域医療構想の推進

「真庭圏域地域医療構想調整会議」の開催

○ 目的

真庭圏域の医療体制を確保することを目的に地域医療構想の実現に向けた関係者との協議及び調整等を行う

○ 委員数　　24人

○ 任　期　　2年(R8.3.1～R10.2.29)

○ 開催状況　R7年度 2回　　R8年度 4回予定

○ 主な協議事項

【R7年度】

・2025年の地域医療構想について

・各医療機関から今後の入院医療提供の方向性について

・2040年に向けた真庭圏域地域医療構想調整会議の進め方について

・圏域の医療提供体制の現状、課題 、病床機能報告制度による情報の共有 等

【R8年度】（計画）

・新たな地域医療構想に向けた検討を各テーマごとに実施

（R8.6.25「外来医療」 9.10「在宅医療」 11.26 「介護との連携」 R9.2.18 「人材確保」）

＜R8年度 真庭保健所作成＞

真庭圏域地域医療構想調整会議の結果（2025年）

●各病院、有床診療所から今後の入院医療提供体制（病床機能別）について発言いただいたが、今より医療提供を増やしていく方向性の医療機関はなかった。

●人口減少とともに診療内容についても縮小傾向にならざるを得ない。

●真庭圏域の各医療機関において、それぞれの持てる医療内容を最大限に発揮し、連携していくことが大切という認識を共有した。

●真庭の現状、将来ともに、真庭圏域内で医療を提供できていない疾患については疾患に応じて、岡山市内、倉敷市内、津山市内の病院で受け入れてもらえるようあらかじめ調整が必要である。

R8.1.30 令和7年度第2回岡山県地域医療構想調整会議
「各構想区域における取組と成果等」（資料3）のうち真庭保健所提出資料から抜粋

真庭圏域の病床配置とあるべき医療体制についての結論

	病　床　数 （7月1日現在[病床機能報告]）		H26年からの増減	【参考】必要病床数 [地域医療構想策定支援ツールから]	
区　分	H26 (2014)年	R6 (2024)年		H25(2013)年	R7(2025)年
高度急性期	0	0	0	26	25
急性期	382	128	▲254	163	157
回復期	55	260	205	180	175
慢性期	222	96	▲126	155	106
休棟等	19	0	▲ 19	ー	ー
計	678	484	▲194	524	463

2025年のあるべき医療体制

・医療機関の安定的な経営（医療の継続的な提供ができる）を守る
・現状で提供できている診療行為の内容・件数以上には提供できない
・今後、現状で提供できている診療行為の内容・件数を縮小する方向性
・真庭圏域内で提供できない医療行為はその件数を明示し、他の医療圏にゆだねる

R8.1.30 令和7年度第2回岡山県地域医療構想調整会議
「各構想区域における取組と成果等」（資料3）のうち真庭保健所提出資料から抜粋

真庭圏域の「外来医療」についての結論

- 外来医療の8割程度は真庭圏域内で質・量共に提供できている。（外来医療は圏域内でほぼ完結）
- 全外来患者のうち、診療所に行っている患者の割合は、県平均（70.9%）と比較し54.5%と低く、病院に行っている患者が多い。（真庭圏域の特徴）
- 今後、人口減少とともに、外来患者数も減少することが予測される。

R8.9.10 令和８年度第２回真庭圏域地域医療構想調整会議において、第１回会議の振り返りを行い、事務局（真庭保健所）が提示した結論（案）について合意となったもの。

真庭保健所の重点的な取り組み

「在宅医療」に対する支援

＜課　題＞

在宅医療に関しては、需要は増大しているが、供給は減少している。



＜具体的な支援策＞

- 財政的支援に関する情報提供
- 第三の解決法、仕組みの提案

例：ICTを使った遠隔医療

オンライン診療、在宅患者の遠隔モニタリング（リモートペイシェントモニタリング）等）導入のためのアイデア提供など

＜R8年度 真庭保健所作成＞

看護師確保･定着の取り組み（R7）

真庭地域の取り組み

【看護協会真庭支部】への参画
◇看護就職フェア(就職説明会)
　8/28 真庭高校(看護科1～3年、専攻科1，2年　52人)

◇子どもの職業体験イベント「キッズマニワーク」
（真庭市主催）　11/22 36人

◇ユニバーサルスポーツフェスティバル：ブース出展
　10/19　178人

◇Maniwa Job Fair　中学編（医療・福祉・介護・保健）（真庭市主催）：市内６中学校に仕事紹介パネル展示
　R8.1～2月

◇まにわナーシングカレッジ
　新人、2年目、3年目研修、教育担当者会議 各３回程度

【真庭地域で働く若手看護師と高校生との座談会】
　10/29　勝山高校　14人
＜参考＞
【真庭市】真庭市看護師等育成奨学金（R6～拡大）

岡山県看護協会の取り組み

〇看護師確保対策就業委員会
〇看護協会での研修
〇ふれあい看護体験
〇岡山県ナースセンター
　看護職の無料職業紹介
　看護師等届出制度
　復職のための講習会・研修会
　ナーストライアル（就労体験）
　看護の心普及事業
　・将来看護を目指す児童生徒へ看護進路相談
　・ガイドブック「ナーシングパス」発行
　・看護の出前講座・看護進路ガイダンス
〇県北における看護職員確保推進の体制整備事業
　・看護職員応援交流会
　・県北の看護のお仕事魅力（応援）情報発信誌の発行（R7.3）とホームページ掲載
　・看護学生と地域の看護職との交流会

＜R8年度 真庭保健所作成＞

看護職の人材確保・定着に向けた活動イメージ

住みたい・働きたい
真庭地域のために

看護の芽を育てる → **看護職の確保** → **看護職員の育成・定着**

地域活動

キッズマニワーク
子どもたちへの
職業体験イベント

看護職体験
中学生の職場体験

ユニバーサルスポーツ
フェスティバル
ブース出展
Maniwa Job Fair中学編
パネル展示

看護職の確保

看護就職フェア
真庭地域で働く魅力発信
新人・潜在看護職の掘り起こし
看護学生への病院等説明会

ネットを活用した看護職魅力紹介
ポータルサイト、ホームページ、
MIT等を活用した看護職の魅力発信

病院見学ツアー
真庭高等学校専攻科
1年生を対象

奨学金

看護の質の向上

研修会・交流会
真庭支部研修会
看護研究発表会
3支部合同交流会
真庭看護管理者研修会

まにわナーシング
カレッジ
○新人、2年目、3年目研修
○教育担当者会議

他圏域
との
交流会

次期
リーダーの育成

定着促進

魅力発信

横の
つながり

医療機関
行政
看護師養成学校

体制整備
看護協会真庭支部との連携・組織強化
市議との意見交換会、他団体との連携

＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策２

「子育て支援・少子化対策の推進」

次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子育てを地域全体で支え応援する社会づくりを進めるため、「岡山県いきいき子ども・若者プラン2025」（令和7年度～令和11年度）に基づき、市町村や地域の多様な担い手と協働しながら、子育て支援や少子化対策に取り組む

「令和８年度美作県民局の概要」

主な取り組み

① 母子保健の推進

・行政と医療関係者（産科・小児科・精神科医師、助産師、精神保健福祉士、心理士等）による周産期母子関係者連絡会議を開催し、妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援の強化

・若い世代が妊娠と出産の正しい知識を習得し、心身の健康づくりや将来のライフプランを自ら考えられるよう教育機関や愛育委員と連携し、プレコンセプションケアの推進を図るため出前講座等を実施

・子どもの健やかな発育発達を促すため、発達や発育が気になる子どもに対する専門医等による相談（子どもの健やか発達支援事業）の実施

・地域ニーズに応じた母子保健活動の推進に向け、母子保健に関するデータ等市村と分析・共有し課題改善に向けた協議を行う。

・安心して妊娠・出産できる体制整備を進める。

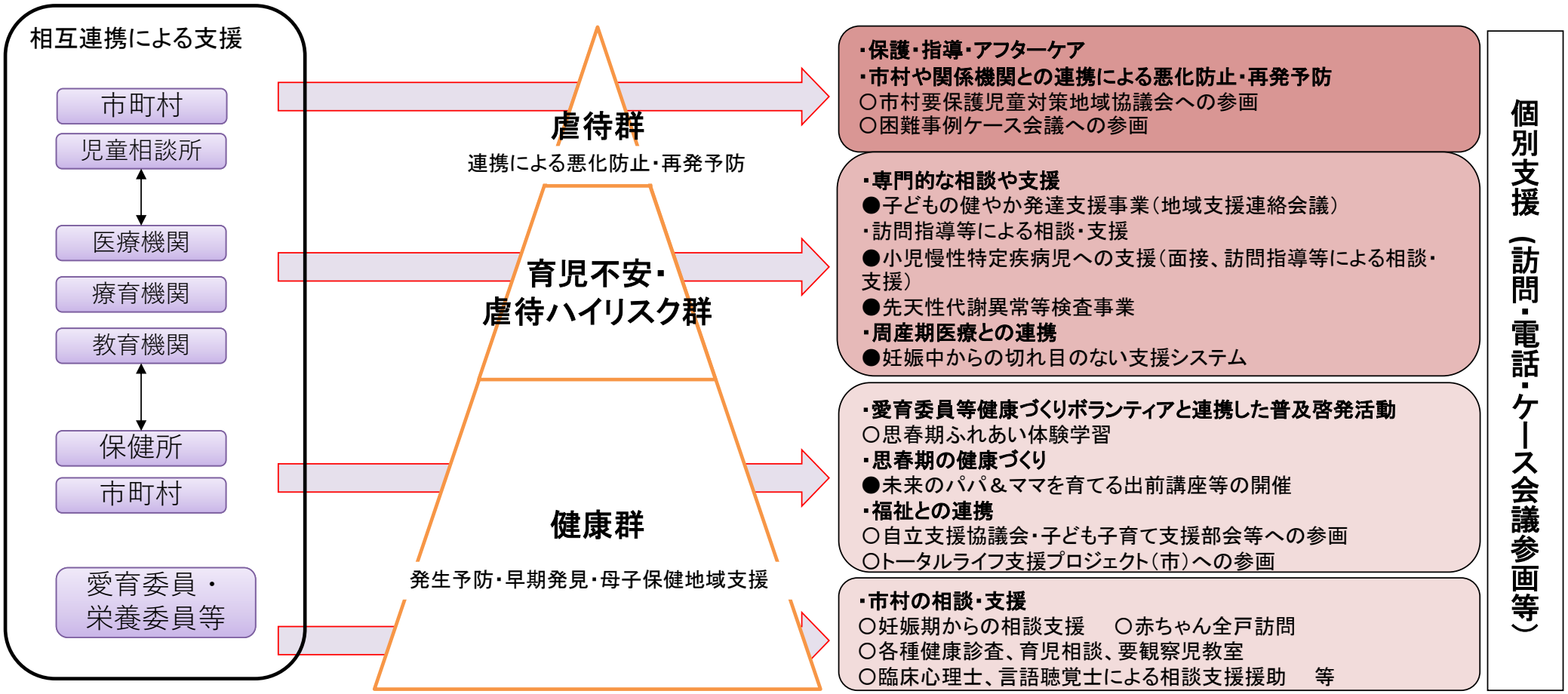
② 市村・児童相談所と連携した児童虐待防止対策の推進

・市村の要保護児童対策地域協議会への参画
・局管内要保護児童対策地域協議会連絡会議、県子ども専門本部美作支部会議への参画
・市村・児童相談所と連携した支援

③ 歯科保健対策の推進

・歯科医師会、歯科衛生士会、市村、こども園・学校等による管内歯科保健連絡会議等

真庭保健所管内　母子保健対策



◆母子保健体制づくり

●母子保健評価事業・・・・市村母子・歯科保健連絡会及び研修会の開催
●切れ目のない母子支援・・・真庭地域周産期母子支援連携会議、美作県民局管内周産期母子支援関係者連絡会の開催
●処遇困難ケースへの対応・・・・保健福祉サービス調整推進会議の開催

＜R8年度 真庭保健所作成＞

母子保健の推進

【母子保健の現状】
・市村では妊娠期から関係機関と連携した母子保健を行っている。
・１歳６か月児健診で約４割、３歳児健診で約５割の児が要支援児となっている。
・発達が気になる児がタイムリーに支援に繋がることが難しい場面があり、その一因としては、管内の療育機関や医療機関の体制に、一定の制約があることが考えられる。

○周産期母子支援連絡会議（真庭地域・美作局管内）

行政と医療関係者（産科・小児科・精神科・助産院）が一同に会し、妊娠期からの切れ目のない支援体制に向け課題共有や検討を行う。



○子どもの健やか発達支援事業
【対象】発育発達・育児環境等に課題がある親子
【内容】専門医や臨床心理士、保健師等が相談に応じ、
親子の状況に合わせた支援をする

子どもの適切な発達発育を促すとともに、保護者の育児負担等によって生じる児童虐待を未然に防ぐ。



＜R8年度 真庭保健所作成＞

市村・児童相談所と連携した児童虐待防止対策

【児童虐待防止対策の現状】
・虐待種別としてはネグレクトと心理的虐待が多い。（令和元年～令和7年）
・市村、園・学校、地域住民、児童相談所等が連携して継続的な見守りを行っている。

○市村や児童相談所と連携した個別支援の実施
○岡山県子ども虐待専門本部会議美作地域支部会議等への参画による関係機関と対策協議

歯科保健対策

【歯科保健対策の現状】
・むし歯有病率について、3歳児は減少傾向にあるが、小中学生は横ばい状態であり、とくに小学生は、2割以上の児がむし歯に罹患している。
・市村や園・学校では対象に合わせた歯科保健対策を実施している。

●真庭地域歯科保健関係者連絡会

目的：園、学校、歯科保健関係者が現状の共有、今後の取組に向けての意見交換を行い、乳幼児期からの歯科保健の重要性を改めて確認することで、今まで培ってきた歯科保健に対する意識や意欲の維持・継続を図り、真庭地域の子どもたちの歯と口の健康の向上に繋げる。
内容：①話題提供
「真庭管内の乳幼児期・学齢期の歯科保健の現状について」
②講話「乳幼児期・学齢期のむし歯予防の取組」
③グループワーク「子どもたちのむし歯予防のためにできること」



＜R8年度 真庭保健所作成＞

母子歯科保健

1. 母子保健評価事業等

県内市町村データ等を活用し各市村の母子保健活動について市村とともに評価し今後の活動について検討

	令和７年度	令和８年度
市村との母子保健連絡会	真庭市・新庄村　各１回	真庭市２回、新庄村１回予定

2. 未来のパパ＆ママを育てる出前講座

中高生を対象に妊孕性をはじめ、妊娠・出産に関する正しい知識を啓発

令和７年度	令和８年度
市内４中学校　計５回	市内３中学校　計６回予定

3. 妊娠中からの切れ目のない支援システムの推進

行政と産科、精神科、助産所等医療関係者の連絡会を開催し、妊娠期からの切れ目ない支援体制について、それぞれの立場からの課題等意見交換し、連携強化につなげている。

	令和７年度	令和８年度
真庭地域周産期母子支援連携会議	１回	１回予定
美作県民局管内周産期母子支援関係者連絡会議	１回	１回

＜R8年度 真庭保健所作成＞

母子歯科保健

4. 歯科保健対策

	令和7年度	令和8年度
真庭地域歯科保健関係者連絡会	1回　18人	1回
管内市村における歯科保健関係者会議への参画	真庭市　1回	真庭市　1回予定

5. 児童虐待予防

管内市村の会議や市村や児童相談所と連携した個別支援等

岡山県子ども虐待専門本部会議、地域支部会議等への参画により関係機関と対策協議等

		令和7年度	令和8年度
管内市村の要保護児童対策地域協議会への参画	真庭市代表者会議	1回	1回
	実務者会議	21回	21回予定
岡山県子ども虐待専門本部会議への参画		1回	1回
岡山県子ども虐待専門本部会議美作地域支部会議への参画		1回	1回
美作地域要保護児童対策協議会への参画		1回	1回予定

6. 保健師による小児特定疾病児・ハイリスク母子等への支援

	家庭訪問	電話	面接	ケース会議への参画
令和7年度	7	17	26	9

＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策３

「健康づくりの推進」

令和６年度から17年度までの１２年間に取り組むべき、県民の健康づくりの課題を明示した「第３次健康おかやま２１」に基づき、平均寿命の延伸を上回る健康寿命の延伸を目指し、生活習慣の改善や主要な生活習慣病の予防事業に取り組む

「令和８年度美作県民局の概要」

主な取り組み

① 健康な生活習慣の定着促進・生活習慣病予防

・働き世代への健康づくりを推進するため、地域と職域が連携した取組について市村等と検討するとともに、企業のニーズとして、健康教育等を実施。

・食環境整備として「おかやまからだ晴れ食サポーター」が増えるよう周知・登録を進める。食育推進協議会を通じて、子どもから高齢者まで各組織が連携した食育推進活動に取り組む

・たばこ対策として、喫煙年代前の年代へ、たばこの害について啓発、出前講座の実施

・敷地内全面禁煙や屋内禁煙が進むよう事業主・団体への周知、受動喫煙防止に関する相談や改善指導等

・生活習慣病対策として保健所国保ミーティングを開催し、特定健診受診率や特定健診保健指導実施率の向上、糖尿病重症化予防に向けた取組の推進等、市と協働して今後の方策を検討

② 愛育委員・栄養委員（健康づくりボランティア）との協働

・若い世代からの健康な生活習慣の定着に向けて、愛育委員、栄養委員と連携した活動を行う。

・委員が活動の意義を理解し、やりがいを感じながら活動できるよう市村と課題共有し組織育成を行う。

・活動が継続できる組織づくりに向け、市村を支援するとともに育成者（事務局）の資質向上を図る。

・がん検診などの早期発見、早期予防の取り組みの促進

健康づくり

「第３次健康おかやま２１」

【計画改定の趣旨】

子どもから高齢者まで、すべての県民が、健やかに心豊かな生活を送るために、主に保健施策の観点から、 県や市町村、県民、関係者が、目指すべき方向と基本的施策を明示する「第３次健康おかやま２１」を策定。

【計画の期間】：令和6年度から令和17（2035）年度までの12年間

すべての県民が健康で生きる喜びを感じられる
長寿社会の実現

目的を共有しそれぞれの役割に応じた事業の推進
（地域・家庭・学校・職域等）

市町村

地域の実状に応じた
保健事業
すべての住民が健康
づくりに取り組むことが
できる環境の整備

県・保健所

健康に関する調査・分析
市町村の健康づくり推進支援
関係団体等との連携
広域的・専門的保健事業

関係団体

健康づくり活動への
積極的な参加と支援

ヘルスプロモーションの推進

＜R8年度 真庭保健所作成＞

真庭地域食育推進協議会の活動の広がり

会議で情報共有 → 他団体の活動の認識 → 目的・目標の共有化 → 実践



＜令和８年度第１回協議会（R８.７.９）＞

情報提供　「地域住民に食育をPRしていくために各団体ができることは？」

意見交換　「地域住民に食育をPRするための方法」

【意見交換で出た意見】
- メディアの活用（SNS、ケーブルテレビ、広報誌など）
- 共食や健康に関するイベントの開催
- 食育に関する作品を募集して食育に関心をもってもらう
- より健康な食生活を送るためのレシピの紹介
- 共食の大切さやフレイル予防、健康的な食生活に関すること、真庭の特産物や郷土料理の伝承、食品ロスの削減について伝える

真庭地域の様々な団体と連携を深め、真庭地域での取組を広げていきたい

※第2回協議会では、第1回目の内容を踏まえて、各団体が取り組んだ取組を共有する予定

たばこ対策の推進

- たばこからの健康影響普及講座
  目的：若い世代を対象にたばこの害の普及啓発や喫煙防止をめざす
  依頼のあった小中学校で、たばこの害や受動喫煙等についての講座を開催する



- 敷地内全面禁煙や屋内禁煙を進めるための啓発活動
  目的：受動喫煙を防止する環境づくりを推進する
  関係機関と連携して啓発活動を行う

＜R8年度 真庭保健所作成＞

地区組織～栄養委員との協働～

元気がすてき栄養展

R7.11月（マルイアルティ店）





真庭保健所管内栄養改善協議会と蒜山イキイキ楽酪協議会、岡山県栄養士会真庭市部の方々と連携して、食事バランスについての啓発を行いました
今年度も11月に開催予定

管内栄養改善協議会研修会

R7.10月（新庄村ふれあいセンター）



管内栄養改善協議会委員及び地域住民の方を対象に睡眠をテーマにした研修会を開催
今年度も10月に開催

新庄村健康まつり

R8.6月（新庄村ふれあいセンター）



健診受診者を対象に、糖尿病予防をテーマに周知・啓発を行いました

＜R8年度 真庭保健所作成＞

地区組織～愛育委員との協働～

真庭保健所管内愛育委員連合会

スローガン：みんなの力で「元気が素敵！健康真庭！！」をきずこう

①総会及び研修会



講演『高齢者の肺炎予防～誤嚥性肺炎を中心として～』



▲岡山県真庭保健所
宮原勅治　所長

②世界禁煙デー　街頭啓発活動



リーフレット、ティッシュ等を配布し、声かけ

〈実施場所〉
R7・R8：中国勝山駅、真庭高校

③リーダー研修会

講演『健康長寿を目指そう
全身と繋がる健口づくり
～愛育委員に期待すること～』

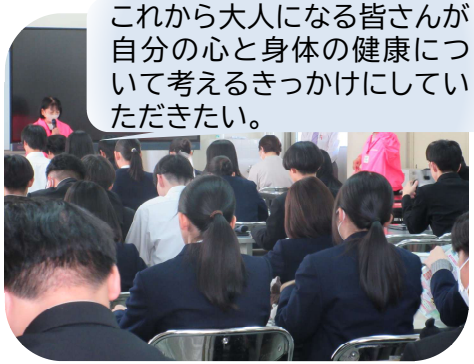




◂真庭歯科医師会
会長　大國　伸 先生

④思春期出前講座

R7：勝山高校1回学生100人
R8：勝山高校1回学生106人予定



講演『がんについて学ぼう～看護の立場から～』



◂倉敷成人病センター
乳がん認定看護師
小原　未貴 先生

【講座後】
看護職を希望する学生との座談会



R7：学生14人、
看護職3名

＜R8年度 真庭保健所作成＞

地区組織～愛育委員･栄養委員との協働～

愛育委員･栄養委員合同研修会：真庭版地域ですすめる健康支援事業

（検討会）



管内愛育委員連合会と管内栄養改善協議会の理事が集まり、今年度計画について検討

（研修会）

R7年度

両会長より愛育委員活動、栄養委員活動の紹介を行いました。



他地域の活動を知ることができて参考になった。



地域ですすめる健康支援事業の歴史を振り返ることで、この事業の大切さや意味がよく分かった。

地域全体で活動し、他団体と連携することが大切。



＜R8年度 真庭保健所作成＞

健康づくり

1. 食を育む環境整備

(1)真庭地域食育推進協議会

〇目的:関係機関及び団体等との意見交換を行い、今後の食育活動について検討し、地域における食育活動を総合的かつ効果的に推進する。

〇4つの課題・目標:よく噛む、高血圧予防、真庭の食材、運動不足

〇参加機関:地域に所属する団体、幼稚園・保育所・学校関係者、農林水産業者、食品関連事業者、行政　など

令和７年度	令和８年度
２回	２回予定



食育啓発ポスター

(2)元気がすてき栄養展(糖尿病予防戦略事業:地域密着型生活病サポート事業)

栄養改善協議会、蒜山いきいき楽酪協議会、岡山県栄養士会真庭支部と協働し、市内ショッピングセンターで、野菜摂取量を増やすポイントやおいしく減塩をする調理の工夫など、健康な食習慣の定着に向けた普及啓発を実施。

令和７年度	令和８年度
１回　約６０人	１１月予定

＜R8年度 真庭保健所作成＞

健康づくり

2. 健康づくりボランティアの組織育成

がん検診受診勧奨、生活習慣病予防、食育の推進、子育て支援等、子どもからお年寄りまでの健康づくりの推進を行う愛育委員、栄養委員と地域活動を実施。研修会等で市村と連携し組織育成を行っている。

＜委員数＞

	令和7年度	令和8年度
愛育委員	529人	484人
栄養委員	23人	23人
※令和7年度から栄養委員は新庄村のみ ※令和8年度から新庄村は、愛育委員・栄養委員組織が一体化し、「新庄村健康づくり推進委員会」に組織変更。愛育委員・栄養委員を兼務。		

① 栄養改善協議会

重点目標「元気が素敵！健康真庭！！～みんなでつくろう元気な真庭～」の推進

	令和7年度	令和8年度
総会及び研修会	1回24人（総会のみ）	1回 27人（研修会34人）
理事会	4回	4回 予定
管内研修会	2回 39人	2回予定
元気がすてき栄養展	1回 約60人	1回（11月予定）

＜R8年度 真庭保健所作成＞

健康づくり

② 愛育委員連合会

スローガン：みんなの力で「元気が素敵！健康真庭！！」をきずこう

	令和7年度	令和8年度
総会及び研修会	75周年記念大会並びに総会 1回 174人	総会並びに研修会 1回 106人
理事会	5回	5回予定
リーダー研修会	1回 30人	1回 予定

③ 愛育委員・栄養委員合同研修会：真庭版地域ですすめる健康支援事業

目的：親子が地域で見守られているという安心感を持ちながら、児の健やかな成長を促し、子育ての楽しさや喜びを感じられる地域づくりを目指して、地域で活動する愛育委員・栄養委員が関係者と協働しながら地域ぐるみの子育て支援活動を展開する。

	令和7年度	令和8年度
検討会	2回 29人	2回 31人
報告会・研修会	1回 31人（研修会） 活動報告を1枚の用紙にまとめ、各支部に配布	1回 予定（報告会）

＜R8年度 真庭保健所作成＞

健康づくり

3．たばこ対策

たばこからの健康影響普及講座

令和7年度	令和8年度
R7.12.12 久世中学校 R7.12.16 天津小学校	R8.12.10久世中学校 R8.12.17天津小学校
2回	2回

受動喫煙防止の推進事業

	令和７年度末	令和８年度（９月末時点）
敷地内全面禁煙実施施設	６６施設	６８施設
屋内全面禁煙宣言施設	１１８施設	１２８施設

世界禁煙デー街頭キャンペーン

愛育委員と協働し勝山駅前、真庭高校にてリーフレットと

ポケットティッシュを配布する啓発活動を実施

4．食環境整備

おかやまからだ晴れ食サポーター登録事業　【R8.9末時点】6件



＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策４

「障害のある人の自立と社会参加の促進」

障がいのある人が地域で安心して暮らし、その自立と社会参加が促進されるよう「第5期岡山県障害者計画（令和6年度～令和10年度）等に基づき、市町村への支援を行うとともに、保健・医療・福祉サービスの充実を図る。

「令和8年度美作県民局の概要」

主な取り組み

①　精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

・医療・福祉・保健（行政）関係者が地域移行推進協議会や自立支援協議会等で地域課題の共有と対策を協議するとともに、ケア会議等を通じて支援のネットワークづくりを行う。

・精神障害者や心の健康に不安を抱える住民が早めに相談でき、必要な支援が受けられるよう、市村や地域支援者の対応力を向上するための研修や事例検討等を行う。

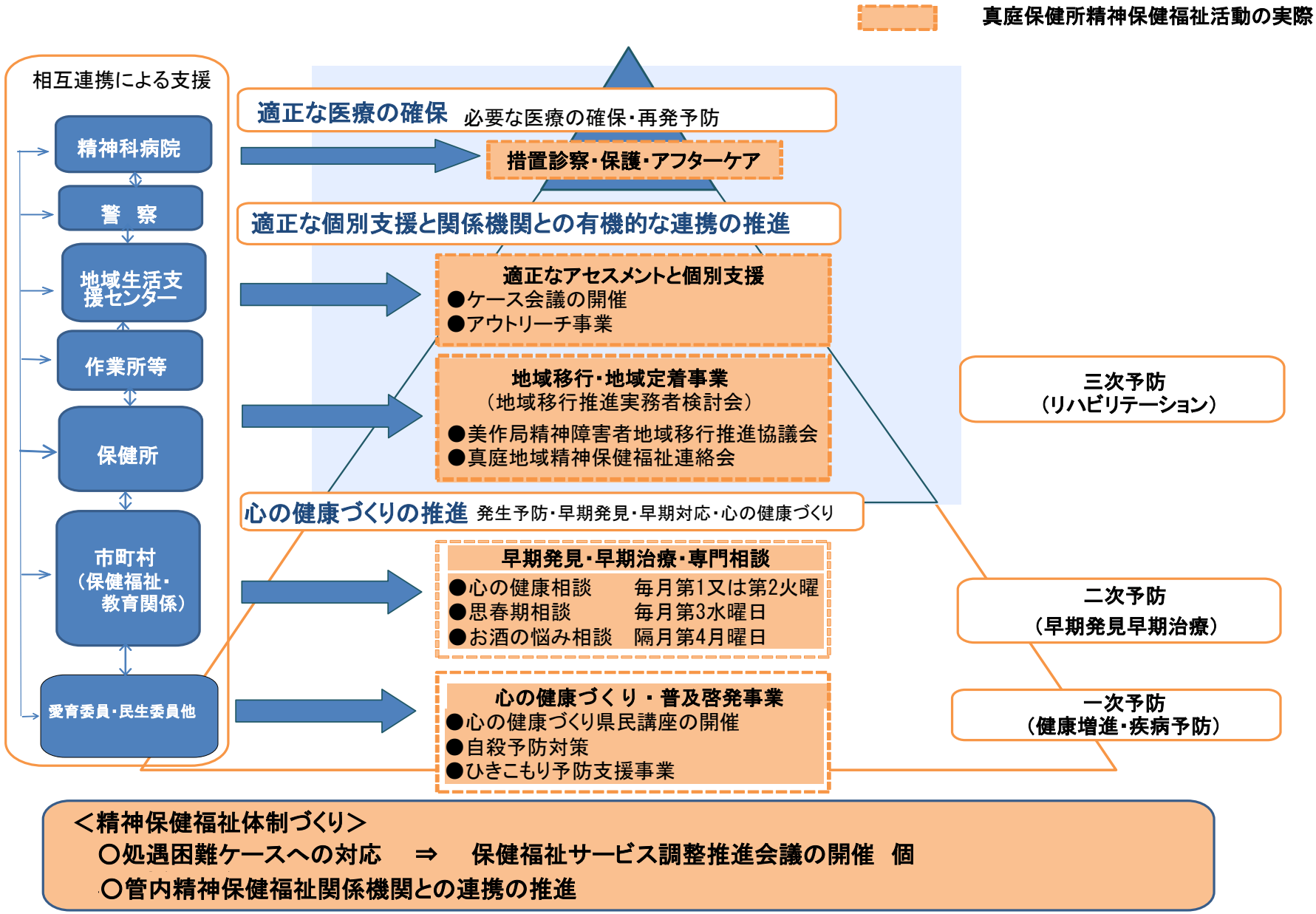
・市村が行う自殺対策に対する情報提供や支援

②　難病・小児慢性特定疾患患者への支援

・医療依存度の高い難病患者等については、災害時要配慮者リストを作成し、日頃から災害時の備えとして、患者・家族・支援者等と緊急連絡先や避難場所、移動手段や準備物等を明記した実行性のある災害時個別支援シート等を作成・更新する。

・災害時要配慮者リスト等を市村関係部署等と共有することで、災害に備えた体制整備や関係機関とのネットワークの構築を検討する。

真庭保健所管内精神保健福祉対策の取組



＜精神保健福祉体制づくり＞
〇処遇困難ケースへの対応　⇒　保健福祉サービス調整推進会議の開催　個
〇管内精神保健福祉関係機関との連携の推進

＜R8年度 真庭保健所作成＞

精神保健福祉

１．心の保健福祉相談

		令和７年度
心の健康相談	月１回	５回
思春期心の健康相談	月１回	６回
お酒の悩み相談	年６回	３回

２．精神科在宅支援アウトリーチ事業

治療継続困難、未治療等により生活に支障を来している方に対し、医師・保健師・精神保健福祉士等の多職種支援チームにより支援や事例検討を行う

	令和７年度
アウトリーチチームによる支援	実３件（継続３，終結１） ケース会議　24回
事例検討	実２件　延３件

３．保健新による精神保健相談（訪問、面接、電話）

（市村保健師等と連携した支援を中心に）

	令和７年度
訪問	実　21、延　94
面接	実　21、延　39
電話	延　214

４．緊急対応

	令和７年度
精神保健福祉法に基づく通報	３件（２３条）
通報以外の緊急対応事例	１件

＜R8年度 真庭保健所作成＞

精神保健福祉

6．地域移行・地域定着支援事業

精神科病院等に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を図るための支援体制を整備する

	令和７年度	令和８年度
美作局地域移行推進協議会	３回（企画会議２回を含む）	１回予定
真庭地域精神保健福祉連絡会	１回	1回予定

7．心の健康づくり事業

地域住民に対し、心の健康保持増進を図るとともに精神障害者への偏見解消し、住民の理解、関心を深め、地域で支えあう

心の健康づくり県民講座　等

8．ひきこもり予防支援事業

思春期心の保健相談（月１回）※再掲、

市村と連携した個別支援（訪問、面接、電話）

9．自殺予防対策・依存症対策

・市村のゲートキーパー研修会、その他、市村と連携して普及啓発活動

・真庭アルコールを考える会への参画等

＜R8年度 真庭保健所作成＞

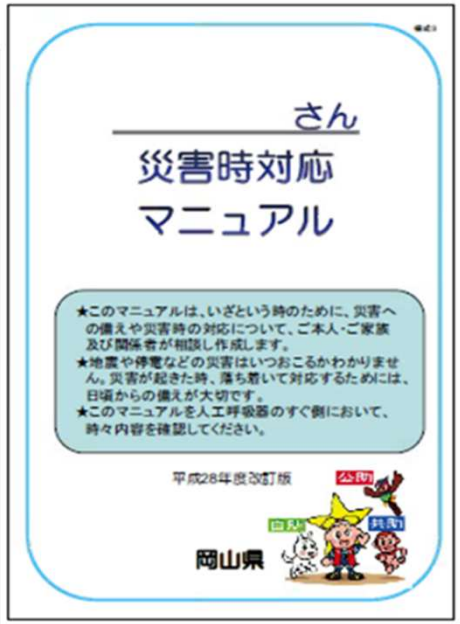
難病患者の地域生活支援の推進

病気の特性に応じた支援が必要。医療依存度の高い患者は、大規模災害発生時ライフプランの停止等により生命の維持や在宅生活の継続が困難となるため、個別の支援策が必要

○災害時要配慮者への支援

- 「難病患者災害時要配慮者リスト」、「難病患者災害時個別支援シート」の更新

- 「人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画」の作成



人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画

- 難病患者・小児慢性特定疾病児の災害時要支援者連絡会（市村との）１回

＜R8年度 真庭保健所作成＞

難病対策

1．医療費等の助成

	令和７年度
特定医療費（指定難病）受給証認定件数	４０５件
特定疾患治療研究事業受給者数	９件

2．難病医療福祉相談会

令和７年度	令和８年度
６組　６名	５組６名

3．在宅療養支援計画策定評価事業

令和７年度	令和８年度
１回	1回

4．在宅難病患者・家族の集い

令和７年度	令和８年度
１回　６名	１回　８名予定

5．災害時支援

・「難病患者災害時要配慮者リスト」「難病患者災害時個別支援シート」の更新

	令和７年度
災害時要配慮者リスト登録者数	３１名

・「人工呼吸器及び在宅酸素療法患者のための個別支援計画」の作成

・難病患者・小児慢性特定疾病児の災害時要支援者連絡会

令和７年度	令和８年度
１回（R7.11.27）	１回予定

6．保健師訪問・面接等相談

主要施策５

「感染症対策」

感染症（結核等）発生時には、感染症法に基づいた迅速な疫学調査及び患者指導、接触者調査等を行うとともに、感染拡大防止対策等を行う。また一般住民に対する各種感染症予防に向けた正しい知識の普及と施設等に対しては、集団感染予防を目的に平時からの予防と感染拡大防止策が自主的に実施できるようにする。

近年、増加している梅毒等、性感染症については、若い世代への正しい知識の普及と早期発見、早期治療に向けた取組を推進する

「令和8年度美作県民局の概要」

主な取り組み

① 感染症対策

集団発生(クラスター)の予防と感染拡大防止対策

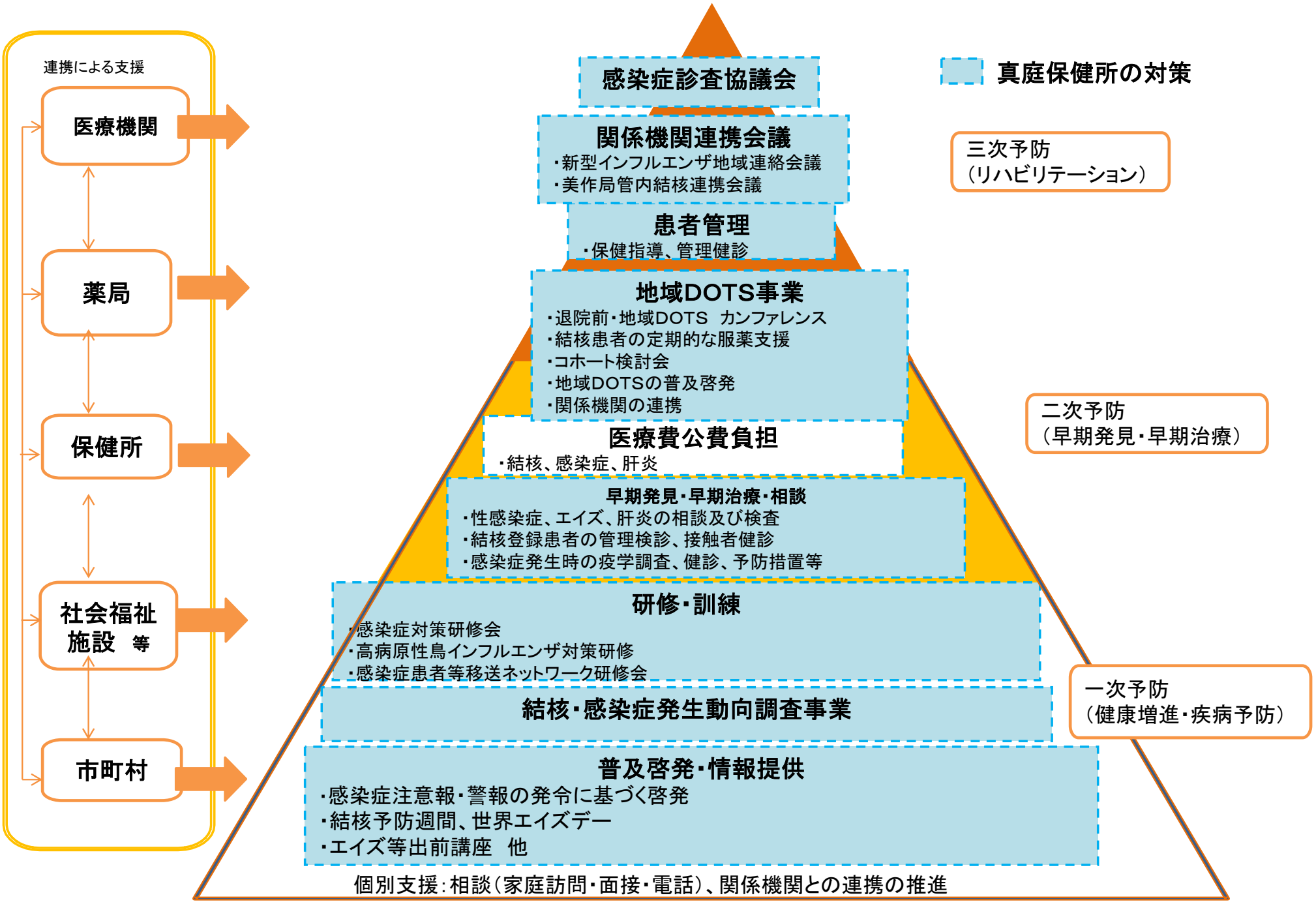
各施設で感染予防や発生時の早期対応が適切に実施できるよう、感染症対応研修会の開催、集団発生時の指導、助言

② 性感染症対策

・正しい知識の普及、相談・検査につなぐため、広く啓発活動の実施、中高生等若い年代に対する出前講座等の実施

・早期発見、早期治療に向けた電話相談、検査の実施
・R8年度より県が新に導入した利用者の利便性に配慮した「梅毒・HIV郵送検査」についてその周知を図る

真庭保健所　感染症対策



＜R8年度 真庭保健所作成＞

感染症対策

１．結核対策

【令和７年の管内の状況】

- 結核登録患者　　１１人（６５歳以上１０人）
- 新規患者　　１人、潜在性結核患者1人
- 結核罹患率（10万人対）　　２．４

○ 感染症診査協議会結核部会

毎月第２・４火曜日（美作保健所）

○ 地域ＤＯＴＳ推進事業

医療機関等と保健所が連携して結核患者の服薬を支援することにより、治療の完遂を図るとともに、薬剤耐性結核菌を防止し結核のまん延防止を図るために地域ＤＯＴＳを行っている。

- 退院前・地域ＤＯＴＳカンファレンス
- 定期的な服薬支援
- コホート検討会　　令和７年度　２回
- 岡山晴れ晴れDOTS手帳の活用

＜R8年度 真庭保健所作成＞

感染症対策

2．性感染症対策

○ **早期発見・早期治療・相談**（エイズ・肝炎等）
- 健康相談　　毎月第３火曜日
- 夜間エイズ検査　　６月（HIV検査普及週間）
　　１２月（世界ｴｲｽﾞﾃﾞｰ）

	令和７年度
エイズ相談	５２件
HIV抗体検査	４件
性感染症検査（梅毒）	４件
性感染症検査（クラミジア）	４件

令和７年度	令和８年度
真庭高校　１６４人 勝山高校蒜山校地 ２６人 勝山中学校　３９人	中和小学校　６人 真庭高校 １５７人 勝山高校蒜山校地 ２７人（予定）

○ **普及啓発・情報提供**
- エイズ等出前講座
- HIV検査普及週間、世界エイズデー啓発

3．その他の感染症対策

○ **感染症法に基づく対応**

		令和７年度
感染症発生件数（二類を除く）	三類	２件
	四類	４件
	五類	３５件
施設内集団感染対応等		８件

○ **研修・訓練**
- 感染症対策研修会
　施設職員を対象に感染予防、発生時の対応について講演及び吐物処理の実技演習を実施
- 感染症患者等移送ネットワーク研修会
　消防署と連携し、感染症患者移送について情報共有、防護服着脱訓練を実施

	令和７年度	令和８年度
感染症対策研修会	３回（うち２回は施設で）計94人	１回予定
移送ネットワーク研修	―	1月予定

○　普及啓発・情報提供
- 腸管出血性大腸菌感染症、ダニ媒介感染症等MIT活用し啓発

＜R8年度 真庭保健所作成＞

主要施策６

「健康危機管理対策」

大規模な自然災害や感染症等の原因により生じる住民の生命、健康の安全を脅かす事態に対し、健康被害の発生予防、拡大防止、治療等の保健活動を適切に実施するため、市町村、関係機関等と連携した取組を推進する。

「令和８年度美作県民局の概要」

主な取り組み（美作・真庭）

①　大規模災害時における健康危機管理

＜平時＞①部災害対応マニュアルの部内周知
②県防災訓練等にあわせた地域災害保健医療福祉調整本部設置・運営等訓練の実施
③市町村、関係機関と連携した訓練の実施

＜発生時＞大規模な災害の発生後、県民局の地方災害対策本部に参画するとともに、地域災害保健医療福祉調整本部を設置し、関係市町村と連携し、必要な支援を円滑かつ迅速に行う。
※傷病者の救助、医療提供体制の確保、避難所等における被災者の健康管理・感染症予防に配慮した生活環境の改善、感染者への対応

②　新興感染症対策に係る健康危機管理

＜平時＞・健康危機管理対策地域連絡会等による、医療機関や消防等との連携強化
患者移送訓練等研修会による「感染症患者等移送ネットワーク」の強化
・高病原性鳥インフルエンザ発生時に備え、関係機関と準備を進め迅速な対応ができるようにする。
・健康危機対処計画（感染症編）に基づき、組織体制や人員の確保、人材育成について随時見直しを行うことで、即応体制を確保

＜発生時＞①新型インフルエンザ等対策特別措置法や県健康危機管理対策要綱、健康危機対処計画（感染症編）、各種マニュアル等に基づき感染拡大防止を図る。
②高病原性鳥インフルエンザ簡易検査陽性判定後、県民健康対策班を編成し、発生農家従業員や作業従事者の健康管理等を的確かつ迅速に行う。

主要施策7

「安全・安心な生活衛生の推進」

食の安全・安心を推進するための食品関係施設に対する監視指導・食品検査、旅館業及び公衆浴場等におけるレジオネラ症発生の未然防止のための衛生管理指導、若年層に対する薬物乱用防止のための正しい知識の啓発活動に重点的に取り組む。

「令和8年度美作県民局の概要」

主な取り組み

①　食品衛生関係業務

「岡山県食の安全・安心推進計画」等に基づき、食品関係施設に監視指導や食品の検査を実施することにより、食の安全・安心の確保を図っている。

＜取り組み＞

・食品衛生関係施設への監視指導
・食品等の効果的な試験検査の充実
・消費者、食品事業者への啓発

②　生活衛生関係業務

生活衛生関係施設の衛生指導、特に、美作エリアには温泉を利用した入浴施設が多数あり、旅館業及び公衆浴場等におけるレジオネラ症発生の未然防止を図るため、衛生管理の徹底を指導する。

＜取り組み＞

・レジオネラ症発生防止対策
・生活衛生関係営業施設の監視指導及び自主管理の推進
・水道法関係業務

③　薬務関係業務

医薬品・毒物劇物関係施設への監視指導を行うとともに、医薬品の適正使用・薬物乱用防止に関する正しい知識の啓発を行う。

＜取り組み＞

・薬局・医薬品販売業、毒物劇物関係施設への監視指導
・薬物乱用防止活動の展開、医薬品等の適正使用の推進

１　食品衛生関係業務（令和8年9月末現在）

○監視指導状況

	令和７年度	令和８年度 （９月末時点）
一般監視（通常監視）	697 施設（1,693）	389 施設（1,601）
重点監視 （社会的影響度の高い施設）	99 施設（　125）	68 施設（　115）

※（　）内の数字は施設数

○食中毒の発生状況

令和７年度	令和８年度 （９月末時点）
毒キノコ （家庭　患者数 3名）	ノロウイルス （旅館　患者数 20名）
ノロウイルス （飲食店　患者数 24名）	



学校給食調理場の監視

＜R8年度 真庭保健所作成＞

２　生活衛生関係業務（令和8年9月末現在）

○レジオネラ対策

浴槽水の採水検査（公衆浴場・旅館等）

	令和７年度	令和８年度 （9月末時点）
採水施設数	11 施設	6 施設
採水件数	27 件	16 件



アメーバに寄生するレジオネラ菌の顕微鏡写真
[写真提供：国立予防衛生研究所　寄生動物部]

○生活衛生営業関係監視指導業務

	令和７年度	令和８年度 （9月末時点）
公衆浴場	23 施設（ 32）	10 施設（ 31）
旅館業	35 施設（144）	17 施設（143）

※（ ）内の数字は施設数

＜R8年度 真庭保健所作成＞

３　薬務関係業務（令和8年9月末現在）

○覚醒剤等薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン

（１）日時：令和８年６月２６日（金）

（２）場所：真庭高校

（３）対象：高校生約２２０名

（４）内容



覚醒剤等乱用防止指導員及び真庭高等学校生徒会に参加・協力をいただき、登校中の生徒を対象に薬物乱用防止を呼びかけるとともに、啓発資材を配布

＜R8年度 真庭保健所作成＞